

令和2年度使用 小学校用教科用図書

- 1 全ての教科用図書に関する
調査研究報告 (⑥)
- 2 各学校からの報告をとりまとめた
調査研究報告 (⑤)

目 次

【全ての教科用図書に関する調査研究報告 (⑥)】

国 語	…	1 頁	～	2 頁
書 写	…	3 頁	～	5 頁
社 会	…	6 頁	～	7 頁
地 図	…			8 頁
算 数	…	9 頁	～	1 1 頁
理 科	…	1 2 頁	～	1 4 頁
生 活	…	1 5 頁	～	1 8 頁
音 楽	…			1 9 頁
図画工作	…			2 0 頁
家 庭	…			2 1 頁
保 健	…	2 2 頁	～	2 4 頁
英 語	…	2 5 頁	～	2 8 頁
道 徳	…	2 9 頁	～	3 2 頁

【各学校からの報告をとりまとめた調査研究報告 (⑤)】

国 語	…	3 3 頁	～	3 4 頁
書 写	…	3 5 頁	～	3 7 頁
社 会	…			3 8 頁
地 図	…			3 9 頁
算 数	…	4 0 頁	～	4 2 頁
理 科	…	4 3 頁	～	4 5 頁
生 活	…	4 6 頁	～	4 9 頁
音 楽	…			5 0 頁
図画工作	…			5 1 頁
家 庭	…			5 2 頁
保 健	…	5 3 頁	～	5 5 頁
英 語	…	5 6 頁	～	5 9 頁
道 徳	…	6 0 頁	～	6 3 頁

調査研究報告書 ⑥

国語

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	あたらしい こくご 一上下 新しい国語 二上下 新しい国語 三上下 新しい国語 四上下 新しい国語 五 新しい国語 六	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、学習を進めるてびきにおいて、単元の「問い」を示し、それに即した言語活動を設定している。	【知識・技能】 ・単元名の隣に「言葉の力」として身に付けたい力を示し、「ふり返る」のコーナーでも「言葉の力」について説明している。 ・語彙について「ことばあつめ」や「言葉の広場」というページを掲載している。 ・伝統的な言語文化に関わる教材を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・単元において、「つかむ」から取組を経て、「ふり返る」という過程を設定している。 ・「学習で使う言葉」を掲載している。 ・対話や国語のノート作り等、活用できる内容を年度はじめに学ぼう示している。 ・他教科等の学習と関連する題材を取り上げている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「読むこと」の教材では、単元の前に導入「つかむ」のページと扉ページを掲載し、「つかむ」では、既習とのつながりや身に付ける力等を示している。 ・生活の中から手紙や新聞、インターネットの投稿等を教材に取り上げている。 ・2年生以上では、学びのモデルとして巻頭に「1年間の学習でがんばりたいこと、できるようになりたいこと」について対話する4人の児童のイラストを掲載している。 ・「ふり返り」では、振り返りの観点を示す記述を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「こんな本もいっしょに」というコーナーを設け、教材と同じ作者や関連した内容等の図書を紹介している。 ・読書に関する単元と「図書館へ行こう」という図書館活用に関する教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・領域ごとに、身に付けたい力と言語活動を示している。 ・単元を「つかむ」から取組、「ふり返る」の構成にしている。「つかむ」では、既習と単元で身に付ける言葉の力を示し、「ふり返る」では、振り返りの観点を示している。 ・単元の終わりに活用に向けた「生かそう」という項目を設定している。 ・3年生以上では音声資料の確認等ができるように二次元コードを設定している。 【分量・装丁】 1年:310ページ(上下巻 141+169) 2年:342ページ(上下巻 167+175) 3年:350ページ(上下巻 175+175) 4年:350ページ(上下巻 175+175) 5年:303ページ 6年:303ページ ・判型はB5判である。 ・1年生から4年生までは上下巻の2分冊、5、6年生は学年1冊にしている。	【読みやすさの工夫】 ・5行ごとの行数表示のほか、1行ごとに点(・)で行数を示している。 ・説明に記号やイラスト等を用いている。 ・カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。
11 学図	みんなとまなぶ しょうがっこう こくご 一ねん 上下 みんなと学ぶ 小学校 こくご 二年 上下 みんなと学ぶ 小学校 国語 三年 上下 みんなと学ぶ 小学校 国語 四年 上下 みんなと学ぶ 小学校 国語 五年 上下 みんなと学ぶ 小学校 国語 六年 上下	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、学年に応じ、「伝統的な言語文化」に関わる教材を取り上げている。	【知識・技能】 ・「言葉の泉」「言葉のきまり」という言語事項のページを設けている。 ・情報の扱い方について、演習を通して理解する教材を設定している。 ・伝統的な言語文化に関わる教材を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・めあてを確認したり見通しをもったりする、学習に取り組む、振り返るという学習過程を設定している。 ・生活と関連した内容を題材として設定している。 ・「書くこと」では、自分の経験や身の回りの出来事をもとに書くような題材を設定している。 ・「対話して読もう」では、脚問を設けた教材を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・1年間の学習内容を確認するよう、学年で身に付けたい力を一覧で示している。 ・「学びに向かう力、人間性等」の育成に向け、目標を示している。 ・下巻の巻末に、1年間の学習を振り返り、続けたいこと等を表現する活動を設定している。 ・単元の終わりに振り返りの観点を示す記述を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・読書に関する単元で、「ポップ作り」や「本の帯作り」等の学習活動を設定している。 ・「読書の部屋」という図書紹介のページを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・単元の見出しに、めあてや、言語活動の視点、方法等が明確になる単元名を示している。 ・「読むこと」では、文章と対話して読むための視点を示す「対話して読もう」を掲載している。 ・振り返りを促す記述を示している。 ・資料の確認等ができるように二次元コードを設定している。 【分量・装丁】 1年:264ページ(上下巻 136+128) 2年:276ページ(上下巻 140+136) 3年:306ページ(上下巻 158+148) 4年:310ページ(上下巻 158+152) 5年:336ページ(上下巻 172+164) 6年:326ページ(上下巻 164+162) ・判型はB5判である。 ・1年生から6年生まで、上下2分冊にしている。	【読みやすさの工夫】 ・5行ごとの行数表示のほか、1行ごとに点(・)で行数を示している。 ・記号やイラスト等を用いて学習のポイント等を示している。 ・カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	ひろがることば しょうがくこくご 一上下 ひろがることば 小学国語 二上下 ひろがる言葉 小学国語 三上下 ひろがる言葉 小学国語 四上下 ひろがる言葉 小学国語 五上下 ひろがる言葉 小学国語 六上下	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、考えを形成するための観点を例示したり、イラストを用いて言語活動の場面を示したりしている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字を学習する教材である「漢字の広場」を設けている。 語彙について、「言葉のまとめ」「言葉の木」を掲載している。 「ここが大事」として、重要な事項をまとめて示している。 伝統的な言語文化に関わる教材を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の手引きにおいて、対話的に行う活動を設定している。 身近な話題や題材を設定したり、他教科等と関連する教材を掲載したりしている。 教材の中で「大事な言い方」として示した文型等について、確認するページを付録に掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「〇年生で学ぶこと」という見開きのページに学習内容を領域ごとに掲載している。 単元名を通して言語活動の内容を示している。 単元の最後に、振り返りの観点を示す記述を掲載している。 単元において、学習の進め方や読みの観点を記載し、学習過程を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書に関する単元では、図書館利用の方法を掲載したり、書評を書く活動を設定したりしている。 「読むこと」の学習の終わりに、「本を読もう」として、図書を紹介するコーナーを掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元における学習の進め方を手引きのページ等で示している。 「読むこと」の教材の主要な単元に単元のとびらを設定し目標を示している。また、振り返りでは、目標に即した観点を示している。 「〇年生で学ぶこと」という見開きのページを設け、学習内容を領域ごとに示している。 資料等を確認できるように二次元コードを設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <p>1年:310ページ(上下巻 136+174) 2年:324ページ(上下巻 160+164) 3年:320ページ(上下巻 160+160) 4年:342ページ(上下巻 160+182) 5年:332ページ(上下巻 152+180) 6年:336ページ(上下巻 168+168)</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型はB5判である。 1年生から6年生まで2分冊にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の領域を「話す・聞く」「書く」「読む」「文化」「読書」「言葉」等の記号で示している。 学習ポイントの解説等に記号やキャラクターを用いている。 カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。
38 光村	こくご一上 かざぐるま こくご一下 ともだち こくご二上 たんぼぼ こくご二下 赤とんぼ 国語三上 わかば 国語三下 あおぞら 国語四上 かがやき 国語四下 はばたき 国語五 銀河 国語六 創造	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、学年に応じて「伝統的な言語文化」に関わる教材を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の「何が」「どのように」生きるかのヒントを示す、「いかそう」を設定している。 語彙について「言葉のたから箱」「学習に用いる言葉」を掲載している。 伝統的な言語文化に関わる教材を掲載している。 「情報の扱い方に関する事項」について、「考えるときに使おう」「集めるときに使おう」等の4系列に整理して示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」では、「対話の練習」の教材を掲載している。 「書くこと」「話すこと・聞くこと」の単元では、既習を確認することを示している。 「考えるときに使おう」では、考えるときに使う表現や図に表す方法等を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が自分のこととして考えられるよう、身近な話題や題材を設定している。 「読むこと」では、学習の見通しをもつための、読みの着眼点等を示している。 手引きのページにおいて、単元における目標から振り返りまでの学習過程や、振り返りの観点を示している。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では作例やメモの例等を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館を知る系列の内容と、読書の世界を広げる系列の内容で読書に関する単元を設けており、付録等で図書を紹介している。 「読むこと」の学習の終わりに、「この本読もう」で図書紹介等を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、ページ上段は活動、下段はメモ例等で構成している。 「読むこと」では、手引きの上段では課題、下段では取組のポイントやヒントを示している。 対話的な学習のイメージがもてるよう、イラストや話例によってポイントを示している。 音声資料等を確認できるように二次元コードを設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <p>1年:268ページ(上下巻 132+136) 2年:320ページ(上下巻 156+164) 3年:320ページ(上下巻 160+160) 4年:324ページ(上下巻 160+164) 5年:296ページ 6年:310ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型はB5判である。 1年生から4年生までは上下巻の2分冊、5、6年生は学年1冊にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学習に用いる言葉」を教材中に、記号を付けて示している。 学習のポイント等を記号やイラストを用いて示している。 カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。

調査研究報告書 ⑥

書写

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	あたらしい しょしゃ 一 新しい しょしゃ 二 新しい書写 三 新しい書写 四 新しい書写 五 新しい書写 六	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、対話的に振り返りを行う活動を学習過程に取り入れている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や合言葉を用いて書く姿勢と筆記具の持ち方を示し、点画の特徴を確認して名称を書き込むページを掲載している。 3年生以上では、毛筆の用具の扱い方について写真を用いて示している。 1年生の「線」を書く練習は、段階的に細くなるスペースで行うようにしている。 文字を整えて書く原理・原則を「書写のかぎ」として示している。 書き初めでは、3年生以上に書き初めの歴史や説明を掲載している。 童謡や俳句、古文等、伝統的な言語文化に関する教材を設定している。 漢字や仮名の成り立ちや世界の文字、文字に込められた人々の思い等、文字文化に関するページを「文字のいずみ」として掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「見つけよう」では、文字から課題を発見し、文字を整えて書くための原理・原則を見つける活動を設定している。 「生かそう」に教材と別の文字や言葉を示し、「書写のかぎ」をどのように生かせばよいのかを考える活動を設定している。 ノートやリーフレット、ポスターの作成等、他教科等の学習や生活と関連する内容を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他教科等の学習や生活の中で行われる「書いて伝える」活動と書写を関連づけた展開を示している。 単元の学習内容を確認する振り返りの活動を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りを「ふり返って話そう」とし、対話的な活動を設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭見開きまたは折り込みで、1年間の学習を「書写のかぎ」を集めながら進む道等に見立てて掲載している。 「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返って話そう」という学習過程で構成している。 「見つけよう」では、児童自身が文字から原理・原則を見つける構成で示している。 「確かめよう」では、単元のねらいとする「書写のかぎ」を確認する構成にしている。 書き方等の情報を動画で確認できるように二次元コードを用いている。 <p>【分量・装丁】</p> <p>総ページ数</p> <p>1年…49ページ 2年…45ページ 3年…57ページ 4年…53ページ 5年…53ページ 6年…53ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型はAB判である。 1、2年生の巻末に水書用紙を付けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 虫眼鏡、筆、鉛筆を用いた記号やキャラクターで示し、擬態語等を用いて説明している。 朱墨を用いた文字手本を掲載し、穂先の動きを示している。 鉛筆の持ち方において左利きの写真を掲載したり、利き手を問わず練習できるよう、硬筆のマス型の書き込み欄を、上下や左右両側に配置している。 カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。
11 学図	みんなとまなぶ しょうがっこうしょしゃ 一ねん みんなと学ぶ 小学校しょしゃ 二年 みんなと学ぶ 小学校書写 三年 みんなと学ぶ 小学校書写 四年 みんなと学ぶ 小学校書写 五年 みんなと学ぶ 小学校書写 六年	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、考えの形成に向け試し書きとまとめ書きの比較を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や合言葉を用いて書く姿勢と筆記具の持ち方を示している。 3年生以上では、毛筆の用具の扱い方について写真を用いて示している。 「書き方のカギ」(見方、考え方)を示して説明している。 俳句やことわざ、古文等、伝統的な言語文化に関わる教材を設定している。 手書きと活字の違いや筆の作り方等、書写に関するコラムを掲載している。 仮名の成り立ちや身の回りの文字等、文字文化に関するページを掲載している。 半紙原寸大の手本を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習した「書き方のカギ」を用い、教材とは別の文字を書く展開を示している。 試し書きとまとめ書きを比較し、その違いについて考えることを示している。 ポスターや学級新聞の書き方、都道府県名を書く欄等、他教科等の学習や生活と関連する活動を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りに、生活と関連する課題等を設定している。 低学年では、学習のポイントや自己の課題となるところに貼る「書き方のカギ」シールを付けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手紙やカード、学級新聞等、文字を通して思いを適切に表現したり、他者と伝え合ったりすることに関連した活動を示している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年に「学習の進め方」を掲載している。 学習に入る前に、前年度の学習を確認するページを掲載している。 「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」「ふり返ろう」の過程で構成している。 身に付いたことが実感できるよう、単元の最後には、実際に書いて確かめる「ふり返ろう」を設置している。 書き方等の情報を動画で確認したり自分の書いた文字を確認したりできるように二次元コードを用いている。 <p>【分量・装丁】</p> <p>総ページ数</p> <p>1年…50ページ 2年…47ページ 3年…51ページ 4年…59ページ 5年…53ページ 6年…51ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型はB5判である。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 硬筆のマス型の書き込み欄は、利き手を問わず練習できるよう、上下に配置している。 「確かめて書こう」では、「書き方のカギ」等の学習のポイントを記号やキャラクターの言葉等で示している。 朱墨を用いて穂先の動きを示している。 用具の置き方や筆の持ち方、書く姿勢の説明等について、写真を掲載している。 カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	しょうがく しょうしゃ 一ねん 小学 しょうしゃ 二年 小学 書写 三年 小学 書写 四年 小学 書写 五年 小学 書写 六年	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、見通しをもてるよう対話的な活動の様子を写真で示している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や合言葉を用いて書く姿勢と筆記具の持ち方を示し、点画の特徴や名称を確認するページを掲載している。 3年生以上では毛筆の用具の扱い方について写真を用いて示している。 文字を書く上でのポイントを「ここが大切」に示している。 3・4年生では、線の太さと筆圧の関係を写真を対応させて示している。 民話や俳句、古文などの伝統的な言語文化に関する教材を設定している。 漢字の成り立ちや身の回りの文字、世界の挨拶の書き表し方等、文字文化に関するページを掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 低学年では、鉛筆の持ち方の学習後、対話をして確かめる活動を示している。 「生かそう」で教材とは別の文字を掲載し、学習したことをどう生かせばよいのかを考える活動を設定している。 「ためし書き」「まとめ書き」の欄を設け、書いた文字の変容を考える活動を位置付けている。 ノートやリーフレット、メモの書き方等、他教科等の学習や生活と関連する活動を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対話的な活動の際に必要な用語やポイント等を「ここが大切」に掲載している。 「ふり返ろう」では、記号を使って自己評価ができるように設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書いて伝え合おう」のページを設定し、学級新聞、思い出に残る言葉等、互いの思いを伝え合う活動を示している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生以上では、目次に1年間の学習のめあて等を示している。 4年生以上では、目次のページに前学年の学習内容を示している。 「学習の進め方」を示している。 3年生以上は、「めあて」「ためし書き」「考えよう」「ここが大切」「まとめ書き」「生かそう」「ふり返ろう」という7つの学習過程で構成している。低学年は4つの学習過程で構成している。 動画で書き方等の情報等を確認できるように二次元コードを用いている。 <p>【分量・装丁】</p> <p>総ページ数</p> <p>1年…49ページ 2年…41ページ 3年…61ページ 4年…61ページ 5年…53ページ 6年…53ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型はB5判である。 1年生の巻末に水書用紙を付けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運筆のポイントや振り返り等、学習過程について、イラストを用いて示している。 朱墨を用いて穂先の通り道を示している。 キャラクターが、吹き出しで問いかけやコメントをしている。 カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。
38 光村	しょうしゃ 一ねん しょうしゃ 二年 書写 三年 書写 四年 書写 五年 書写 六年	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、比較等を通し、対話的に行う学習活動を取り入れている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書く姿勢と筆記具の持ち方を、写真や合言葉を用いて示している。 3年生以上では、毛筆の用具の扱い方について写真を用いて示している。 4年生以上では、目次のページに、日常における書写に関連する課題について、問いかけるイラストを示している。 俳句や短歌、古文等、伝統的な言語文化に関する教材を設定している。 仮名の成り立ちや、手書き文字と活字等、文字文化に関する内容を掲載している。 全学年に漢字の成り立ちをイラストで示す「漢字図かん」のページを掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例を対比させて、学習のポイントを考える活動を設定している。 毛筆で書いた文字を硬筆で書き、書く上でのポイントを考える活動を設定している。 1年生では、鉛筆の持ち方をイラストで示し、比べて確認する活動を掲載している。 連絡帳やリーフレット、インタビューにおけるメモの作成等、他教科等の学習や生活と関連する内容を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ふり返ろう」では、マークを使って自己評価ができるように設定している。 学年のまとめでは、自分でめあてを決めて、文字を書くように設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6年生に、未来の自分を思いえがくときに浮かぶ「自分だけの一文字」を書く活動を設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6年間のまとめ「書写ブック」を付けている。 「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習過程を示している。 3年生以上は「学習の進め方」を示している。 3年生では、振り返りで活用するシールを付けている。 動画で書き方等の情報を確認できるように二次元コードを用いている。 <p>【分量・装丁】</p> <p>総ページ数</p> <p>1年…45ページ 2年…41ページ 3年…57ページ 4年…53ページ 5年…55ページ 6年…53ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型はB5判である。 1年生の巻末に水書用紙を付けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朱墨を用いて穂先の通り道を示している。 学習のポイント等を、擬態語、キャラクターの言葉等を用いて説明している。 「たいせつ」や関連する教科名等を記号を用いて示している。 カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	しょうがくしょしゃ 一ねん 小学しょしゃ 二年 小学書写 三年 小学書写 四年 小学書写 五年 小学書写 六年	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、比較等を通し、対話的に行う学習活動を取り入れている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書く姿勢と筆記具の持ち方を、写真を用いて示し、4年生までは合言葉も示している。 3年生以上では、毛筆の用具の扱い方について写真を用いて示している。 3、4年生では、筆圧と線の太さの関係について写真で示している。 全学年で、「語彙」を扱った「言葉の窓」を掲載している。 ことわざや俳句、古文等、伝統的な言語文化に関する教材を設定している。 仮名の成り立ちや、手書き文字と活字、身の回りにある文字等、文字文化に関する内容を掲載している。 目次のページに学年の目標を示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「考える」では、書き方のポイント等、単元の要点を考える場面を設けている。 1年生では、鉛筆の持ち方の学習後、教科書と比べて確かめる活動を設けている。 「国語の広場」として、書写の学びを活用して行う活動を設定している。 複数の例を示し、比較することを通して考える活動を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書写で身に付けた力を活用する「生活と書写」のページを示している。 振り返りでは、各単元の「めあて」に対応した「できたかな」を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「生活と書写」では、絵日記や連絡帳、手紙、学級新聞の書き方等、伝え合うことを意識した活動を設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1、2年生は教科書の使い方、3年生以上は「書写学習の進め方」と「学習の流れ」を掲載している。 3年生以上は、「試し書きをする」「考える」「確かめる」「まとめ書きをする」「いかす」「ふり返る」という学習過程で構成している。低学年は3つの学習過程で構成している。 3年生以上は、学年のまとめで今まで扱った題材と対応ページを掲載している。 書いた文字を手本や最終的な自己の作品と比較できるよう試し書きを設定している。 書くときの姿勢等を動画で確認できるようにホームページのURLを示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総ページ数 1年…40ページ 2年…40ページ 3年…56ページ 4年…56ページ 5年…52ページ 6年…52ページ 判型はB5判である。 1、2年生の巻末に水書きシートを付けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 硬筆のマス型欄は、利き手を問わず書くことができるよう上下に配置している。 朱墨を用いて穂先の通り道を示している。 学習のポイント等を、イラスト、擬態語、キャラクターの言葉等を用いて説明している。 カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。

調査研究報告書 ⑥

社会

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会 3 新しい社会 4 新しい社会 5 新しい社会 5 新しい社会 6 治・国際編 新しい社会 6 史編 上 下 政 歴	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、選択・判断に向けて多様な立場からの話し合い活動を掲載するなど工夫を行っている。</p>	<p>【知識・技能】 ・「ことば」のコーナーでは、各単元における学習のキーワードを取り上げ、文章で説明している。3年、4年では巻末の索引で調べることができるようにしている。 ・「まなび方コーナー」では、学年ごとに「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」の3つの視点で、見学の仕方、地図や索引、各種資料や年表等の読み取り方、新聞やレポートの作り方など、社会科に必要な学び方を示している。 ・各学年で最初に扱う単元には「学習の進め方」を掲載し、学習問題について予想したり、学習計画を立てたり、調べたりまとめたりするなど学習の流れを示し、社会科の学び方を理解できるようにしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・3年、4年、5年の巻末には、「どのように学んだかふり返ろう」のページを設け、「比べる」「関連づける」「総合する」といった考え方や具体例を示している。また、発表の仕方や話し合いの仕方等も具体例を用いて示している。 ・単元の「まとめる」のページで様々なまとめ方を示している。表や白地図、新聞やカード、関係図、意見文など単元のねらいに応じたまとめ方を示している。 ・学習内容に応じた「見方・考え方」を働かせられるよう、空間や時間、相互関係に着目する視点や考え方を示す囲みを、単元の随所にキャラクターと共に掲載している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・「いかす」のページでは、主体的に社会に関わる姿勢の育成を目指して、単元で学んだことを生かして、自分たちにできることやこれからの生活のことを考えるなどの活動を示している。</p> <p>【かわさき教育プラン】 ・5年生の「工業生産を支える輸送と貿易」の資料として、神奈川県横浜港を掲載している。</p>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に前学年で学習した内容とこれから学ぶ内容を見開きでまとめて示し、巻末にその学年の学習内容を振り返るページを設けている。 ・各ページでは、「つかむ」「調べる」「まとめる」「ひろげる」「いかす」といった学習の流れを示している。 ・「つかむ」では、単元の学習問題と学習計画を示し、「まとめる」では学習問題や大切な言葉を示している。「ひろげる」では、発展的に学習する内容を示している。 ・Dマークを示したページでは、インターネットに接続して学習ができるようにしている。巻頭には二次元コードを掲載している。</p> <p>【分量・装丁】 ・3年、4年は1冊、5年は上下2分冊、6年は「政治・国際編」と「歴史編」の2分冊としている。 ・6年の歴史の単元では、縄文時代と弥生時代の想像図を並べて見開きで示して、比較しやすいようにしている。</p>	<p>【読みやすさの工夫】 ・キャラクターが登場し、学習の進め方やポイントを説明している。 ・専用教科書体とゴシック体を使用している。適所にユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・「つかむ」「調べる」といった学習の構成によって、見出しの色を変えて学習内容を示している。 ・ページの下部に他教科で学ぶ用語を示し、関連を示している。</p>
17 教出	小学社会 3 小学社会 4 小学社会 5 小学社会 6	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、話し合いや振り返りの場面で社会的な見方・考え方を働かせることができるようキャラクターの言葉を工夫している。</p>	<p>【知識・技能】 ・問題解決に活用すべき言葉や概念を「キーワード」として示している。「キーワード」は、3年、4年では巻末の索引で調べることができるようにしている。5年、6年は巻末の索引において太字で示している。 ・単元の内容等に応じて「集める」「読み取る」「表す」といった技能について「学びのてびき」のコーナーを設け、説明している。 ・3年の巻末に社会科ガイドを設け、地域調査、地図帳の活用、記録・表現の方法や留意点について解説している。 ・各学年の巻頭には「社会科の学習の進め方」を掲載し、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」といった社会科の学び方を理解できるようにしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・各学年の巻頭に「社会科の見方や考え方」を例示し、「時期や変化」「場所や広がり」「比べる」「関連づける」「総合する」等について具体的に示している。 ・各単元の「まとめる」のページでは、地図や表、付箋の活用、話し合い等、単元の学習内容に応じて様々な表現の仕方を示している。 ・「見方・考え方」を働かせている様子が分かるよう、キャラクターが資料を比較したり関連付けたりしている様子を示している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・「つなげる」のページでは、学習してきたことを生かして、生活に関わることやこれからの社会について考えることを促している。</p> <p>【かわさき教育プラン】 ・6年の「ともに生きる暮らしと政治」では、「ひろげる」のページで向ヶ丘遊園駅の地下通路整備を掲載している。6年の「日本とつながりが深い国々」では川崎市の外国人市民代表者会議を掲載している。</p>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各学年の巻頭で前学年の振り返りと「社会科の見方や考え方」を確認するページ、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」等の学習過程を説明するページを掲載している。巻末にその学年の学習を振り返るページを掲載している。 ・各ページでは、単元の問いを「みんなでつなげた学習問題」、各時間の問いを「この時間の問い」とし、「次につなげよう」で学習のつながりを意識できるようにし、「まとめる」では学習問題とまとめの着目点を示している。 ・「まなびリンク」のマークがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができるようにしている。巻頭に二次元コードを掲載している。</p> <p>【分量・装丁】 ・3年、4年、5年、6年の各学年をそれぞれ1冊としている。 ・6年の歴史の導入では、政治の学習を生かせるように、参政権の拡大の視点から歴史学習に入るようにしている。</p>	<p>【読みやすさの工夫】 ・キャラクターが登場し、学習に関するアドバイスをしたり、社会的な見方・考え方の視点や方法を例示したりしている。 ・フォントや資料の配色はユニバーサルデザインに配慮している。本文の文字はUDデジタル教科書体を使用している。 ・単元名の背景色と学習問題の背景色、「各時間の問い」「次につなげよう」の背景色を単元ごとに統一している。</p>

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	小学社会 3年 小学社会 4年 小学社会 5年 小学社会 6年	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、単元のまとめで学習問題について話し合う場面を具体的に示し、様々な立場を踏まえて解決を図れるようにしている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元で大切な社会科の用語として「キーワード」を設定し、それぞれについて文章で解説している。また、3年、4年、5年では巻末の索引で調べることができるようにしている。 「学び方・調べ方コーナー」では、単元の内容等に応じて、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」に分けて、調べ方やまとめ方等について解説している。また、「読み取る」については、「確かめる」「見つける」「考える」の3つのステップを示している。 各学年の巻頭では、子どもの写真やキャラクターを配置して調べる、話し合う、まとめる等の社会科の学習の流れを示し、理解できるようにしている。 「やってみよう」のコーナーでは、繰り返し使う知識を見直す内容や学習活動を思い出す内容を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「見方・考え方コーナー」では、「空間」「時間」「関係」の3つの視点で物事をとらえたり、考えたりする際のアドバイス等を記載している。 「学び方・調べ方コーナー」の「表現する」では、発表の仕方、振り返りの手順、図によるまとめ方、ノート書き方、調べて考えたことを交流する等、学年に応じて思考・判断したことを表現する方法等を示している。 各単元のまとめのページでは、これまでの学習を振り返るよう促し、キャラクターが話し合っただけ学習をまとめていく様子を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「わたしたちの学びを生かそう」のページでは、学習を生かして考え、さらに調べたい内容として、発展的に学習する内容を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海上保安庁の取り組みの舞台として神奈川県横浜市を取り上げている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭に学年の学習内容を示す写真やその学年の学習の概要、「この教科書の使い方」を掲載している。 見開きページでの疑問を「わたし(たち)の問題」、学級全体で話し合う問題を「学習問題」、学習問題の解決後に生まれる問題を「さらに考えたい問題」と示している。 「さらに考えたい問題」を解決したのちに、これから考えたり、できることを考えたりするページを掲載している。 デジタルマークがあるところはウェブページのデジタル資料でさらに学習を深められるようにしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年、4年、5年、6年の各学年をそれぞれ1冊としている。 6年「江戸のまちのようす」を折込ページの見開きで掲載し、当時の様子に興味をもてるようにしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの意見や話し合いの様子は、キャラクターや吹き出しを使ったり、フォントを変えたりして表している。 本文中の学習活動の文章、子どもの意見や発言の文章、知識や事実を表す文章について、それぞれ文字の大きさを変えて表記している。また、読みやすいよう開発した教科書体を使用している。 単元名の背景色と学習問題の背景色、「わたし(たち)の学習問題」の背景色を単元ごとに統一している。

調査研究報告書 ⑥

地図

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい地図帳	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、地図の周辺にキャラクターを配置して、地図の読み取りを手助けしたり、考えるよう促したりする吹き出しを示し、多角的に考えられるようにしている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図の作られ方、地図記号や凡例、索引、方位、縮尺、地形表現、土地利用、目的に応じた地図の違い、といった基本的な地図の読み方を解説するページを設け、キャラクターを活用して説明している。 ・都道府県に関心を持ち、地図の活用に生かせるよう、都道府県についてのクイズを出すコーナーを設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料のページでは、日本の特色を捉えることができるよう、学習テーマに沿った主題図や統計資料を配置し、関連するデータやイラストを示している。 ・地図のページでは、その地域の特色に気付きやすいように、イラストや写真を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の「調べてみたい」という意欲や興味を引き出すために、巻頭に世界と日本のイラストマップと各地の自然や文化、産物等を表すイラストを掲載している。 ・男女のキャラクターの他にも博士や船長などのキャラクターを配置して、地図活用の手掛かりとなるように吹き出しを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の地図のページでは、その地域の特色が分かりやすくなるよう、生息する動物や食文化の違いが分かる写真などを掲載している。 ・日本の世界遺産のページでは、日本の世界自然遺産、世界文化遺産の写真を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成内容に関する資料やインターネットのサイトとつながるように、「Dマーク」を設置している。興味・関心を高め、主体的に取り組めるようにするために、クイズを行ったり、各種資料等を閲覧できるようにしたりしている。 ・地図の理解に向けて、実際の街の様子を地図へ変換する様子が見られるように、イラスト図と地図を比較して説明している。 ・資料のページの日本の歴史では、世界とのかわりを示す資料を取り入れている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判を採用している。また、4年間の使用に耐えられるよう、糸かがりで綴じている。折込ページには折り目を強化する加工を行っている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料のページの雨温図のグラフでは月ごとに交互に色を変えている。 ・海底の青から高地の茶色まで、最多17段階で色を変え、高低を表している。 ・地図中の文字や記号を大きくし、フォントはユニバーサルデザインフォントを使用している。都道府県名の表示は赤の太字で表記している。 ・説明文は文節改行にしている。
46 帝国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「地図マスターへの道」を掲載し、地図の読み取り方を身に付けられるようにしたり、読み取ったことを説明したりする活動を促す工夫を行っている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図の作られ方、方位の活用、地図記号、縮尺の使い方、記号と凡例、さくいん、多様な地図など、地図の約束や活用の仕方を説明するページを設け、「トライ！」のコーナーで確認するなどしている。 ・都道府県について様々な視点から特徴を捉えられるようなページを設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料のページでは、比較したり関連付けたりできるよう、学習テーマに沿った主題図や統計資料等を掲載している。 ・地図のページでは、土地利用の様子を捉えることができるよう、拡大図を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面で主体的に地図が使われるように、巻頭に世界地図と世界の挨拶や国旗、文化等が分かるイラスト等を掲載している。 ・意欲を高める手立てとして、各ページに「地図マスターへの道」を掲載し、その内容をクリアすることで色を塗っていけるコーナーを別ページに設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の地図のページでは、「集まれ！世界の子どもたち」というコーナーを設け、子どもたちの姿を通して、世界の国々の文化や特色等を掲載している。 ・日本の歴史と世界文化遺産のページでは日本の世界文化遺産の写真を掲載している。 ・「東京都とそのまわり」では、20万分の1の縮尺で川崎市や二ヶ領用水を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを設置し、地図や動画、クイズ等、様々な視点で資料活用能力を育成したり考えを深めたりする手立てにアクセスできるようにしている。 ・地図の理解に向けて、実際の街の様子を地図へ変換する様子が見られるように、イラスト図と地図を比較して説明をしている。 ・「地図マスターへの道」では、地図を活用して、社会的な見方・考え方を働かせながら調べたり考えたりできるような質問を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判を採用している。また、糸かがりで綴じることと、背に寒冷紗をまくことで、4年間の使用に耐えられるように強化している。折込ページには折り目を強化する加工を行っている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料のページの雨温図のグラフでは降水量の高い月と低い月の色を変えている。 ・海底の青から高地の茶色まで、最多13段階で色を変え、高低を表している。 ・地図のページの都道府県名や県庁所在地名は、とめ、はね、はらいが正しく表現されるユニバーサルデザインの学参フォントを使用している。 ・説明文は文節改行にしている。

調査研究報告書 ⑥

算数

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	あたらしい さんすう 1 ① さんすうのとびら あたらしい さんすう 1 ② さんすう だいすき！ 新しい算数 2上 考えるって おもしろい！ 新しい算数 2下 考えるって おもしろい！ 新しい算数 3上 考えるっておもしろい！ 新しい算数 3下 考えるっておもしろい！ 新しい算数 4上 考えると見方が広がる！ 新しい算数 4下 考えると見方が広がる！ 新しい算数 5上 考えると見方が広がる！ 新しい算数 5下 考えると見方が広がる！ 新しい算数 6 数学へジャンプ！	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 ・教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関して、現代的な社会問題・教育課題など「算数で読みたい」として、オリンピック・パラリンピックの問題や情報通信技術の問題、また江戸時代に栄えた和算について和算コースとして掲載している。	【知識・技能】 ・単元の最初に「・・・をふり返ろう」のページを設け、既習内容を確認できるよう設定している。 ・巻末にある「ふりかえりコーナー」では、児童が必要に応じて自力で既習の内容を確かめたり調べたりできるよう示している。 ・単元末の「たしかめよう」では、単元で学習した基礎的・基本的な概念や性質の理解、技能の定着を図ることができるよう設定している。 ・単元と単元の間にある復習問題「おぼえているかな？」では、学習後の基礎的・基本的な概念や性質の理解、技能の維持・強化を図り、次単元の準備ができるように示している。自己評価ができるように巻末に解答を掲載している。 ・巻末にある「まじゅうのもんだい」では、原則として全単元の習熟を図れるように設定している。また、自己評価できるように解答を掲載している。 ・6年生の「数の並びかえ方」では、プログラミング体験ができる「プログラミングを体験しよう！」を設定している。 【思考・判断・表現】 ・数学的な見方・考え方が意識できるように、各時間に働かせる数学的な見方・考え方の可視化や、単元末に「つないでいこう算数の目」のページを設定している。 ・写真や絵などを取り入れた問題で、日常生活で意識できるような課題を示している。 ・2年生以上の単元末に「つないでいこう 算数の目」を設定し、当該単元の学習内容と既習を数学的な見方・考え方を介して統合していけるよう示している。 ・「算数マイノートをつくらう」「算数マイノートを学習に生かそう」では、児童一人一人の論理的な思考活動・表現活動の場としてノートを活用できるように、考えの記述の仕方やノートの活用の仕方が分かるように構成している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学び方が身に付くよう、授業開きの際に使える「学びのとびら」を設定している。 ・単元の導入の「単元プロローグ」では、身の回りの事象から数理を見出し、学習内容と生活を関連付けている。 ・2年生以上の単元末に「いかしてみよう」を設定し、学習したことを日常生活に活用できるようにしている。 【かわさき教育プラン】 ・巻末にある「まじゅうのもんだい」では、練習問題と同じレベルの問題(似ている問題)と、負荷のある問題(難しい問題)の2段階レベルの問題で構成している。解答が掲載されており、家庭学習ができるように設定している。 ・集団の中で役割を果たしたり自覚したりすることが重要な活動として意図的に取り上げ、多様な職業や生き方にふれる場面を採用したりして、職業に就くことを想定して思考判断する問題を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・問い、自力思考、集団思考、まとめの流れで掲載し、問題解決型学習の授業展開ができるよう構成している。 ・多様な考えから共通点を見つけてまとめにつなげるよう示している。 ・2年生以上の上巻巻頭に「学びのとびら」を設定し、主体的・対話的な問題解決の過程を可視化し、体感した上で1年間の学習に入っていけるよう設定している。 ・2年生以上に、深い学びを通して資質・能力を高められるように、「今日の深い学び」という主体的・対話的な問題解決の過程を詳しく可視化したページを学年3箇所(2年生は1箇所)設定している。 【分量・装丁】 ・1年生は①②の分冊 ・2年生～5年生は上下分冊 ・6年生は1冊 ・6年生は、数学の学習を見据えて、一部体験(中学体験入学コース)できるよう構成している。 ・B5判(1年の①のみA4判)	【読みやすさの工夫】 ・児童がノートに簡単に書けるようなマークを使用している。 ・キャラクターに吹き出しや、マークを使い、意識させたいことや見方・考え方を整理している。 ・課題とまとめは、緑枠で囲まれ、枠内も緑色で表記している。 ・算数用語は、グレーの網掛けに囲まれ、太字に波線を引いて表記している。 ・授業の核となる数学的な考え方を緑枠の吹き出しで表現している。
4 大日本	たのしいさんすう1ねん たのしい算数2年 たのしい算数3年 たのしい算数4年 たのしい算数5年 たのしい算数6年	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものになっている。 ・教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関して、今日的な教育課題を取り上げ、防災に係わる問題やオリンピック・パラリンピックの問題、和算の問題なども掲載している。	【知識・技能】 ・既習事項の確認ができるように「ふくしゅう」では、いくつかの単元をまとめて構成している。 ・単元末の「たしかめ問題」の「しっかりチェック」では、単元の基礎的・基本的な知識・技能の理解や定着を図れるように、重要な部分にしぼって掲載している。 ・巻末に前学年までの既習事項を掲載している。 ・発達の段階に応じたプログラミング的思考を育むことができるように、全学年に「プログラミングにちょうせん！」を設定している。 【思考・判断・表現】 ・単元内の「じっくり深く学び合おう」では、児童の考えが複数提示された板書から、考えを読み取ったり、解決方法を言葉で説明したり、図や式を結びつけたりする様子を、児童の言葉で吹き出しとして掲載している。 ・鍵マーク(ひらめきアイテム集)では、数学的な見方・考え方をまとめて示している。また、学年間を通じ既習の方法で考え理解できるようにしている。 ・「算数たまたまばこ」では、日常に現れる算数の内容を紹介したり、算数の問題を日常に戻したりして、算数と日常を結びつける活動を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「なるほど算数教室」では、算数への興味・関心が高まるような問題や話などを掲載している。各教科等との関連も掲載している。 ・「読みとる力をのばそう」では、情報を収集し既習事項をもとにして自ら説明したり問題を作ったりするなど、活用や表現する内容を掲載している。 ・「おうちで算数」では、家庭学習との関連を図るよう自宅でできる算数の考え方を紹介している。 【かわさき教育プラン】 ・「+1(プラスワン)」では、単元末の確かめ問題などが終わった場合の適用問題の補充問題を掲載している。難しい問題もあり、習熟の状況に応じた学習内容を掲載している。 ・大問題に対する適用問題や「たしかめの問題」において、習熟の程度に応じた指導ができるように、問題に青色をつけ、問題数を自分で選択できるようにしてある。また、「たしかめの問題」の中に、「チャレンジ！」を設定することで、基礎的・基本的な問題と発展的な問題とを分けながら問題を掲載している。 ・算数を生かして仕事をされている方へのインタビューを掲載している。デジタルコンテンツに動画も用意している。また問題場面にも仕事に関したものを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「じっくり深く学び合おう」では、「学習課題」→「めあて」→「自力思考」→「集団解決」→「まとめ」→「適用問題」の流れで掲載し、その様子を写真や吹き出しなどで表している。 ・3年生以上の「じっくり深く学び合おう」では、上記の学習の流れに加え「ふりかえろう」を設定し、大切な考えを確認したり、発展的に考えたりすることで、次時以降の活動に生かすことができるように構成している。 ・学年はじめの「数と計算」領域の「じっくり深く学び合おう」では、板書例とともに、予想される児童の反応、教師の発問例を記載し、多様な考え方の広げ方やつなげ方、深め方が理解できるように掲載している。 【分量・装丁】 ・各学年 1冊 ・B5判	【読みやすさの工夫】 ・課題は枠で囲み、ページ色で強調して示している。 ・予想される児童の反応や考え方を吹き出しで示している。問題解決のキーワードとなる言葉や解決へ導く言葉を掲載している。 ・児童が学習の過程で見つけるまとめを「はっけん！」と称し、赤枠で表記している。 ・教師が指導するべき、算数の用語や決まり(定義)を青囲いで表記している。 ・児童が学習の中で見つけていく部分と、教師が指導する部分とを明確にするために、赤囲いと青囲いを区別して掲載している。 ・単元の番号を学習の内容によって色分けしている。(緑; 数・計算, ピンク; 図形, 橙; 整理の仕方, 青; 変わり方など) ・算数用語は、青の枠で囲まれ、フォントも太字で表記している。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学図	みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん上 みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん下 みんなと学ぶ 小学校 算 数 2年上 みんなと学ぶ 小学校 算 数 2年下 みんなと学ぶ 小学校 算 数 3年上 みんなと学ぶ 小学校 算 数 3年下 みんなと学ぶ 小学校 算 数 4年上 みんなと学ぶ 小学校 算 数 4年下 みんなと学ぶ 小学校 算 数 5年上 みんなと学ぶ 小学校 算 数 5年下 みんなと学ぶ 小学校 算 数 6年 みんなと学ぶ 小学校 算 数 6年 中学校へのかけ 橋	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものにしている。 教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関して、世界の環境への関心や安全・防犯・防災においてデータより読み取る問題を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 「～したいな」という項目で、その単元で身に付ける知識・技能について明示し、つまずきやすいポイントで、キャラクターがつぶやいたり図を示していたりと、見通しをもたせる手立てを工夫している。 「〇年生で見つけた考え方」では、前学年(既習事項)との関わりなどをイラストを用いて示している。 発達の段階に応じたプログラミング的思考を育むことができるように、全学年に「プログラミングの〇」を設定している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 日常生活に生かせることを既習内容を使用することにより解決し、学んだことの良さを実感できるように単元末に「ふかめよう」を設定している。 「ふりかえろうつなげよう」では、その単元で学んだことと既習事項とを関連付けられるように図やキャラクターを用いて解説している。 本編中の「ノート名人になろう」では、考えたことや疑問に思ったことをノートにまとめる方法を示している。 学習する上で9つの数学的な見方・考え方を意識できるように、9体のモンスターのキャラクターで表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入の「?をはっけん」では、マンガを取り入れ、日常生活や身近な題材等より、活動の中から新たな問いをもつような工夫を示している。 「活動!!」(高学年は「アクティブ!!」)では、体験活動や話し合い活動などを取り入れ、興味・関心を高めるための工夫をしている。 日常生活と算数の学習の関連付けを図り、児童が興味・関心を高めたり、問いをもつきっかけとなるように「みんなの町の算数」等のコーナーを設けている。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の実態や興味・関心に応じて、選択的に扱うことができるように巻末の「ほじゅう問題」では、本文の内容の習熟を確実にするための問題を設定している。 将来なりたい職業を調べて様々な職業に興味をもつことで、仕事について考える機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの問いの連続により授業が展開し、数学的な活動が継続されるように「知りたいな」「考えたいな」「たしかめたいな」「やってみよう」のサイクルで、学習を構成している。 「ふりかえろう つなげよう」では単元の振り返りを通して、次への疑問をもったり、学習への意欲を高めたりする手立てを示している。 「話し合いしたいな」「説明したいな」「比べたいな」などの項目を設定し、考え方を広げ、統合する場面を設けている。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> 1年生～5年生は上下分冊 6年生は1冊(中学への架け橋別冊あり) AB判 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザイン視点の視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集している。 「見方・考え方」やまとめなどでは、キャラクターを用い、吹き出しなどにより短い言葉でまとめている。 大事な用語は太字、まとめは赤枠で囲み、示している。 課題提示では、具体物を実写で掲示している。 重要度に応じて文字の大きさや書体を変えて表記している。 算数用語には、統一のキャラクターと青い枠で囲み、太字で表記している。
17 教出	しょうがくさんすう1 小学算数2上 小学算数2下 小学算数3上 小学算数3下 小学算数4上 小学算数4下 小学算数5 小学算数6	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものにしている。 教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関して、現代的な諸課題に対応すべく、オリンピック・パラリンピックの問題やパスワード(並べ方と組み合わせ)問題などを多くの学年で掲載している。また地域の2ヶ領用水についての問題も掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 知識・技能を学年を超えてつなげられるように、系統を意識して学んだり、分からない箇所をすぐに参照したりできるようにするなどで、既習の内容を巻末にまとめて示している。 毎時の学習で理解の確認のため「たしかめ」問題を設定している。その後、反復練習ができるようにしている。反復練習では、基本的な計算の型を色分けしている。単元途中で「センスアップ」「算数メモ」「算数ミニクイズ」「言葉の広場」の項目を設けている。 単元のまとめでは、「ふりかえろう」で「知識」をふりかえり、「たしかめよう」で「技能」をたしかめられるようにしている。 家庭学習用に「ステップアップ算数」を設定している。巻末にある問題を「きほんのもんだい」「ジャンプもんだい」とレベル別に設定している。 間違いが起りやすい問題をクローズアップして、つまずきのポイントを意識できるようにしている。「考えるヒント」では、何をもとにして考えればよいのかということや、図や表などをどのような形で表せば理解が進みやすいかということなどについて支援の仕方を工夫している。「よくあるまちがいは、誤答例を掲載し、つまずきに気付くようにしている。 第5学年の「正多角形の作図」では、実際にプログラミング体験ができる「プログラミングにちょう戦しよう」を設けている。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 数学的な見方・考え方を伸ばすための工夫として、「なるほど!」のマークで毎日の授業を振り返るようにしている。また、単元のまとめでは4コマ漫画で学んだことのよさや考え方を振り返ることができるように工夫している。 学習を進めるうえでのノートの書き方指導ページが設定されている。友だちのノートのよいところを見つける活動を通して、表現力を高められるように工夫している。 数学的な見方に焦点を当てたコラムを掲載している。 巻末では、前学年までの数学的な見方を繰り返し参照できるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 「広がる算数」や「算数ワールド」のページを設定している。現代的な諸課題への対応として、環境、防災・安全、福祉、情報などのテーマを通じて、社会の変化に対応していく力をつけるようにしている。 伝統・文化や道徳、数学の歴史に触れられるページや算数の有用性を感じられるコラムを掲載している。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> たしかめ問題の後に練習問題を1時間ごとに設定している。個の支援として「考えるヒント」を掲載し、「はってん」マークの発展的な学習、自分で取り組む「ステップアップ算数」を設定している。 宇宙開発やGPS、AIなどの話題に触れることで、算数が生活や職業と関連することの理解を深められるように最先端の科学技術を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 「?」の連続でつくる数学的活動として、児童の「問い」の連続で学習が進められるように工夫している。問題発見・解決の過程を「はてな?→なるほど!→だったら!？」と吹き出しで示し、「問い」をもち、学び合うことで考えが深まるように構成している。 単元導入では身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようにしている。単元末では、学習したことを日常場面に活用し、何ができるようになったかを実感できるように構成している。また、「予想する」「やってみる」「話し合う」「振り返る」のように学びに向かうきっかけをつくる様々な活動を示している。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> 2年生～4年生は上下分冊 1、5、6年生は1冊 児童の負担に配慮し、現行版の紙を改良してさらに軽量化している。 B5判 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 課題は、葉のマークを付けて、緑の線で示している。 問題は、はてな「?」、まとめは、なるほど「!」のマークを付けて、児童の言葉で示している。 算数用語は、赤(橙)枠で囲み、枠内も同色で強調し、大事な用語は赤色太字でフォントも大きく示している。 図版に色名を付記して色調以外でも区別できるように示している。 ユニバーサルデザインフォントを採用しており、文字を大きく、色を濃く掲載している。 巻末の索引では算数用語を豊富に記載している。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	わくわくさんすう 1 わくわく算数 2 上 わくわく算数 2 下 わくわく算数 3 上 わくわく算数 3 下 わくわく算数 4 上 わくわく算数 4 下 わくわく算数 5 わくわく算数 6	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものにしている。 教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関して、他国の文化を紹介する題材や国際協力についての問題、オリンピック・パラリンピック教育につながる題材を掲載している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎単元使えるレディネスチェックが設定しており、「じゅんぴ」として単元の最初にどの学年のどの単元が既習事項か分かるように掲載している。 表紙とそれぞれの単元とびらに二次元コードがあり、家庭学習として使えるようにしている。 二次元コードには、1単元分の問題を記載している。 第5学年の「算数ラボ」では、プログラミング的思考を育むような内容として、正多角形の作図のアルゴリズム体験を設定している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学期末の「わくわく算数ひろば」は年3回配置している。 「わくわく算数ひろば」では、「どんな計算になるのかな」「算数の自由研究」「みらいへのつばさ」などの題名で、様々な活用問題や思考力問題で構成した特設コーナーを設けている。 「図を使って考えよう」「表を使って考えよう」など思考力をはぐくむ単元を設置している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい学習を始める時に主体的に取り組めるよう、既習事項や日常の問題から学びをつなげられるように学習を設定している。 単元の開始時に、単元名を掲載するのではなく、日常場面や問いかけを最初に示している。 めあてをすべての時間に例示し、めあてにつながる児童たちの主体的な考えや気づき(見通し、課題発見)を、学びのめばえとして示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年～6年巻末に「じゅんぴ」「もっと練習」「算数資料集」などの「学びのサポート」が掲載され、「もっと練習」では2段階の問題で設定している。 6年学年末の「ひろがる算数」では、様々な職業の人にインタビューがされ算数が仕事に繋がっていることを実感できる内容を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての単元において「問題」→「学びのめばえ」→「本時のめあて」→「自力思考」→「集団思考」→「まとめ」→「適用問題」→「もっと練習」の流れで構成している。 自力思考で出てくると予想される途中段階の図や表を掲載している。 「練習」「復習」は3つのブロックに分けて構成している。 補充や発展問題として、単元末に「学びのまとめ」を設定している。また巻末には、「もっと練習」を設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生～4年生は上下分冊 1、5、6年生は1冊 B5判 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「めあて」と「まとめ」の色を同じにしていることで対応していることを示している。 単元とびらの左上に巻末の問題へのリンクを掲載している。 板書例やノート例を掲載している。また、図のかき方も示している。 算数用語はオレンジの枠で囲み、太字で表記している。
116 日文	しょうがくさんすう 1ねん上 しょうがくさんすう 1ねん下 小学算数 2 年上 小学算数 2 年下 小学算数 3 年上 小学算数 3 年下 小学算数 4 年上 小学算数 4 年下 小学算数 5 年上 小学算数 5 年下 小学算数 6 年	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものにしている。 教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関して、無形文化遺産である和食についての問題や、和算についての問題を掲載している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「次の学習のために」や「たしかめポイント」というコーナーがあり、既習事項を確認したり、単元の終わりに学んだことを確かめられるページを設けている。 「次の学習のために」のコーナーでは、既習事項との関わりを「学年・単元名」という形で明示し、各設問番号の左上に掲載している。 「わかっているかな?」や「まちがいやすい問題」では、ポイントを明記し学習した問題にもう一度取り組む機会を設けている。 つまづきやすい内容を重点的に取り上げ、知識・技能を定着させるコーナーを単元末に設けている。見直しの進め方や正しい考え方のヒントを掲載している。 前学年や前巻までに学習したことで当該学年の内容に関わる既習事項を整理し、巻末の「これまでに学習したこと」のコーナーに掲載している。 第5学年の「正多角形」では、コンピュータで正多角形をかくプログラムを考える題材を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年上、4年上、5年上、6年の教科書巻末には「算数で使いたいことば・考え方」というページがあり、自分の考えを学習した言葉を使って発表したり、表現したりできるような例を掲載している。 「よみとろう あらわそう」では、問題を図や言葉、式での表し方を掲載している。 「算数ノートをつくらう」という巻頭のページで、筋道立てて考える力や表現力を育てるために、考えた過程や友達の考えなどを書き示したノート見本を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 習得した知識や技能を用いて身近な生活や学習に活用できるよう「ハロー！算数」(1～3年)、「Hello！Math」(4～6年)というコーナーを設けている。 数学的活動を具体的にイメージできるように写真や準備するもの、手順などを掲載している。 「活用」「算数アドベンチャー」のコーナーでは、他教科や日常生活と結びつけた総合的な算数の問題を掲載している。 各単元のはじめに、児童たちに興味や好奇心に働きかける題材を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生以上の教科書には「算数マイトライ」という補充問題があり、実態に合わせた取り組みができるような内容を掲載している。また、各単元の学習に対応する補充問題と解答を掲載している。 「算数マイトライ」は、本編と同レベルの補充問題「しっかりチェック」、応用的・発展的な問題「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」に分け掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自分で みんなで」というコーナーを設けており、その学習時間の着目点や学習の展開を掲載している。教室での学習シーンを模した紙面構成で、児童たちが考え、話し合い、答えを導き出すまでを記載している。 授業展開と同じように「どんな問題かな」「考えよう」「学びあおう」「ふり返ろう」という学び方の4つのステップに沿って掲載している。 「教科書の使い方」というコーナーでは、課題やめあて、考え方のヒント、まとめや練習問題をどのように示しているのかについて掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生～5年生までは上下分冊 6年生は1冊 B5判 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題は番号をつけて四角で囲んで表記している。 「大切なきまりやことば」はマークをつけ、色付きの枠で囲み、掲載している。 色調の違いなどで区別させる問題や場面に原則がなく、必要に応じて形を変えるなど配慮されている。 算数用語は色の網掛けに囲み、太字で表記している。

調査研究報告書 ⑥

理科

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい理科 3 新しい理科 4 新しい理科 5 新しい理科 6	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して「レベルアップ 理科の力」で自分で考えた後に対話を促しており、次ページには対話の具体例も示している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験の手順を文章と写真等で簡潔に示し、準備物をチェックする欄を掲載している。 巻末の「資料」に基礎技能をまとめているが、危険の注意書きは本文にも掲載している。 基礎的・基本的な事項の習得のため、各単元末に、学習を振り返って確かめる「たしかめよう」、巻末に「学んだことをふり返ろう！」というまとめを掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を意識させるため、「問題をつかもう」「問題」「予想しよう」「計画しよう」「観察(実験)」「結果」「考察しよう」「まとめ」「深める」の見出しを左側に配置し、ラインでつないで流れを示している。 問題解決の力を育成する場面の「レベルアップ 理科の力」では、児童がまずは自力で問題に正対するよう、結果等を裏面に記載する構成にしている。 学んだことを活用する、問題解決の力の育成状況を見取るため、理由を文章で表現する「考えよう」という設問を単元末に設定している。 児童の思考を助けるため、問題解決の過程で児童が働かせる「見方・考え方」を示した「理科のミカタ」を問題解決の場面に掲載するとともに、巻末にも、ふり返りとして「理科のミカタ」をまとめて掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が主体的に自然事象に触れ合い、そこでの気付きや疑問を出発点に学習を進めるように、簡易的な体験や、きっかけとなる写真や漫画を掲載した「レッツスタート」を単元導入の2～3ページを使って設定している。 根拠をもった予想や仮説、検証可能な方法やそのときの結果等を考え、見通しをもたせるため、観察、実験の前に「予想しよう」「計画しよう」を設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働して学んだことを振り返り、自分にとっての学びの意味を表現する場面を単元末の「たしかめよう」の「ふり返ろう」に設けている。 学習内容と自らの暮らしの関連付けが促されるように、日常生活や社会との関わりがある事例を紹介している「理科のひろば」を、単元末に掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理科や他教科の既習の内容や生活経験と関連付けて考える「学んだことを使おう」や、思考するためのヒントになる「理科のミカタ」を単元扉のほか、本文にも記載している。 「レベルアップ 理科の力」では、思考場面における児童の対話の例を具体的に示しており、児童が対話のねらいやポイントを捉え、それを、ヒントとして対話的な学びに向かえるようにしている。 「学びを活かして深めよう」では、学習内容を活かして自然現象や実社会・実生活の事象について考え、説明する場面を設け、深い学びとなるようにしている。 自己の変容を確認できるよう、単元導入時に「学ぶ前の私」、単元末に「学んだ後の私」を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年：176ページ、観察17、実験15、活動1 4年：212ページ、観察18、実験16、活動1 5年：180ページ、観察8、実験15、活動3 6年：220ページ、観察5、実験23、活動7 判型をA4判としている。 全学年、巻末に付録を設けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の自然に対する興味・関心を引き出し、問題を見いだすきっかけとなる写真、イラストを掲載している。 3年ではモンシロチョウやアゲハの成長過程がすぐに見えないように、紙面を工夫をしている。 差し込む図の大きさに合わせて、左右方向を上下にするなど、紙面の幅を考えたレイアウトにしている。 読みやすく理解しやすくする配慮として、「まとめ」は箇条書きにして簡潔に示すとともに、各項目間の行間を広く取っている。 漢字は、国語科、当該学年の配当漢字には、見開き単位で初出の際にルビを付けている。 用語は黒で少し大きなフォントサイズで下線を引いている。
4 大日本	たのしい理科3年 たのしい理科4年 たのしい理科5年 たのしい理科6年	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して巻頭に「話し合いのしかた」を掲載するとともに、話し合い活動の場面を吹き出しのある漫画で示している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験器具の使い方、栽培、飼育の方法等を、学習箇所に掲載している。さらに、複数回使用する器具は巻末の「使い方を覚えよう」に掲載している。 「わたしたちの理科室」を4～6年の巻末に入れ、「準備・実験・片付け」の3つの段階に分けて、注意事項をまとめている。 知識の定着を図るため、「問題」やそれに対する「結果」、「結論」の背景に色をつけている。 単元末には知識を確認する「確かめよう」を設定している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を繰り返す中で、問題解決の力を育成できるように、各単元を「見つけよう」、「調べよう」、「伝えよう」の3つに分けて構成している。 学年で重点を置く問題解決の力を育成する過程に★マークを付けて強調している。 単元末に「学んだことを生かそう」、巻末に「チャレンジ問題」を掲載し、児童自らが、既習を活かして思考する場を設定している。 話し合いの場面では、「理科の見方・考え方」を働かせた発言の例を掲載している。 児童が思考する場面に、吹き出し付きのキャラクターを掲載し、考え方等を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元扉に「問題を見つけよう」「問題を見つける」を見開きで設定し、問題を見いだすきっかけとなる写真やイラストを掲載している。 育てやすい植物や動物を複数掲載し、その生物を比較しながら栽培・飼育する体験活動を通して、児童の興味・関心を高め、生物を愛護しようとする態度の育成につなげようとしている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「りかのたまてばこ」で科学者等の業績や、学習した内容が身の回りでどのように活用されているのかを紹介している。 「深めよう」や単元末「学んだことを生かそう」、巻末「チャレンジ問題」に日常生活との関わりのある問題が取り上げられている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入にある見開きの写真等から問題を見いだすためのヒントとして、キャラクターが「理科の見方」につながる着目点を示している。 学習の見通しにつなげるために、「〇年で学んだこと」という欄で、既習事項を示したり、吹き出しで生活経験を基にした考え方を紹介している。 「予想」や「計画」、「考察」などの問題解決の過程で、個人で考え、根拠を基に議論するなどの場面を設け、考えを深められるようにしている。 学んだことを活かし、自ら課題を見つけ解決し、その研究成果を他者へ伝える「自由研究」を設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年：192ページ、観察12、実験15 4年：224ページ、観察23、実験17 5年：192ページ、観察4、実験12、活動4 6年：226ページ、観察2、実験19、活動9 判型をAB判としている 3年と5年の巻末に付録を設けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の自然に対する興味・関心を高めるために、単元導入時は写真やイラストを見開きで掲載している。 普段、見ることの難しい自然の姿をとらえた写真や、日常生活とのつながりを示す、身近なものの写真を内容に応じて使い分けている。 文章は、児童の発達段階を考慮して、読みやすくなるように、簡潔でわかりやすい表現、文節改行などに配慮している。 本文、吹き出し、ページ番号等にユニバーサルデザインフォントを使用している。 「問題」は緑、「予想」「計画」「実験」「結果」はオレンジ色、「考察」「結論」は青の項目になっており、問題解決の道筋に沿って色分けしている。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学図	みんなと学ぶ 小学校理科 3年 みんなと学ぶ 小学校理科 4年 みんなと学ぶ 小学校理科 5年 みんなと学ぶ 小学校理科 6年	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して巻末の「考えよう 調べよう」に考えを深めるための伝え合いの活動についてのポイントを記載するとともに、異なる意見や視点を問題解決の場面で示している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験器具の使い方は、本文中と、巻末の「考えよう調べよう」に掲載している。 巻末には、実験器具の使い方などの技能のほか、「伝える・聞く」「記録する」「調べる」など、学習に必要な技能について記載している。 観察、実験のページでは、手順を示す文と、観察、実験の視点や配慮、注意等を分けて記載している。さらに、実験器具ごとの二次元コードを利用し、操作の動画で確認できる。 単元末に「まとめてみよう」で学習したことの確認、「できるようになった」で、単元冒頭で示した資質・能力が身についたか、振り返りを促している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「科学の芽を育てよう」で問題解決の流れを示し、このような過程を繰り返して学習するように促している。 児童が、どの過程の問題解決をしているかを自覚できるように、左端にある問題解決の見出しを線でつなぐとともに、ページの下に明示している。 活動や事象を通して自ら問題を見つける場面、「問題を見つけよう」を学習のまとまりのはじめに設定している。 見方・考え方を働かせながら学習できるように、巻頭で領域ごとの見方・考え方を活動と合わせて示したり、本文中で具体的な場面で示したりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら疑問をもち、進んで主体的な学習を行えるよう、活動の様子や、自然の事物・現象の美しさを撮影した写真などの提示を導入部分に設定している。それらをもとに、問題を見つける場面において、話し合いの場を設けている。 児童が自然に親しみ、自然の事物・現象に直接触れる場や機会を設け、見る、触れる、作る、試す、探すなどの感覚に基づいた活動を促している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学んだ意義を感じられるように、学んだことを生活や他の場面に置き換えて考える「活用学びを生かそう」を設定している。 理科の有用性を実感できるように、身近な生活だけでなく、学校にある器具や仕事などとの関連付けや、学習内容と関わる暮らしや仕事の紹介等を行っている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら疑問をもち、進んで学習に向かえるように、体験活動や学習内容につながる写真の提示を導入部分に設定している。 単元の冒頭で、生活経験や既習の内容を掲載し、児童がそれらをもとに新たな内容について考えられるようしている。 予想や考えを整理して分かるように伝え合う、多様な考えをもとに学びを深め合うなどの、対話の場面を多く設けている。 単元末に「できるようになった」の項目があり、学習をふり返り、自分の変容を自覚できるようにしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年：180ページ、観察18、実験17 4年：204ページ、観察18、実験17 5年：192ページ、観察5、実験15、活動6 6年：228ページ、観察5、実験25、活動1 判型をAB判としている 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題を見いだすことにつながるように、導入の見開きのページに、比較できる写真を掲載している。 色覚の個人差に対応するため、可能な限り、色名も明記するなど、ユニバーサルデザインに配慮している。 何の領域の学習か意識させるため、見出しの色を、エネルギーはオレンジ、粒子は青、生命はピンク、地球は緑と、分けている。 「問題」「計画」「実験」など、問題解決の学習が青字でまとめられ、矢印でつないでいる。
17 教出	みらいをひらく 小学校理科 3 未来をひらく 小学校理科 4 未来をひらく 小学校理科 5 未来をひらく 小学校理科 6	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して巻頭に「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」を設け、話型等を示すとともに、考えを伝え合う場面を吹き出しのある漫画で例示している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の教科書の裏表紙に、観察、実験で注意すべき主な具体事項を「理科の安全の手引き」として掲載している。 安全への配慮について「注意マーク」とともに注意文、けがや火傷などのおそれがある箇所には「危険マーク」とともに警告文を記載している。 学習を通して習得すべき基礎的・基本的な知識については、「けつろん(わかった)」「結論」マークを付けて明確に示している。 各単元の終末には、児童が基礎的・基本的な事項の、習得の度合いを確認できる評価問題「たしかめ」を配置している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に「見つけよう」「問題」「予想しよう」「計画しよう」「観察・実験」「結果から考えよう」「結論」という問題解決の過程を「学習の進め方」として示すとともに本文中は矢印で流れをつないでいる。 児童が自然の事象に関心をもってはたらきかけ、比較を通して差異点や共通点に気づき、問題を見いだすように学習の始まりに「見つけよう」を設定している。 児童が対話的に学ぶ姿を表したイラストの中の吹き出しで、見方・考え方を働かせている様子とともに、表現の仕方の例を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が自然に対して関心や調べる意欲をもてるように、導入では、児童が実際に調べてみたくなる魅力ある事象や、2つの異なる事象を提示している。 児童の見通しにつなげるために、問題解決の流れを示した「学習の進め方」を巻頭に掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実生活・実社会と学習内容との関連を図るために、学習内容と関連のある専門家からの「メッセージ」を掲載している。 学びの価値を実感できるように、単元末の科学読み物「科学のまど」や、巻末の「広がる科学の世界」などで学習内容と関連した実生活の事象を紹介している。 獲得した知識を、別のものにあてはめて考えたり、身の回りの事象に応用して考えたりする「学びを広げよう」を設けている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに主人公を設定し、その主人公を通して主体的に問題を解決していく過程を伝えている。 巻頭にて前学年で学んだことを確認するとともに、単元のタイトルの下に「学習のつながり」があり、系統性を示している。 対話を促すために、巻頭に「大切にしたい言葉」「比べる言葉」「関係付ける言葉」「見通しをもつ言葉」など、考え方に関する言葉を掲載している。 紙面に描かれている児童の対話の様子を通して、理科の見方・考え方や問題解決の過程の例を示している。 観察、実験の結果をもとに、自分の考えを振り返る場面を設定している。 学んだことを活かして考えを広げたり深めたりすることができるよう、「結論」の後に「学びを広げよう」を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年：200ページ、観察14、実験16、活動2 4年：240ページ、観察15、実験18 5年：228ページ、観察3、実験15、活動3 6年：236ページ、観察2、実験20、活動8 判型を、A4変形判としている。 3年と4年の巻末に付録を設けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実物大や見開き表示など、大きさに工夫が見られるイラストや写真を掲載し、上から下に視線が流れるようにレイアウトを工夫している。 読みやすくするために、全ての記述を文節で改行し、本文や読み物は敬体、児童が主体的に取り組む観察、実験などは常体を採用している。 色以外の区別もできるように、背景に模様をつけるなど、ユニバーサルデザインに配慮している。 理科の用語は黄色い背景に太字で表し、目立たせている。 「問題」とそれに正対する「結論」はキャラクターとともに、ページの横幅をいっぱいを使い、枠囲みで記載している。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
26 信教	楽しい理科 3年 楽しい理科 4年 楽しい理科 5年 楽しい理科 6年	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して「話し合いましよう」と促したり、話し合いの場面を吹き出しのある漫画で例示したりしている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の実験のページに器具の使い方を掲載し、観察、実験、調査の手順や方法、的確な操作や測定のポイントなどを、手順に対応した説明の文や写真・絵図などによって示している。 学習したことの確認ができるよう、単元末に「まとめよう」のページを設定している。 地域の特徴のある自然や身近な事物・現象を活かした素材を教材として掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が見通しをもって問題解決の過程で課題を追究できるように「理科の学習の進め方」を全学年の巻頭に掲載している。 「考えてみよう」というマークを示し、互いの予想や考えを出し合って練り合う場面を設定し、次の問題につなげている。 「問題」の文末表現を「～だろうか。」という疑問形で統一している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が関心をもって足元の事物・現象を見直し、問題を見いだすことから単元の学習がスタートできるように構成している。 思考活動を支援し、見通しをもたせるヒントとして、キャラクターの吹き出しをつけている。 直接体験できない、天体の内容については、多数の写真・絵図などを活用したり、モデル実験を行うようにしたりして学習を進められるようにしている。 主体的に学習に取り組む態度を育成するために、「やってみよう自由研究」を見開き4ページ、各学年に設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活との関わりとして「しらべてみよう」のページを設けている。 学習したことをもとに、読んだり調べたりすることにより、知識、理解をさらに広げ、身近な自然の事物・現象や科学史などに興味・関心がもてるように「しりょう」のページを設けている。 学んだことを活かして体験する「やってみよう」の項目を設けている。 学習したことを生かす場面として「ものづくり」の設定があり、身近な材料を使って作成する、複数の例を紹介している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ねらいに迫る結果を得て、児童の意欲が高まるようにするために、季節の特徴や生物の生育状況等、適時期に観察、実験を行えるような配列と構成をしている。 直接体験できない、天体、火山、地震などの内容については多数の写真・絵図などを活用することや、モデル実験で体験を補っている。 単元の導入では、「思いだそう」で既習事項を確認し、これから始まる問題解決の見通しにつなげている。 「考えてみよう」では、お互いの予想や考えを出し合って練り合う場面を設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年：162ページ、観察19、実験29 4年：186ページ、観察25、実験36、活動1 5年：180ページ、観察14、実験26、活動6 6年：219ページ、観察19、実験44、活動10 判型をAB判としている 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が、自然の事物・現象に関心を持ち、問題意識を高め、見通しをもって追究し、結果を見返せるような写真・絵図・イラストなどを取り入れ、レイアウトを工夫している。 ユニバーサルデザインに配慮している。 文章は、児童の発達段階を考慮して簡潔でわかりやすい表現にし、児童が習得すべき事項は教科書体を用いて敬体で表記している。また、大切な用語は太字で強調している。
61 啓林館	わくわく理科 3 わくわく理科 4 わくわく理科 5 わくわく理科 6	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して「問題をつかもう」や「予想・計画」を立てる場面で話し合う活動を設定するとともに、巻末には「話し合いのしかた」を掲載している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験の手順を、細かなステップに分けて示している。また、操作をイメージできる写真やイラストを説明のそばに掲載している。 「器具の使い方」は単元内と巻末にあり、単元内の二次元コードを利用し、実験器具の操作を動画で確認できるようにしている。 「調べる」「表す」「算数のまど」など、「器具の使い方」以外に、理科の技能をまとめた「フムロウ博士の資料室」を巻末に掲載している。 単元末に、知識・技能の確認ができる「たしかめよう」や、学習したことを簡潔にまとめ、学習の振り返りができる「まとめノート」を設けている。 単元末の「新しく学習した言葉」に用語のチェック欄を設け、確認できるようにしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を意識させるため、「問題をつかもう」「問題」「予想と計画」「実験」「結果」「まとめ」をフラッグで示し、ラインでつないで流れを示している。 問いかけや児童の発言の吹き出しで、理科の見方・考え方を例示している。 次学年につなげたい理科の見方を振り返るため、「〇年の理科をふり返ろう」を巻末に設けている。 理科の考え方の例として、各学年に「理科の考え方ははたらかせよう」を設置し、科学者のメッセージや考え方を紹介している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然の不思議さや神秘さに触れる写真や、自然に触れている時の思いが表れた児童の写真に掲載している。 見開きページの単元導入で、学習のめあてを示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元末の「つなげよう」や単元内の「理科の広場」では、日常生活との関連を具体的に示し、学習したことが生活のどんなところで活用されているのかを紹介している。 理科の学習と職業のつながりを意識させるため、「つなげよう」の中で、働く人のメッセージを紹介している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元導入に「考えてみよう」「思い出そう」を設定し、生活経験や既習事項を想起させ、主体的な問題解決につなげている。 「問題をつかもう」の場面の話し合いから「問題」を見つけられるようにしている。 巻末の「話し合いのしかた」で、話すときと聞くときの要点を例示し、対話を支援している。 同一の問いである単元初めの「はじめに考えよう」と単元末の「もう一度考えてみよう」により、自己の変容を自覚できるようにしている。 新たな問題を見いだすことができるように「もっと知りたい」の項目を設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年：179ページ、観察15、実験14、活動2 4年：203ページ、観察16、実験18、活動7 5年：195ページ、観察5、実験18、活動6 6年：219ページ、観察3、実験23、活動10 判型をAB判としている 4年以外は巻末にトジ込みの付録を設けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然のすばらしさを伝える写真や、自然や科学のイラストを掲載している。 地域によって自然観察が難しい内容については、代替できる資料や写真を掲載している。 右ページに問題や実験方法、次ページの左ページに結果や考察とページを分け、実験中に結果が見えないようにしている。 問題解決の過程の項目、「問題をつかもう」「予想と計画」「実験」「結果」は青線の四角、「学習問題」「まとめ」はオレンジ線の四角で囲んでいる。 用語は太字で示し、上位学年の担当漢字も適宜使用している。

調査研究報告書 ⑥

生活

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	どきどき わくわく あたらしい せい かつ 上 あしたへ ジャン プ 新しい 生活 下	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、身近な人・もの・ことと繰り返し関わり、それを基に見付ける、比べる、例える等の学習活動を位置付けている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末の「かつどうべんりてちょう」で、学習活動に即した習慣や技能を身に付けられる資料を掲載している。 キャラクターの吹き出しで、別ページの図鑑との関連を図っている。 活動で気を付けることを考えるよう促すキャラクターの吹き出しを掲載している。 紙面右端に、安全に学習するための「やくそく」を掲載している。 国語科や算数科、音楽科、図画工作科、体育科、道徳科と関連する内容を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が感じたことや考えたことを表しているカードやワークシートを掲載している。 観察カードの書き方や伝え方、表し方を示したイラストを掲載している。 感じたことや考えたことを黒板や掲示物、情報機器を使って発表する場面の例を掲載している。 例えや擬音語を使った表現を吹き出しで掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児教育で行ったことを想起している児童の吹き出しを掲載している。 「？」マークを使って、これからの活動を考える言葉を掲載している。 児童同士で質問をし、答えている様子をイラストと吹き出しで掲載している。 単元の終末に、これから行ってみたい活動を考えている場面を吹き出しで掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学ぶ意欲を育むことに考慮し、児童が試行錯誤しながら、様々なことができるようになっていく様子をイラストや写真で掲載している。 多様性を考慮し、外国人の児童や、車椅子の児童と一緒に活動しているイラストを掲載している。 地域に住む乳幼児、祖父母や高齢者と活動しているイラストや写真を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の思いや願いからはじまり、友達と関わりながら課題を解決していく構成にしている。 めぐりながら植物の成長順序をとらえられる変型判ページを掲載している。 上巻巻末に、切り離して屋外の活動に携行できる実物大の図鑑を掲載している。 「保護者の皆さまへ」として、二次元コードやURLコードからアクセスすると資料を見られる構成にしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上巻は9単元を掲載している。 下巻は9単元を掲載している。 大きさはA4判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用している。 紙面全体の色合いに配慮したり、見せたい部分が浮き立つデザインにしたりしている。 小單元名や発問に係る文章を原則としてページの同じ位置に配置している。 漢字にルビを付けている。
4 大日本	たのしい せい かつ 上 なかよし たのしい せい かつ 下 はっけん	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、上巻は「なかよし」、下巻は「はっけん」というコンセプトで統一し、季節に合わせた身近な人・もの・こととの関わりを学習活動に位置付けている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末の「がくしゅうどうぐばこ」で様々な学習活動との関連を図っている。 キャラクターが活動で気を付けることを考えるよう促す吹き出しを掲載している。 紙面右端に安全に学習するための「やくそく」を掲載している。 紙面右側に「せいかつことば」「きらきらことば」として、学習内容に関連する言葉を掲載している。 国語科、算数科、音楽科、体育科、図画工作科、道徳科の内容との関連を図っている。 季節ごとの遊びや行事をイラストや写真で掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が思ったり考えたりしたことを表しているカードやワークシートを掲載している。 感じたり考えたりしたことを黒板や掲示物、情報機器を使って発表しているイラストを掲載している。 例えや擬音語を使った表現を吹き出しで掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のはじめに見開きで大きな写真を掲載している。 幼児教育で学習したことを児童が想起している吹き出しを掲載している。 児童同士で質問をし、答えている様子をイラストと吹き出しで掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習を通して自分でできるようになった様子をイラストや写真で掲載している。 多様性を考慮し、外国人の児童と一緒に活動している場面をイラストで掲載している。 共生社会の形成を考慮し、祖父母や高齢者と活動している場面をイラストや写真で掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元を通して、友達や様々な人と関わりながら学習を深めていく構成にしている。 その時々季節に適する学習活動で構成している。 巻末には、見つけた動植物の名前を調べたり、インタビューの仕方を学んだりする資料である「がくしゅうどうぐばこ」を掲載している。 ホームページで動画を見られるところにパソコンマークを付けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上巻は4単元を掲載している。 下巻は5単元を掲載している。 大きさはAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用している。 カラーユニバーサルデザインをふまえた配色にしている。 感触を楽しめるよう、表紙のイラストの一部を盛り上げる工夫をしている。 探検カメラや探検ライトを作れるページを掲載している。 初めて出てくる漢字にはルビを付けている。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、「探検」「遊び」「飼育」「栽培」「家族・成長」の大きく5つの活動領域に整理し、学習活動を位置付けている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶や身の回りの整頓や片付け、担任への相談、規則正しい生活等を掲載している。 五感を働かせて観察する学習活動を掲載している。 巻末に、観察の方法、道具の使い方、まとめ方、インタビューの方法等を「学び方図かん」で掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な学習活動において、児童が考え、相談し、工夫している様子を掲載している。 児童が自ら活動や体験、遊び等の活動を想起し、自分の成長を振り返っている様子をイラストや写真で掲載している。 人やもの、場所に関する児童の気づきを、掲示物や付箋で整理しているイラストを掲載している。 観察の場面では、色、形、大きさに着目し、比較することを想起させる言葉を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ページの見出しには、学習するにあたり児童自身が考えている言葉を掲載している。 児童が笑顔で活動したり、興味深い表情でのぞき込んだりしている様子を写真で掲載している。 自分で決めたり、課題を見付け、解決したりして活動をよりよくしようとする様子を掲載している。 3年生になってやってみたいことを記入する欄を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分自身の成長に気づき、たくさんの人に支えられている様子をイラストや写真で掲載している。 家族や友達のことを考え、地域の人と関わっているイラストや写真を掲載している。 家族については、その構成が多様であることが分かるイラストや写真を掲載している。 多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童と一緒に教室や屋外で活動している様子を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童同士で話し合ったり、質問し合ったりする場面や振り返りをしている様子を掲載している。 単元の終わりには「これからも・・・」「もっと〇〇しよう」と学習したことを日常生活に生かすことを掲載している。 「やくそく」のコーナーで安全やルール、マナーを掲載している。 「ものしりノート」で遊び方や動植物の育て方を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上巻は6単元を掲載している。 下巻は6単元を掲載している。 大きさはA4変形判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達段階に合わせて、ひらがなや漢字で表記したり、漢字にルビを付けたりしている。 単元名や見出しには教科書体を使用している。 文字の大きさや文字の数は低学年の実態に配慮して掲載している。 カラー写真やカラーイラストを使用し、単元のはじめは見開きで写真を掲載している。 写真は児童の目線の高さで撮影されたものを掲載している。
17 教出	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろが れ	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、育みたい資質・能力を明確にした上で身近な人・ものことについて五感を働かせ、多様な方法で関わる学習活動を位置付けている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶や手洗い、清掃や整頓等、低学年の児童に必要な基本的な学校生活のきまりを掲載している。 国語科、算数科、音楽科、図画工作科、体育科、道徳、特別活動との内容との関連を図り、社会科や理科へのつながりを掲載している。 巻末の「学びのポケット」で観察、記録、まとめ方や伝え方、飼育、道具の使い方、安全、公共交通機関の利用等についてポイントを掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いや計画の場面では学び方やより深く学ぼうと思ふことを促すための言葉や写真、イラストを掲載している。 板書例では図、付箋等をつかって気づきや情報を整理している様子を掲載している。 気づきの記録や表現活動では動作化、発表会、ワークショップ等の工夫を掲載している。 動植物の色、形、大きさや季節の変化等、比較するためのイラストや写真を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活や学習について「？」マークを付けた見出しで意欲を喚起するような工夫を掲載している。 「何があったか」「どのような様子だったか」等、児童の意欲を高める言葉が掲載されている。 興味深い表情や笑顔で活動する児童の様子をイラストや写真で掲載している。 自分たちの成長の実感や、3年生への期待を言葉や文章で掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分自身の成長を実感している言葉を写真とともに掲載している。 多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童と一緒に活動しているイラストや写真を掲載している。 点字ブロックや音響信号、だれでもトイレ、スロープ、優先席の写真を掲載している。 家族構成や家族の役割については多様であることを掲載している。 下巻の「まちが大すきたんけんたい」では、川崎市麻生区での町探検の様子を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> どの単元でも「気付く」「自分でできる」「考える」「伝える」「挑戦する」「自信を持つ」という生活科の教科目標を踏まえたねらいで構成している。 学習活動ごとに「〇〇しよう」という小見出しを付け、「〇〇かな」「〇〇したいな」という副題を付けている。 単元の終末「なにをかんじたかな」のページでは、学習を振り返り、次にやってみたいことを書き込む欄を掲載している。 単元の最終ページには「〇〇図鑑」や「もしも」のコーナーを設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上巻は9単元を掲載している。 下巻は7単元を掲載している。 大きさはAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達段階に合わせてひらがなや漢字で表記したり、漢字にルビを付けたりして掲載している。 ユニバーサルフォントで記載している。 文字数や文章量に配慮して掲載している。 カラー写真やカラーイラストを使用し、単元のはじめは見開きで写真を掲載している。 写真は児童の目線の高さで撮影されたものを掲載している。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
26 信教	せいかつ 上 あおぞら 下 せいかつ そよかぜ	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、地域性を重視し、長期に渡る継続的な直接体験を学習活動に位置付けている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶や整理整頓等、小学校生活に必要な技能を示すイラストや写真を掲載している。 植物の単元では、栽培の手順を土づくりから示すイラストを掲載している。 端午の節句や七夕、お月見等、季節の行事についてのイラストや写真を掲載している。 国語科、算数科、音楽科、図画工作科、体育科、道徳、特別活動と関連する内容を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定点観測で比較ができるように、町の様子イラストを季節ごとに掲載している。 丁寧に観察ができるように、大きいイラストや写真を掲載している。 飼育栽培やものづくりの単元では、問題解決を促すイラストや吹き出しを掲載している。 季節の行事では、発達段階に応じた表現活動の例を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のはじめのページには、児童の興味を喚起するような人・もの・ことに係る大きなイラストや写真を掲載している。 児童の実生活に即した、活動的でつながりのある学習活動を掲載している。 生き物単元では、ヤギの飼育を2年間に渡って行う学習活動を掲載している。 児童が協力して問題解決をしている様子を示すイラストや写真を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの成長を実感しているような言葉を写真と共に掲載している。 クラスみんなで学習をしている様子を示すイラストや写真を掲載している。 多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童のイラストを掲載している。 家族や地域の人たちと笑顔で関わる様子を示すイラストや写真を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ヤギを2年間に渡って飼育したり、大豆を栽培してきな粉や豆腐を作ったりする等、問題解決的な学習活動を掲載している。 児童の学校生活や季節の行事を一年間の流れの中に位置付け、時系列で掲載している。 二次元コードを掲載し、読み取ると様々な生き物の情報を見ることができるようにしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上巻は17単元を掲載している。 下巻は13単元を掲載している。 大きさはAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦書きで表記している。 巻頭に各単元で用いている表示・マーク、主人公やその友達の挿絵等を掲載している。 初めて出てくる漢字にはルビを付けている。 カラーユニバーサルデザインに配慮した工夫をしている。
38 光村	せいかつ 上 まいにち あた らしい 下 せいかつ だいすき みつ けた	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、児童の関心から身近な人・もの・ことと関わり、試行錯誤を通してできるようになったことを伝え合う学習活動を位置付けている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集団で活動する際の約束や、もっと楽しくするための方法について知るために「どうすれば○○かな」というコーナーを掲載している。 巻末には「ひろがるせいかつじてん」として、安全上の約束や観察方法の視点を掲載している。 「きせつのおくりもの」では、それぞれの季節の動植物(上巻)や町の様子(下巻)が図鑑的にイラストや写真で掲載されている。 国語科、算数科、音楽科、図画工作科、体育科、道徳、特別活動と関連する内容を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「どうすれば」のコーナーでは、考える視点を示し、最後に「ほかにもどんなことがあるかな」と児童の考えを促す欄を掲載している。 体験を通して気付いたことを話し合っているイラストや、感じたことを表現しているワークシートの例を掲載している。 自分たちの活動を伝える場面では、新聞やポスター、すごろく、巻物等、様々な表現活動の例を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの単元を「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」で構成し、児童が主体的に学んでいく学習活動例を掲載している。 単元の終末には自分の成長を実感し、これからの生活につなげていけるように振り返るページを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> クラスの友達のよさをお互いに交流することを通して、自分の素晴らしさやできるようになったことに気付いていく学習活動を掲載している。 多様性を考慮し、地域の様子を扱った場面では、車椅子の方やお年寄り等、様々な人が生活していることが分かるイラストを掲載している。 町探検の単元では、車椅子の児童や外国の児童と一緒に活動しているイラストを掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の関心を高められるように、一人一人が物を作ったり、生き物と触れ合ったりしている様子を大きな写真で掲載している。 友達と関わり合って問題解決を行っているイラストや写真を掲載している。 単元の終末で自分ができるようになったことをシールに書いて貼ることができる構成にしている。 二次元コードを読み込むと、季節や交通安全の資料、道具の使い方の写真・動画を見られるようにしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上巻は9単元を掲載している。 下巻は7単元を掲載している。 大きさはAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストや写真を複数掲載している。 低学年の発達段階を踏まえ、文字の書体や大きさに配慮して掲載している。 初めて出てくる漢字にはルビを付けている。 カラーユニバーサルデザインに配慮した工夫をしている。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	わくわく せい かつ上 せい いきいき せい かつ下	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、身近な人・もの・ことに係る直接体験を重視し、多様な学習活動を例示することで児童の学びにつながるように学習活動を位置付けている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末の「がくしゅうずかん」で、学習活動に即した習慣や技能を身に付けられる資料を掲載している。 生き物の育て方やおもちゃの作り方、ルール(留意点)等を示すイラストを掲載している。 交通安全等、「安心・安全」に係るイラストを掲載している。 国語科、算数科、音楽科、図画工作科、体育科、道徳と関連する内容を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習活動に見通しをもてるよう、問題解決の一連のイラストを掲載している。 イメージを広げる手法(イメージマップ)や物事を多面的に捉える手法(Yチャート)等、思考ツールの例を掲載している。 気付きを促すイラストや吹き出しを掲載し、気付いたことを表現している児童のワークシートの例を掲載している。 学習活動を伝え合う場面では、様々な表現方法の例を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の意欲を高めるよう、笑顔で活動しているイラストや写真を掲載している。 右ページの端には次の活動がイメージできるような言葉を掲載している。 下巻巻末には「3年生へのステップブック」として、生活科でのこれまでの学びを振り返り、3年生での学びにつなげる内容を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「できるかな できたかな?」のコーナーでは、単元でできるようになったことを自己評価をする視点を掲載している。 多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童等、多様な児童をイラストで掲載している。 クラスの友達と共に活動する様子をイラストや写真を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの単元は、わくわく(児童の意欲を喚起し、思いや願いを高める)→いきいき(直接体験を大切に、主体的・対話的で深い学びを実現)→ぐんぐん(伝え合いや交流し、ふりかえり表現する場面の充実)という流れで構成している。 活動の中で生まれた気付きや思い、願いが次の活動につながるように、物語性のある単元構成にしている。 単元の最後に、児童が自立し、生活を豊かにしようとする姿勢を示すイラストや写真を掲載している。 二次元コードを読み込むと関連情報を見ることができるようになっている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上巻は10単元を掲載している。 下巻は8単元を掲載している。 大きさはAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3種類のキャラクターが登場し、吹き出しの中に学習のヒントを掲載している。 文字による情報を抑え、イラストや写真を複数使用している。 漢字にはルビを付けている。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。
116 日文	わたしと せい つ上 せい みんな なかよ し わたしと せい つ下 せい ふれあい だい すき	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、児童の思いや願いから身近な人・もの・ことに直接かわり、振り返ってつなげるといった学習活動を位置付けている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末には「ちえとわざのたからばこ」として、多様な学習の仕方、交通安全、生活上必要な技能等を掲載している。1、2年生それぞれの発達段階を踏まえ、上下巻で異なる内容を掲載している。 栽培単元では、ページを山折りにすることで、種から実までの成長過程が一覧できるようなしかけを掲載している。 安全に学習するために注意することを右ページの右上に掲載している。 国語科、算数科、音楽科、図画工作科、道徳と関連する内容を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気付いたことや思ったこと、次の学習への高まりを絵や文章で表現しているワークシートの例を掲載している。 様子を表す表現として、擬音語や例えを用いて表現している例を掲載している。 授業の板書として、ウェビング法やYチャート等、様々な思考ツールを用いているイラストを掲載している。 巻末の「ちえとわざのたからばこ」で、学習のまとめ方や発表の仕方の例を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭では、活動への期待が膨らむように、児童が学習材に関わっている写真を掲載している。 ページの左上には「〇〇したいな。」「どうすればいいのかな。」等、学習に向かう児童の言葉を掲載している。 「まなびのまど」というコーナーを設け、学習活動を振り返り、次につなげることを促すイラストを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の学年に進むことに対する意欲を高めるよう、自分ができるようになったことを確かめる内容を掲載している。 学習活動においては、グループの中で自分の考えや思いを伝え合うイラストや写真を掲載している。 多様性を考慮し、教室には、車椅子の児童や外国人の児童が生活し学んでいる様子をイラストで掲載している。 地域の人や学校で働く人、友達と関わっている様子をイラストや写真を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一つの単元は、基本的に「課題設定」「活動」「振り返り」という構成にしている。 左ページの下には、その時間の学習のねらいを示す言葉を掲載している。 身近な人と気付いたことや考えたことを多様な方法で伝え合ったり、振り返ったりする構成にしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上巻は9単元を掲載している。 下巻は8単元を掲載している。 大きさはAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きなイラストや写真を複数掲載している。 漢字にはルビを付けている。 カラーユニバーサルデザインに配慮した工夫をしている。 下巻の最終ページには実際の点字を掲載している。

調査研究報告書 ⑥

音楽

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	小学音楽 おんがくのおくりもの1 小学音楽 音楽のおくりもの2 小学音楽 音楽のおくりもの3 小学音楽 音楽のおくりもの4 小学音楽 音楽のおくりもの5 小学音楽 音楽のおくりもの6	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「にっぽんのうた みんなのうた」「郷土の音楽」「唱歌」を掲載し、我が国の伝統と文化を尊重する態度を育てる工夫を行っている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔共通事項〕に示されている音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」と示し、中・高学年ではメモ欄を設定し、児童が気付いた要素等を書き足すコーナーを設けている。 鍵盤ハーモニカとリコーダーの写真や絵を掲載し、技能の定着を図るための「めざせ楽器名人」のコーナーを設けている。 和楽器の旋律楽器の取り扱いとして、4年で箏の学習、5年で篠笛の学習を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の中で思考する道筋や表現の工夫のヒントとなるよう、学びのプロセスを表す「まなびナビ」や「学び合う音楽」を掲載している。 音や音楽から気付いたことや感じ取ったことを、ポートフォリオに書き留めるコーナーを設けている。 リズムや音の動きを表す図形楽譜や、体を動かす活動を取り入れた学習活動を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 題材ごとに、学習のねらいと学び方を知るための「まなびナビ」が示されている。 歌唱共通教材は、題材の中で扱っている他、「にっぽんのうた みんなのうた」「きせつのうた」として掲載している。 我が国の伝統芸能や民謡などは、実際に歌ったり楽器のリズムなどを言葉で唱えたりする活動を掲載している。 諸外国に伝わる子どもの歌や民謡、音楽などを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> わらべうたや各地のお祭りの音楽やお囃子、民謡等を掲載している。 「音のスケッチ」では、友だちとの関わりの中で学習を進める活動を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャラクターによる「前の学習を思いだそう」のマークを掲載している。 教材や活動に関連する「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として示している。 学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができるように、目次に二次元コードを掲載し、該当のページには、「まなびリンク」のマークを示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型は、低学年はAB判、中・高学年はAB判＋天地20mmのサイズである。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次と各題材の冒頭に、題材名、学習の見通しを掲載し、見開きごとに学習のめあてを掲載している。 カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントを取り入れている。 写真に重ねると説明が読める「透明シート」を付けている。 歌唱共通教材は、縦書きの歌詞を別記し、難しい語句には解説を加えている。
27 教芸	小学生のおんがく1 小学生の音楽2 小学生の音楽3 小学生の音楽4 小学生の音楽5 小学生の音楽6	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「地域に伝わる民謡」「郷土芸能」「こころのうた」「歌いっごう日本の歌」を掲載し、我が国の文化や世代を超えて歌い継がれる日本の音楽文化を大切にすることを育てる工夫を行っている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔共通事項〕に示されている音楽を形づくっている要素を中心に、「題材のねらい」「学習目標」を示し、さらに中心となる〔共通事項〕をページ下に記載している。 鍵盤ハーモニカの写真やリコーダーの絵を掲載し、技能をサポートするコラムのコーナーを設けている。 和楽器の旋律楽器の取り扱いとして、4年で箏の学習を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャラクターを活用して、児童の思考を促すヒントや考えるきっかけを示し、その視点で学習を進めるコーナーを設けている。 音や音楽から「感じたこと」「気付いたこと」を記入するコーナーを設けている。 「ドレミ風船」の挿し絵を示し、音の高低の違いを手の動きによって感じ取るなど、体を動かす活動の手立てを掲載している。 子どもたちが試行錯誤を繰り返しながら進める音楽づくりの教材を各学年に掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年間の学習について見通しをもつための「学びの地図」や「ふり返りのページ」を設けている。 歌唱共通教材は「こころのうた」として題材の中に位置付け、説明文や写真を掲載している。 童謡や唱歌、郷土のお囃子や民謡、芸能など、我が国の文化や生活の中にある様々な音や音楽に関するコラムや、楽器のリズムなどを言葉で唱える活動や歌い方をまねする体験活動を掲載している。 諸外国に伝わる音楽として、「いろいろな国のおどりの音楽」「世界の国々の音楽」を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の裏表紙には、「わたしたちが受け継ぐおどりの音楽」、「わたしたちが受け継ぐ郷土芸能」として、子どもたちが参加している郷土の芸能や音楽の写真を掲載している。 「音楽づくり」の学習では、友だちと対話したり協働したりして学習を進める活動を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 以前に学習したことを確かめられるよう、「おもいだそう」のマークを掲載している。 〔共通事項〕をもとに、キャラクターを活用して、児童の思考を促すヒントやその視点で学習を進めるコーナーを設けている。 二次元コードを設置し、学習をサポートするコンテンツをICT機器で閲覧できる手立てをとっている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型はAB判変形判である。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 題材名を「～しよう」という文型で設定し、見開き左側に題材ごとに色分けして縦書きで掲載している。 「すべての子供たちの色覚特性に適応することを目指してデザインしています」と記載している。 写真と重なる楽譜では、読みやすさを確保するために、背景を白くしている。 「こころのうた」として示す歌唱共通教材は、縦書きの歌詞を別記し、難しい語句には解説を加えている。

調査研究報告書 ⑥

図画工作

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
9 開隆堂	ずがこうさく 1・2上 わくわくするね ずがこうさく 1・2下 みつけたよ 図画工作3・4 上 できたらいいな 図画工作3・4 下 力を合わせて 図画工作5・6 上 心をひらいて 図画工作5・6 下 つながる思い	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち「言語活動の充実」に関して、コミュニケーションや言語活動を重視した題材を設定している。また、題材の最後には「ふりかえり」を設定し、友だちや先生と話しながらかommunication能力を高めていけるように配慮している。	【知識・技能】 ・知識や技能に関する内容を各学年の巻末に「造形の引き出し」としてまとめ、掲載している。 ・用具の使い方などの動画を見ることができる二次元コードを掲載している。 ・活動の手順や、どのように表しているのかが分かる写真を掲載している。 ・用具の使い方を知るだけでなく、実際に手を動かしてつくることを促す「ためしてみよう」のコーナーを掲載している。 【思考・判断・表現】 ・完成作品だけでなく、発想・構想の能力が働いている場面の写真を掲載している。 ・各学年4ページを使った鑑賞題材を掲載している。 ・3・4下には「発想を広げよう」といった発想の広げ方についてのページを掲載している。 ・3・4下には「話し合いのしかた」のページを設け、話し合い活動のポイントを示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・楽しく活動している児童の様子を大きめの写真で掲載している。 ・各学年の「ひらめきコーナー」では、身近な材料で短時間で取り組むことができる活動の写真や作り方を掲載している。 ・各学年の教科書の書名をテーマとして設定し、児童の意欲を喚起する導入のページを設けている。 ・各教科等との関連を図りながら学習を進めることができるページには、「あわせて学ぼう」のマークとともに教科名を示している。 【かわさき教育プラン】 ・全学年で諸外国の児童の作品を紹介する「外国の友だちの絵」コーナーを掲載している。 ・「みんなのギャラリー」では、全国各地の伝統文化やアートイベントなどを発達段階に応じて紹介している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各題材ごとに、「学習のめあて」を三つの資質・能力で示し、主に大切なめあてに下線を引いている。 ・学習の三つのめあてに対応したキャラクターが、それぞれの資質・能力の視点からコメントを伝えている。 【分量・装丁】 ・原則として見開き2ページで構成している。題材によっては1ページや4ページで構成している。 ・表紙のタイトルのレタリングをそれぞれの学年で扱う材料で作成し、示している。	【読みやすさの工夫】 ・題材の領域を形と色別で示しており、使用する用具や材料を、ページ左上に示している。 ・各学年までの既習漢字以外は、漢字で示してルビをふって表記している。 ・2ページをまたぐ写真など、大きめの写真を掲載している。
116 日文	ずがこうさく 1・2上 たのしいな おもしろいな ずがこうさく 1・2下 たのしいな おもしろいな 図画工作3・4 上 ためしたよ つけたよ 図画工作3・4 下 ためしたよ つけたよ 図画工作5・6 上 見つめて 広げて 図画工作5・6 下 見つめて 広げて	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち「言語活動の充実」に関して、作品を作った児童のコメントや児童のワークシートを掲載し、形や色、言葉で思いを伝え合う活動を促している。	【知識・技能】 ・材料や用具の取扱いについて「使ってみよう材料と用具」のページを各学年、巻末にまとめ、掲載している。 ・デジタルマークを付けた題材には、ウェブサイト内に活用できるコンテンツを設定している。 ・各題材のページに造形的な見方・考え方を働かせることを促すキャラクターを設定し、造形的な視点からヒントを伝えている。 ・造形的な見方・考え方を働かせるきっかけのページとして、各学年に「ひらめきポケット」を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・中高学年では、児童の言葉で書かれたコメントを掲載している。 ・制作過程のワークシートなどを掲載している。 ・題材について対話をしている様子を写真で示したり、話している言葉を吹き出しで示したりしている。 ・一人の児童の活動を追った写真を掲載し、どのように考え、試し、つくりあげていったかの例を示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「図画工作のつながりひろがり」のページでは、様々な地域での活動を掲載している。 ・工作でつくった作品が生活に生かされている様子や、作品で遊んでいる様子の写真を掲載している。 ・活動の終わりに、題材での学びを振り返り、次の学びへ生かそうとする視点を示している。 ・道徳との関連がある題材は、ページ番号の上にマークで示している。 【かわさき教育プラン】 ・全学年で諸外国の児童の作品を紹介する「外国の友だちの絵」コーナーを掲載している。 ・「図画工作のつながりひろがり」では、地域文化の紹介や社会の中の造形の働きについての視点を発達段階に応じて紹介している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各題材ごとに、「学習のめあて」を三つの資質・能力で示し、マークとともに示している。 ・作品のタイトルやコメントから、発揮している資質・能力が分かる構成にしている。 【分量・装丁】 ・題材については、全て見開き2ページで構成している。 ・活動内容をイメージできるように、題材名のレタリングを形や色などで工夫して表している。	【読みやすさの工夫】 ・題材の領域を形と色別で示しており、使用する用具や材料を、ページ左下に示している。 ・各学年までの既習漢字以外は、原則ひらがなで表記している。 ・様々の大きさの写真を配置し、掲載している。

調査研究報告書 ⑥

家庭

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい家庭 5・6	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、「活動 やってみよう」「活動 ふかめよう」などで実習例、作品例を示している。また、生活の課題と実践について「生活を変えるチャンス」として家庭生活と関連した実践例、課題例を示している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族や家庭生活に着目するよう、2年間の学習の初めの題材で1日の生活を図で掲載している。 調理実習では、調理、試食のポイントを示している。 快適に過ごすための工夫や調べる活動例、布の性質を比べる方法例を複数例示している。 布を用いた物の製作では、「私の工夫」として工夫の例を示している。 実習で行った内容を確認できるよう「できたかな？」を設定している。 買い物の学習を生かした材料の準備の仕方を示している。 繰り返し学習ができるよう、関連するページを示している。 調理や裁縫などの動画を確認できるページにDマークを示し、巻頭の二次元コードから視聴できるように示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ステップ1で課題発見、ステップ2で課題解決・実践活動、ステップ3で評価・改善、そして家庭実践へとつなげるという流れを示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭科室だけでなく家庭ではどうなっているかに気付くことができるよう、家庭科室探検では「家庭の様子」のイラストを取り入れている。 家庭でも実践できるようガスコンロの取り扱いだけでなく、IHクッキングヒーターの取り扱いも取り上げている。 「生活を変えるためのチャンス！」では、習ったことを家庭で実践するための進め方を示し、家庭生活にいかしていける展開例を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容と仕事のつながりを考えられるよう「プロに聞く」を掲載している。 地域について調べる方法、実践例を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次で4年生までの学習をイラストで示し、家庭科とのつながりを確認できるようにしている。 2年間の題材と家庭科の学習の進め方を示している。 問題解決的な思考ができるようにすべての大題材を3ステップの構成にしている。 ステップ3の「活動 深めよう」では、大題材の学びを総合的に活用し取り組めるようにしている。 5年生のまとめや2年間の学習のまとめを設定し、学習のふり返りをして次へつなげる構成にしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習や作業の流れを見開きで示し、横流れで確認できるようにしている。 実習に関する用具の扱い方を確認できるように、実寸大の写真を掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表紙でガイダンスができるようイラストの工夫をしている。 写真やイラストが複数例使われており、各題材に掲載している。 調理実習での野菜の切り方を実寸大の写真で示している。 系統性が明確に可視化できるように大題材のテーマごとに色分けしている。 他教科との関連を意識できるよう関連するページに教科・学年・単元内容を掲載している。 中学校へのつながりがわかるような記載がある。 児童のイラストの吹き出しに理解しやすい言葉で学習の要点をまとめている。
9 開隆堂	小学校 わたしたちの家庭科 5・6	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、「しらべよう」「やってみよう」で実験例、実践例等を示している。また、生活の課題と実践について「レッツトライ」「家庭で実践しよう チャレンジコーナー」で実践例を示している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族や家庭の仕事に着目するよう、2年間の学習のはじめの題材で1日の生活をイラストで示している。 調理の手順を写真や言葉で示している。 5年生最初の調理実習では、調理手順を細分化して示している。 調理や製作などの実習手順図は、児童の視線の流れを考慮して見開きページを使って横に流れる記述で示している。 手縫いについての基礎的・基本的な知識や技能に関する内容を写真とイラスト、言葉で示している。 細部について拡大写真やイラストを添えている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活を見つめることから問題を見出し課題を設定し、主体的にさまざまな解決方法を考えて実践し、実践を評価・改善して考えを発表するなどの対話的・深い学びを通して課題解決をするつくりになっている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 題材を通して見通しをもち、生活の中から課題を見つけられるような本文の記述や課題を示している。 「チャレンジコーナー」「生活の課題と実践」で学んだことを家庭実践につなげる製作例や調理例を示している。 家庭ではどのような加熱用調理器具を使っているのか、ガスコンロとIHクッキングヒーターを取り上げて調べる課題を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域でできることを考え、活動する例を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に学習の進め方を示している。 自分自身の「生活」を見つめる、わかる・できるようになる、身に付けた知識・技能を自らの「生活」に生かし、深めるという学習過程を3ステップで進めるように示している。 児童同士で対話をしたり意見を交換したりする学習活動を複数例示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年間の題材内容が段階的に学習できるように配列している。 児童がより主体的に学習に取り組めるよう各題材に二次元コードを記載し、資料提示している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年ごとに色を統一して示している。 題材のタイトルの大きさをそろえ、イラスト、写真の配置を工夫している。 題材の導入では、「なぜぬうのだろう」「なぜそうじをするのだろう」などのタイトルを示し、児童がその題材の学習に興味・関心をもって取り組めるようなイラストや写真を掲載している。 活動の手順を見開きで広げて示し、活用できる工夫をしている。 重要な語句を太字で表記している。

調査研究報告書 ⑥

保健

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しいほけん 3・4 新しい保健 5・6	<p>・学習指導要領に示されている目標内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「調べる・解決する」では、健康やけが、病気について考えたことを伝えたり、話し合ったりするなどの活動を促している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各時間の学習課題を明確に示している。 ・3年生の「体の生活とけんこう」では、水でぬらした脱脂綿を使って手を拭く実験を具体的に掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を見付けやすいように、「気付く・見つける」の学習活動を示している。 ・子ども自身に問いかけ考えられるように、「深める・伝える」の学習で、「あなただったらどうしますか」などの問いを示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「飲酒の害と健康」では、身近な人から誘われた際の断わり方を意見交流する学習活動があり、友達と関わりながら対話的な学びを促す学習を設定している。 ・5年生の「けがの防止」では、子どもが危険を認識しやすいように、危険な場面を絵で示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって健やかに生き抜く力を育むことと関連して、「けがの防止」では、自分の生活と関連付けられるような場面を掲載している。 ・実生活に生かすことができるように、「実験」では、室内の空気の入替えについて具体的な写真を掲載している。 <p>【今日的な課題の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生の「よりよく成長するための生活」では、「すいみんと発育」の資料にパソコンやゲーム機の画面を見続けることがより良い睡眠の妨げになるということを掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもちながら、対話的な学びを取り入れられるように、「調べる・解決する」のページでは、場面絵を見て「なぜそうなったのか」の理由を考える構成にしている。 ・「気付く・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という、学習活動の構成になっている。 ・3年生の「けんこうによい一日の生活」が家庭科の「食事の役わり」に関連しているということなど、他の学年や教科との関連を示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の学習を、2～6ページで示している。 ・3年生の「けんこうによい一日の生活」では、元気のない子と元気な子の一日の生活が見開きで比較できる構成にしている。 ・A4判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹き出しが多く、長い文章の表現が少ない表記としている。 ・ユニバーサルデザインの観点から、UD教科書体を使用している。 ・「思春期にあらわれる変化」では、シルエットと水着を身に付けた写真、裸の男女の絵を掲載している。 ・子どもに伝えたい大事なキーワードの部分に太字で表記している。
4 大日本	たのしいほけん 3・4年 たのしい保健 5・6年	<p>・学習指導要領に示されている目標内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、健康課題について意見を交わすことができるように「話し合ってみよう」を設定している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しりょう」として実験結果やレントゲン写真などを掲載している。 ・「話し合ってみよう」「やってみよう」「調べてみよう」など、その時間の学習課題に合わせた学習活動を示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたり伝えたりすることができるように、「話し合ってみよう」の学習活動を設定している。 ・「やってみよう」では、学習課題を見付けやすいように集団的な場面をイラストなどで示している。 ・自分の行動や生活を考え深めることで、日常生活に生かすことができるように、「活用して深めよう」の学習を設けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生の「けがの防止」では、イラストをもとに「予想される危険」と「安全な行動」を記述する部分を設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって健やかに生き抜く力を育むことと関連して、映像で学習に役立つ動画や資料を見ることができるよう、ウェブマークを掲載している。 <p>【今日的な課題の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AEDや熱中症などについて、「しりょう」の欄にその内容を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話的な学習に繋げるために、自分の考えを伝える際の源とするための「自分の考えを書く欄」を設けている。 ・主体的に学習に取り組むことができるように、「けがの防止」では、生活をイメージしやすいように身近な事例を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の学習は基本、見開き2ページで示しているが、内容によっては3ページまたは4ページで構成している。 ・横はA4判、縦はB5判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが興味をもって学習することができるように、目に見えない手の汚れなど、可視化してある資料を掲載している。 ・遊びの場面など、学習を深めるヒントとなる挿絵を使っている。 ・「大人の体になるじゅんぴ」では、衣服を身に付けている男女の絵と裸の男女の絵を掲載している。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
207 文教社	わたしたちのほけん 3・4年 わたしたちの保健 5・6年	<p>・学習指導要領に示されている目標内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「調べてみよう」、「話し合ってみよう」では、健康課題について考えたり、考えたことを伝え合ったりする活動を設けている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを活用したり広げたりできるように、「発展」や「実習」を設けている。 ・各時間の学習課題を明確に示している。 ・学んだ知識を深められるように、「新しい自分にレベルアップ」の学習を設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な事例から思考することで、自己の課題を見付けられるように、単元に応じて「振り返ってみよう」の学習を設けている。 ・考えたことを他者と対話できるように、「話し合ってみよう」の学習活動を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全について興味・関心を高められるように、「もっとくわしく」や「情報コーナー」を設けている。 ・協働的に学習できるように、「話し合ってみよう」の学習活動を設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びを自分の生活の中に生かすことができるように、「やってみよう」の学習活動で、体ほぐしや呼吸法、自分でできる簡単なけがの手当て等を掲載している。 ・学んだ知識をもとに、実践的な理解を積み重ねることで、「生涯にわたって生き抜く力を力を育む」ことへつなげられるように、「新しい自分にレベルアップ」の学習活動を設定している。 <p>【今日的な課題の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって身近な今日的な課題(自転車の安全、防犯、防災、熱中症、AED、119番の仕方、食中毒、喫煙、飲酒、薬物乱用)を取り上げ、「喫煙の害」や「飲酒の害」では、長期間喫煙をした肺の写真、長期間飲酒をした脳や肝臓の写真を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の生活を見つめることで主体的な活動につながるように、学習の初めに「ふり返ってみよう」の学習を示している。 ・学習内容によって、「ふり返ってみよう」、「調べてみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」の学習の流れを設定している。 ・対話的に学習を進めることができるように、「話し合ってみよう」の学習活動を設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の学習を基本、見開き2ページで示しているが、内容によっては3ページまたは4ページで示している。 ・A4判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習段階に応じて、難しい漢字にはルビをふっている。 ・表題や大切な部分は太字で表記している。 ・色を多用し視覚的に見やすくなるように配慮している。 ・「思春期の体の変化」では、発達段階に応じて衣服を身に付けている絵で示している。 ・具体的な様子を示す事項には写真を用い、生活の様子や心の様子などを示す場合には絵を用いている。
208 光文	小学ほけん 3・4年 小学保健 5・6年	<p>・学習指導要領に示されている目標内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、子どもが考えたり、考えたことを他者に伝えたり説明したりできるように「話し合おう」、「学んだことを生かそう 伝えよう」の活動を設けている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習で得た知識をより深められるように、「発展」の学習を設けている。 ・学習した内容を活用したり広げたりすることができるように、「学んだことを生かそう 伝えよう」の学習内容や、「広げよう深めよう」の資料を示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康課題について思考しやすいように、写真やグラフを掲載している。 ・子どものもつ考え方と専門家の方々の意見との違いや共通点を比較しやすいように、「〇〇に聞く」という欄を設けている。 ・学習課題に対して考えを深めることができるように「話し合おう」の学習活動を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話的な学びができるように、「話し合おう」の学習活動を設けている。 ・「考えよう」では、学習課題に対して自分から考えられるような問いかけを用意している。 ・自ら体験したり考えたりすることで主体的に学習に取り組むことができるように、「やってみよう」の学習が設定されている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の場面を想起しながら学習活動をするのでできるように、街で見かける標識や看板、注意喚起のポスターなどを掲載している。 ・学んだことを今後の生活にどのように生かすのかを考えることができるように、「学んだことを生かそう・伝えよう」の学習活動を設定している。 <p>【今日的な課題の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命には迅速な対応が必要であることが理解できるように、「心肺蘇生とAED」では、心臓停止から救命処置までの時間によって命の助かる確率をグラフで示している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が学習内容を身近に感じ、主体的に活動できるように、章の始めにこれから学習する内容をストーリー形式で掲載している。 ・対話的な学習を進められるように、「話し合おう」が学習活動が設定されている。 ・自分の生活との関連を踏まえることで、意欲的に学習に取り組めるように、導入で「学習課題」の発見を設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の学習を基本、見開き2ページで示しているが、内容によっては3ページまたは4ページで示している。 ・A4判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解が深められるように、各種実験結果を写真で掲載している。 ・柔らかい色や淡い色を使用している。 ・「思春期の体の変化」では、発達段階に応じて、衣服を身に付けている写真やイラストで示している。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
224 学研	みんなのほけん 3・4年 みんなの保健 5・6年	<p>・学習指導要領に示されている目標内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、学習して理解したことを生活に生かせるように、考えたり伝え合ったり、発表し合ったりできるように「学びを活用する」という活動を設けている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各時間で学習課題を明確に示している。 ・振り返ったり学んだことを活用しながら、実践的な理解につながるように、「まとめる深める」の学習を設定している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取ったり実際に調べたりすることで自己の課題を見付けられるように、「考える」「調べる」の学習活動を設けている。 ・考えたことを他者と対話しやすくするために「考える、話し合う」の学習活動を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全について興味・関心を高めるられるように、「もっと知りたい調べたい」を掲載している。 ・どうしたら解決できるか協働的に学習できるように、友達と話し合う活動を設定している。 ・身近な写真やイラストをもとに、興味・関心を高められるように、「調べる」という学習活動を設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって健やかに生き抜く力を育むことと関連して、「病気の予防」では、「感染症」と「生活習慣病」について、予防の方法や病気からの回復についての学習内容を示している。 <p>【今日的な課題の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって身近な今日的な課題(自転車の安全、防犯、防災、熱中症、心肺蘇生法、AED、119番の仕方、食中毒、喫煙、飲酒、薬物乱用、インターネットの使い方)を掲載している。 ・「喫煙の害」や「飲酒の害」では、長期間喫煙をした肺の写真、長期間飲酒をした脳の写真を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に取り組めるように、学習の始めに体験したことを話したり、絵から問題部分を探したりするなどの学習を用意している。 ・単元によって協働的に学習できるように、グループで話し合う活動や実習する活動を設けている。 ・学習に見通しがもてるように、どの単元も「つかむ→考える調べる→まとめる深める」という流れで学習を構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の学習を見開き2ページで示している。 ・本文と資料を分けて構成することで、学習内容を明確に示している。 ・A4判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の色が淡く、フォントやカラー、レイアウトなどユニバーサルデザインを使用している。 ・具体的な様子を示す事項には写真を用い、生活の様子や心の様子などを示す場合には絵を使用している。 ・大切な部分の文字には、太字で表記したり、色を付けて表記している。 ・「大人に近づく体」では発達段階に応じて、衣服を身に付けている写真やシルエットで示している。

調査研究報告書 ⑥

英語

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	NEW HORIZON Elementary English Course 5 NEW HORIZON Elementary English Course 6 NEW HORIZON Elementary English Course Picture Dictionary	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、各単元最後の「Enjoy Communication」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。	【知識・技能】 ・目標となる表現や語彙に繰り返し触れることができるように、「Starting Out」や「Your Turn」では様々な活動を設けている。 ・横に置いて単語を書き写すことができるように、語彙表現集(Picture Dictionary)を別冊にしている。 ・音を通して語彙や表現に慣れ親しめるように歌とチャンツを設けている。 ・音と文字を扱う「Sounds and Letters」を各ページおよび巻末に設けている。 【思考・判断・表現】 ・既習事項を活用して、ペアやグループ、または学級全体でコミュニケーション活動を行う「Enjoy Communication」を各単元に設けている。 ・「Enjoy Communication」では、3段階で手順を示しており、発表等の流れも示している。また、活動で使用するコミュニケーションカードを巻末に付属している。 ・「Enjoy Communication」の言語活動終了後にコミュニケーションカードを貼るスペースである「Check Your Steps」を設けている。 ・食物連鎖と環境問題(理科)、栄養素と食糧問題(家庭・社会)など、教科横断的な題材を取り上げている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元の最初のページに「Our Goal」として、目標を明示している。 ・各学年をテーマ別に3つに分け、1テーマ終了時に「Check Your Steps」で活動を振り返り、テーマに沿ったスピーチにつなげている。 ・Picture Dictionaryに、5・6年生で何ができるようになるのかを示すCAN-DOリストを設けている。 ・音声を開いたり、映像を視聴することができるように二次元コードを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・各単元の最後に、単元の内容に関連して国際理解・異文化理解について扱う「Over the Horizon」を設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・導入「Starting Out」で繰り返しインプットされた音声を手掛かりに、展開「Your Turn」で表現に慣れ親しみ、学習した表現を使って「Enjoy Communication」でコミュニケーションを行う構成にしている。 ・6年生では、「わたしのせりふ」として、児童が自分で考えた表現を書きためておくページを設けている。 ・年3回テーマ別に学びを振り返り、次の学びにつなげられるように単元末の成果物を貼る「Check Your Steps」を設けている。 ・全単元は見開き4パートの構成にしており、各パートを2時間という時間配当にしている。 ・巻末資料に、ミシン目が入った絵カードとコミュニケーションカード、ローマ字表等を設けている。 【分量・装丁】 ・判型は、A4判にしている。 ・5年生で配付し、2年間使用する語彙・表現集(Picture Dictionary)を別冊にしている。判型は、AB判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 ・色使い等については、色覚特性の研究者による検証を行っている。 ・4線の第2線と基線の間の幅を広げ、第2線は点線にして、基線は太線・青色にしている。
9 開隆堂	Junior Sunshine 5 Junior Sunshine 6	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、各単元末にある「Let's Try」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。	【知識・技能】 ・目標となる語彙や表現を開いて導入する「Let's Listen」を単元最初に設定している。 ・表現や語彙に繰り返し触れることができるように、「Let's Listen」「Let's Play」など様々な活動を設けている。 ・英語の音や表現に慣れ親しめるように歌とチャンツを設けている。 ・段階的に「読むこと」「書くこと」ができるように、「文字に慣れよう」を各単元に教科書後半にまとめて設けている。 ・「文字に慣れよう」では、音と文字の関係を学ぶ様々な活動を設けている。 【思考・判断・表現】 ・既習事項を活用して、友だちや先生とコミュニケーション活動を行う「Let's Try」を各単元末に設けている。 ・「Let's Listen」「Let's Play」などの活動で段階的に新しい語彙や表現を学習しながら、まとめの言語活動である「Let's Try」で発表などの活動につなげている。 ・年に2回、身に付けた表現を活用しながら復習する「Project」を設けている。 ・世界の衣食住を知ろう(社会・家庭)、宝物への道案内をしよう(社会・図工)など、教科横断的な題材を取り上げている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・1年間で何ができるようになるのかを示すCAN-DOマップを設けている。 ・自己評価ができるように、単元の終わりには振り返り欄を設けている。 ・音声を開いたり、映像を視聴したりできるように、二次元コードを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・日本のことを紹介する単元や日本と世界の文化を比較する単元など国際理解に関連する内容を扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・単元の始まりでゴールを見通し、「Let's Listen」や「Let's Play」など様々な活動を通して繰り返しふれながら語彙や表現を身に付け、「Activity」でまとめの言語活動を行う構成にしている。 ・見通しをもたせるために、巻頭にCAN-DOリストを設け、単元末には振り返り欄で単元振り返りをする構成にしている。 ・1年間で学んだことを振り返ることができる「この教科書で学んだことリスト」を巻末に付属している。 ・基本的に、1ページにつき配当時数を1時間のページ構成にしている。 ・巻頭で、3・4年生の復習を扱っている。 ・巻末資料に単語リスト、この教科書で学んだことリスト、発音クリニック、ローマ字表、中学校へつなげよう(6年生)、ミシン目が入った絵カード等を設けている。 【分量・装丁】 ・判型は、AB判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・4線の縦幅を4:5:4の比にしており、基線は青色で太線、それ以外は点線にしている。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学図	JUNIOR TOTAL ENGLISH 1 JUNIOR TOTAL ENGLISH 2	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「Use & Check」「Project Time」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習表現と新しい語彙・表現を含んだ音声を聞く活動を繰り返し設けている。 ・目標となる表現や語彙に繰り返し触れることができるように、各単元の中に歌やチャント、聞く活動などを毎時間実施する基本セットを設けている。 ・アルファベットの読み書きを繰り返し、定着ができるように「Alphabet Corner」を各単元に設けている。 ・文字と音に慣れ親しめるように、「Sounds and Letters」をページ下と「Alphabet Corner」に設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめとして、友だちと情報のやり取りや発表などの活動を行う「Use & Check」を設けている。 ・「Use & Check」は、直接書き込めるように欄を設けている。 ・年間2回の「Project Time」では、既習事項を活用して自分の思いや考えを伝える発表活動（言語活動）や発表用書き込みページを設けている。 ・「Project Time」は、聞く活動→やり取り→発表という手順を示している。 ・セクションBとCでは、日本には何がある（社会）、肉じゃがを作ろう！（家庭）など教科横断的な活動を設けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって取り組めるように、単元の最初のページで単元の目標と学習の進め方を示している。 ・単元での学びを振り返ることができるように「Check Time」を設けている。 ・音声を聞くことができるように、二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な国の紹介、世界の文化や風習などにふれることができるように各単元にコラムを設けている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間行う「レッスンの歌」「Scene」「Let's Listen」「Let's chant」に加えて、教科書左右の見開きを交互に進めていく構成にしている。 ・基本的には、聞く→聞いたものを繰り返して言う→話す（やり取り、発表）→読む・書くという構成にしている。 ・学習の見通しをもてるようにするために、単元の始めに、単元目標、学習の進め方を提示し、単元最後の「Check Time」で振り返る構成にしている。 ・基本的には、毎時間行う活動に加えて1ページで配当時間を1時間とする構成である。 ・巻頭で、クラスルームイングリッシュ、あいさつ、アルファベット、数字、表現の復習、句や文の書き方等も扱っている。 ・巻末資料に、Word List、アルファベットの練習コーナー、ローマ字表等を設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型は、A4判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・各ページの活動の内容を、技能別のイラストを用いて表示している。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・4線の縦幅を5:6:5にし、基線以外は線の色を薄くしている。
15 三省堂	CROWN Jr. 5 CROWN Jr. 6	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、年に3回設けられている「JUMP」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「STEP」の各パートには、目標の語彙や表現を使って様々な活動を繰り返し行うことで身に付く構成にしている。 ・使いながら語彙や表現が定着するように、自分のことなどを表現するアウトプット活動を単元後半に増やしている。 ・英語の音・語句などに慣れ親しめるようにチャント等の活動を設けている。 ・音と文字の結びつきを段階的に学ぶために「Sound Chant」「Enjoy Reading」等を設けている。 ・「STEP」には、音聞きながら文字に親しめるように「Enjoy Reading」を設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの活動として、既習事項を活用して自分の考えや思いを伝え合う言語活動である「JUMP」を年に3回設けている。 ・「JUMP」では、活動の手順が4段階で示されており、2つの活動を設けている。 ・「STEP」の「Listen & Talk」「Write & Speak / Talk」等の活動では、自分のことや自分の考え等を伝え合う活動を設けている。 ・日本のここ、おすすめ！（社会）、なりたいたいものは、何？（道徳・総合）など、教科横断的な題材を取り上げている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって取り組めるように、「HOP」で、「HOP」「STEP」「JUMP」の大きなまとまりの目標を立てる欄を設けている。 ・目標が達成できたか振り返ることができるように、「CAN-DOリスト」を巻末に設けている。 ・音声を聞くことができるように二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外の世界とのつながりを意識できるように、「今、この瞬間」など外国の文化に関する題材を扱ったり、「世界の小学校」のコラム等を設けている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4～5の単元で大単元とし、HOPで大単元全体の見通しをもたせ、STEPで様々な活動を通して語彙や表現を身に付け、JUMPで既習表現を使って表現する言語活動を行うという構成にしている。 ・単元の最後は「Write & Talk」「Write & Speak」など、まとめとして書く活動を設けている。 ・JUMPの「まとめとふりかえり」と巻末にCAN-DOリストを設け、活動や単元での学びを振り返ることができる構成にしている。 ・STEPは、各パート配当時間を2時間とする構成である。 ・巻頭で、英語で言えるかな、教室英語、会話を続ける工夫等を扱っている。 ・巻末に、コラムやWords & Phrases、学習した主な表現、ローマ字表、アルファベット表、アルファベットカード、時差時計、メモリーブック、ワークシート等を付属している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型は、AB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・4線の第2線と基線の間の幅を広げ、基線は太線・青色にしている。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	ONE WORLD Smiles 5 ONE WORLD Smiles 6	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、各単元最後の「Final Activity」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞いて慣れ親しむ活動から、語彙・表現等を実際に使用しながら段階的に身に付けられるように「Activity」等様々な活動を設けている。 ・ページ下にアルファベットの音と文字を学ぶ「ジングルコーナー」を設けている。 ・5年生前半でアルファベットの読み方、書き方を復習する「The Alphabet」を設けている。 ・文字に段階的に慣れ親しめるように、文字と音の関係を学ぶ「Sounds and Letters」を単元末に設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめとして、既習事項を活用してコミュニケーションを行う言語活動の「Final Activity」を各単元末に設けている。 ・「Let's Think」「Let's Listen」等の活動で段階的に学習しながら、まとめの言語活動である「Final Activity」につなげている。 ・「Final Activity」で使用するワークシートなどを巻末に付属している。 ・はしの上のおおかみ(道徳)、地図記号を生かした学習(社会)など、教科横断的な題材を取り上げている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって取り組めるように、学年の目標を冒頭に示している。また、単元の最初では単元の目標を示している。 ・単元の終わりには、活動を振り返る欄を設けている。 ・音声を聞いたり、映像を視聴したりできるように二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解につながるように外国の話題を取り上げて、日本文化の良さに気付かせたり、異文化への関心を高めたりできるように「Let's Look at the World」を設けている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通し(Let's Watch)→口慣らし(Let's Sing/Let's Say It Together)→考える(Let's Think)→インプット活動(Let's Listen)→やり取り(Activity)→読む・書く活動(Let's Read and Write)→言語活動(Final Activity)という構成にしている。 ・各単元末には音声と文字の関係の学習(Sounds and Letters)、復習(Review)、自己評価表を設けている。 ・冒頭に1年間の目標、単元の始めに単元の目標を示し、単元末に振り返り欄を設ける構成にしている。 ・各パート見開き2ページで配当時間1～2時間の構成にしている。 ・巻頭で、前年度までの振り返り、教室英語、アルファベット等を扱っている。 ・巻末資料に、My Word Bank、ジングル、アルファベット表、ローマ字表、My Book(6年生)、ミシン目が入った絵・アルファベットカードやワークシート、シール等を設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型は、AB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・4線の上下幅を、4:5:4とし、基線は青色にしている。
38 光村	Here We Go! 5 Here We Go! 6	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、各単元最後の「You can do it!」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Stepでは、聞く活動やチャンツで表現に慣れ、その後、表現や語彙に繰り返し触れることができるように、「Let's play」「Let's try」「Let's write」など様々な活動を設けている。 ・5年生後半から、慣れ親しんだ語彙や表現を使って文字を読む活動である「Let's listen and read」を設けている。 ・英語の音や表現に慣れ親しめるように歌とチャンツを設けている。 ・アルファベットは、5年生の前半3回の「Alphabet Time」で扱い、引き続きゲームなどで楽しみながら学ぶことができるように「Fun Time」を設けている。 ・文字と音に慣れ親しめるように、「Sounds and Letters」をページ下と巻末に設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや気持ちを伝え合ったり発表したりする言語活動である「You can do it!」を各単元末に設けている。また活動用シールも付属している。 ・「Let's watch」「Let's play」等の活動で語彙や表現を段階的に学習しながら、まとめの言語活動である「You can do it!」で発表などの活動につなげている。また、よりよいコミュニケーションをするためのポイントを記載している。 ・「学びをつなげよう」では、教科横断的な学習ができるように、国語や理科、社会等の他教科との関連を図っている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めと目次に、「Goal」として、目標を明示している。 ・1年間で何ができるようになるのかを示すCAN-DOリストを設けている。 ・自分の学習の振り返りができるように、単元の終わりに「ふりかえろう」を設けている。 ・音声を聞いたり、映像を視聴したりすることができるように二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の友達」や各単元にある「World Tour」など異文化理解を深められるような題材を扱っている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の「Hop!」で単元のゴールと学習の見通しを示し、「Step1・2」にある様々な活動で表現に慣れ親しみ、最後の「Jump!」にある「You can do it!」で学習した表現を活用して言語活動を行うという構成にしている。 ・英語でできるようになったことをすこく形式で確認できる「Let's play sugoroku」を折込見開きで設けている。 ・Hop! → Step 1 → Step 2 → Jump! で単元を構成し、それぞれを見開き1ページで掲載している。 ・巻頭で、CAN-DOリスト、アルファベット、数字、前年度までの振り返り、教室英語等を扱っている。 ・巻末資料に絵辞典、ローマ字表、「学びのパスポート」「Let's play sugoroku」「学習した表現」「中学校に向けて(6年)」、ミシン目が入った絵・アルファベットカードや活動用シール、ペンマンシップシート等を設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型は、AB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すイラストを掲載している。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・4線の第2線と基線の間の幅を広げ、基線は青色にしている。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	Blue Sky elementary 5 Blue Sky elementary 6	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、各単元最後の「Activity」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標とする表現や語彙に繰り返し触れることができるように、各パートに「Listen and Do」「Activity」など様々な活動を設けている。 ・基本的な表現や語彙を示し、慣れ親しむことができるように「Listen and Play」や「Chant」を設けている。 ・音を通して語彙や表現に慣れ親しめるようにジングルやチャンツ、歌を設けている。 ・各単元の最後にアルファベットの学習をする「Let's Read and Write」(6年生の最後の2単元は「Let's Read」)を設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のパート2・3を中心にコミュニケーション活動である「Activity」を設け、特にパート3では、単元のまとめとして既習事項を活用して英語で気持ちや考えを伝え合う言語活動を設定している。 ・「Listen and Do」等の活動で語彙や表現を段階的に学習しながら、まとめの言語活動である「Activity」につなげている。 ・年に3回ある「REVIEW」のページの中に、まとめとして既習事項を活用して英語で気持ちや考えを伝え合う言語活動と発展となる活動を設けている。 ・都道府県の特徴(社会)、大きなかぶ(国語)等、教科横断的な題材を扱っている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習を進められるように、各単元の最初にめあてである「GOAL」を設けている。 ・単元の振り返りができるよう各単元末に「Looking Back」(振り返り欄)を設けている。 ・1年間で何ができるようになるのかを示すCAN-DOリストを設けている。 ・音声を聞くことができるように二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末に設けられている「Did you know?」では、国際理解・異文化理解につながるように外国の様々な話題を取り上げている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元が見通しをもたせる「Listen & Guess」で始まり、「Listen & Do」などの様々な活動を通して語彙や表現に慣れ親しみ、パート3の「Activity」を中心に既習事項を活用して言語活動を行う構成にしている。 ・6年生の各パート末は、様々な活動を通して慣れ親しんだ表現を使って自分の考えを選択して書く構成にしている。 ・めあてがどの程度達成されたか振り返ることができるように、各パートに「できたかな?」と1年間でできるようになったことを確認するCAN-DOリストを設けている。 ・各パートは見開き2時間で扱える構成にしている。 ・巻頭に、アルファベット表を掲載している。 ・巻末に、Word List、ミシン目が入った付録カード(単語カード・大文字・小文字カード)、CAN-DOリスト、ローマ字表等を付属している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型は、AB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・どの技能を重点的に育成する活動かが分かるようにアイコンを設けている。 ・色使いやデザインに配慮し、メディア・ユニバーサル・デザイン協会に認証マークを取得している。 ・4線の上下幅を、5:6:5とし、基線は青色にしている。

調査研究報告書 ⑥

道徳

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新訂 あたらしいどうとく 1 新訂 新しいどうとく 2 新訂 新しいどうとく 3 新訂 新しいどうとく 4 新訂 新しい道徳 5 新訂 新しい道徳 6	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、主体的に考えられるよう、体験活動や各教科とのつながりを意識した教材の工夫をしている。	【知識及び技能】 ・全学年を通して重点化されている内容項目を繰り返し学習できるようにしている。 ・各学年に応じて学習できるよう、情報モラルや現代的な課題などを掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業の進め方が分かるように、学習の流れが確認できるページを各学年に掲載している。 ・内容項目の4つのまとまりごとにマークを設け、何を学んでいるのかが分かるようにしている。 ・各学年で問題解決的な学習ができる教材や体験的な活動ができるような教材を配置している。 ・いじめの問題に関する内容は、多面的・多角的に考えられるように、連続して掲載している。 ・各教材の最後に「考えよう」を設け、学習の中でどのようなことを考えればよいのかを提示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「つながる・広がる」の付録として、各教科等の関連を図れるような資料を掲載している。 ・巻末に学期ごとに心に残った学習を振り返ることができるよう、ワークシートを付けている。 ・1時間ごとの振り返りが簡単にできるページを巻末に設けている。 【かわさき教育プラン】 ・人間関係づくりに関する教材とセットで「出会う・ふれ合う」というページを2ヶ所設けている。 ・各学年、いじめの問題に関連する教材を2つ掲載している。 ・各学年で家族や地域活動に関する教材を取り上げている。 ・神奈川県に関する教材では、6年生で、多摩川を扱った教材、4年生で神奈川県を扱った教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に道徳の学習の流れを示すページを設けている。 ・重点的指導に関しては、各学年で繰り返し学習ができるように系統的に掲載している。 ・各教材の最後に「考えよう」を設け、キャラクターが学習の案内をするような位置付けにしている。 ・学習の記録、学習のまとめを巻末に設けている。 ・各教材の冒頭に学習テーマを掲げている。 【分量・装丁】 ・本編教材の他に、付録教材をつけている。 ・巻末に書き込めるワークシートは紙の種類を変えている。 ・Dマークを付けた教材は、インターネット上にあるデジタルコンテンツを利用できるようにしている。 ・AB判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dのどの視点の教材であるか分かるように題名の上にマークを表示している。 ・独自に開発した少し太めの教科書体文字を使用し、振り仮名にはユニバーサルデザイン書体を使用している。 ・当該学年までの漢字を使用している。当該学年で習う漢字には全て振り仮名を付けている。 ・低学年には分かち書きを取り入れている。
11 学図	かがやけ みらい しょうがっこうどうとく 1ねん きづき かがやけ みらい しょうがっこうどうとく 1ねん まなび かがやけ みらい 小学校どうとく 2年 まなび かがやけ みらい 小学校どうとく 3年 きづき かがやけ みらい 小学校どうとく 3年 まなび かがやけ みらい 小学校道徳 4年 きづき かがやけ みらい 小学校道徳 4年 まなび かがやけ みらい 小学校道徳 5年 きづき かがやけ みらい 小学校道徳 5年 まなび かがやけ みらい 小学校道徳 6年 きづき かがやけ みらい 小学校道徳 6年 まなび	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、「多様性を前提とした問題解決能力の育成」をめざし、自らの気付きをもとに学び合いができるよう、「きづき」「まなび」の二部構成で学習できるように工夫している。	【知識及び技能】 ・全学年でいじめの問題や情報モラル等、現代的な課題に関する内容の教材を取り入れている。 ・キャリア教育や食育、国際理解、伝統文化などについて考える教材を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容項目の4つのまとまりごとにマークを設け、何を学んでいるのかが分かるようにしている。 ・教科書「きづき」と別冊「まなび」に学習の進め方が分かるようなページを掲載している。 ・別冊「まなび」に主題名や発問、自分の考えを記入できる欄を掲載している。 ・同じ内容項目の学習を振り返ることができるように、別冊「まなび」は内容項目ごとに構成している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・別冊「まなび」の「みつめよう」の欄で自己を見つめることができる発問を表記している。 ・別冊「まなび」に、自分の考えや友達のことを記入する欄を設けている。 ・別冊「まなび」は、複数時間の学習を同じページで振り返ることができるよう、内容項目ごとに記入する構成にしている。 【かわさき教育プラン】 ・各学年に、「ともにいきる」というテーマで、キャリア教育や人権教育、いじめの問題に関連した教材を5つ以上掲載している。 ・家庭や地域での連携を意識して、別冊「まなび」の巻末に保護者へ向けて、道徳の授業でめざすことを内容項目ごとに明記している。 ・各学年の巻末に「ふるさとコラム」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・別冊「まなび」には、主題名の他に「かんがえよう」「みつめよう」の欄を設け、発問を掲載している。 ・年間を通して計画的にいじめの問題を扱うことができるように、関連した教材を各学年に5つ以上掲載している。 ・別冊「まなび」に自分の考えや友達のことを記入する欄を設けている。 【分量・装丁】 ・教科書「きづき」は、別冊「まなび」との併用で1つの教科書として構成している。 ・教材の最初のページには、別冊の何ページと対応しているかを表示している。 ・二次元コードを表示して、ホームページにある補助教材等を使用できるようにしている。 ・AB判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dのどの視点の教材であるか分かるように題名の上にマークを表示している。 ・いじめの問題に関連した学習であることが分かるように、目次や該当ページにマークを表示している。 ・見開きで始まるようにしている。 ・当該学年までの漢字を使用している。当該学年で習う漢字には全て振り仮名を付けている。 ・「ユニバーサルデザインフォント」を使用している。

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	しょうがくどうとく 1 はばたこうあすへ 小学どうとく2 はばたこう明日へ 小学どうとく3 はばたこう明日へ 小学道徳4 はばたこう明日へ 小学道徳5 はばたこう明日へ 小学道徳6 はばたこう明日へ	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、「豊かな情操と道徳心を培うこと」をめざして、話し合いを深めるための問いや体験的な活動が取り入れやすい教材を設けるなどの工夫をしている。	【知識及び技能】 ・全学年を通して、いじめの問題、生命の尊重、情報モラルの3つを重点として位置付けている。 ・各学年に情報の扱い方や情報を扱う際の配慮など、情報モラルに関する教材を掲載している。 ・現代的な課題として学年に応じて、食育、防災教育、法教育、健康教育、福祉教育、キャリア教育に対応する教材を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習の初めに自分の考えを記入したり、話し合いを促したりするページを、各学年2～3ヶ所掲載している。 ・体験的な活動を通して、道徳的価値をより深く理解させることを意図するために「やってみよう」を設けている。 ・考えを深めたり、話し合ったりするなどの活動が充実するように、教材ごとに「考えよう」「深めよう」「つなげよう」を設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・低学年は、巻末に礼儀とマナーを扱ったコラムを掲載している。 ・考えを書いたり、自己の成長に気付かせたりするなどの活動が充実するよう、巻頭の「〇年生の道徳の学習が始まるよ」と巻末の「学びの記録」「一年間の道徳の学習を振り返ろう」には書き込み欄を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・高学年には、人権教育に関する教材を3つ掲載している。 ・神奈川県に関する教材では、2年生で相模川の大凧、4年生で二宮金次郎、5年生で横浜港、6年生で横浜市水道局を取り上げている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・児童が考える際のヒントになるよう、導入では課題を意識させるキャラクターの言葉を掲載している。 ・教材ごとの「学びの手引き」では、道徳的価値についての学びを深められるように、「考えよう」「深めよう」「やってみよう」「つなげよう」で構成されている。 ・自己の生き方についての考えを深められるように、授業で学んだことを日常生活につなげたり、他教科や特別活動とつなげたりする「つなげよう」を設けている。 【分量・装丁】 ・地域の独自教材を入れられるように、30教材で全ての内容項目を学習できるように配置している。補充教材として5つの教材(1年生は4つ)を掲載している。 ・AB判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dのどの視点の教材であるか分かるように題名の上にマークを表示している。 ・ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・低学年では分かち書きをしている。
38 光村	どうとく 1 きみが いちばん ひかるとき どうとく 2 きみが いちばん ひかるとき どうとく 3 きみが いちばん ひかるとき 道徳 4 きみが いちばん ひかるとき 道徳 5 きみが いちばん ひかるとき 道徳 6 きみが いちばん ひかるとき	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、児童を深い学びに導き、豊かな道徳性を育むことをめざして、児童の成長を考慮した年間構成になるように1年間を3つのまとまりに分け、重点を置きながら学習できるように工夫している。	【知識及び技能】 ・指導の系統性が出るように年間を3つのカテゴリーに分けている。 ・Dの視点は3つのカテゴリーにそれぞれ配置し、生命の尊さに関する教材は3つ位置付けている。 ・いじめの問題、情報モラル等現代的な課題は、教材とコラムとを組み合わせた「ユニット」を設定している。 ・3年生以上の巻末付録では、郷土や伝統文化などの資料を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業の進め方が分かるように、学習の流れが確認できるページを全学年に掲載している。 ・多面的・多角的に考える内容、「学校ってなんだろう」「自分らしい楽しいってなんだろう」「うそってなんだろう」「友達ってなんだろう」「生きる幸せってなんだろう」「自分ってなんだろう」を学年に応じて掲載している。 ・教材文の後に「考えよう・話し合おう」の項目を設けている。 ・体験的な学習ができるように「演じて考えよう」を設けている。 ・年間で、1、2年生は2ヶ所、3年生以上には5ヶ所、教材とコラムを組み合わせたユニットを位置付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らの学びを振り返られるように、「学びの記録」を学年3ヶ所に掲載している。 ・学習の手引き「つなげよう」では、学習したことを次の行動につなげる言葉を示している。 ・3年生以上には、長期休みを視野に入れた「夏休みに調べてみよう」「冬休みに調べてみよう」というコーナーを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・3年生以上は、いじめの問題や人権教育など現代的な課題を5つのユニットで設定している。 ・低学年は情報モラルといじめの問題の2つをユニットで設定している。 ・各学年に「心を通わそう」を設け、よりよい人間関係づくりに関する内容を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・2年生以上の巻頭に、道徳の時間がどんなことを考える学習であるのかを示している。 ・全学年の巻末には発達段階に応じた人間関係づくりに関わるページを掲載している。 ・問題意識をもたせるために教材冒頭にキャラクターによる児童への呼びかけの言葉を示している。 ・教材末の学習の手引きに「考えよう・話し合おう」を設けている。 【分量・装丁】 ・各教材と内容項目A～Dの視点のマークを設定し、年間の3つのカテゴリーごとに色分けをしている。 ・「学びの記録」を3ヶ所に掲載している。 ・読み上げ音声や関連する資料などが利用できるように、二次元コードを設けている。 ・判型はB5変形判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dのどの視点の教材であるか分かるように題名の上にマークを表示している。 ・タイトル見出しはUDフォントを使用している。 ・読みのつまづきを軽減するため、行頭に助詞が来ないよう配慮している。 ・光村教科書体を使用している。 ・1年生は文節分かち書き、2年生は3文節程度の分かち書きにしている。 ・1年生では数字以外は漢字表記とせざる平仮名を使っている。

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	しょうがくどうとくいきる ちから 1 しょうがくどうとくいきる ちから 1 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 2 小学どうとく 生きる力 2 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 3 小学どうとく 生きる力 3 どうとくノート 小学道徳 生きる力 4 小学道徳 生きる力 4 道徳ノート 小学道徳 生きる力 5 小学道徳 生きる力 5 道徳ノート 小学道徳 生きる力 6 小学道徳 生きる力 6 道徳ノート	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、現代的・社会的な課題に対応した教材を多く取り上げ、重点化して取り組むことができるように工夫している。	【知識及び技能】 ・全学年を通して「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「規則の尊重」「生命の尊さ」を重点的に指導できるように教材を配置している。 ・情報モラルや、安全、持続可能な社会に関する教材を各学年に掲載している。 ・いじめの問題に関する内容を年間3回、ユニットで学習できるように教材を配当している。 ・道徳科の学び方を伝えるページを巻頭に掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・4つのどの視点で学習しているのかが分かるように、色分けやマークで示している。 ・授業の進め方が分かるように、学習の流れが確認できるページを全学年に掲載している。 ・問題解決的な学習ができる教材を各学年に1～3つずつ設け、学習の流れを示している。 ・教材と関連した内容や活動を取り上げた、コラム「心のベンチ」を各学年4～5ヶ所設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各教材の最後に、学習を通して学んだこと、分かったことを自発的に確かめていくための発問例を掲載した「見つめよう生かそう」を設けている。 ・考えたことや話し合ったことを書いたり、学習を振り返ったりすることができるように別冊「道徳ノート」を付けている。 【かわさき教育プラン】 ・神奈川県に関する教材では、3年生に「富士と北斎」(箱根)、コラムでは4年生に「相模湾のグリーン活動」を取り上げている。 ・別冊「道徳ノート」には保護者記入欄を設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・問題解決的な学習や、体験を生かして学ぶ体験的な学習などを取り入れた授業が展開できるよう配慮している。 ・問題解決的な学習が適した教材や体験的な学習を取り入れることが適した教材には、「学習の手引き」を挿入して、問題をつかむ活動や考える活動を促す発問、具体的な活動例などを示している。 【分量・装丁】 ・重点的指導の内容は複数の教材に掲載している。 ・各学年とも35(1年生は34)の主教材のほかに「付録」として3教材を収めている。 ・別冊が教科書の間に収まるようにしている。 ・AB判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目のまとめごとの色分けやマークを決めている。 ・漢字は、原則として当該学年の配当漢字までを使用し、当該学年以上の漢字には全て振り仮名を付けている。 ・やや難解な語句や、教材の読み取りのために必要な補助説明をしている。 ・疑問に思ったこと、やってみたいと思うことを投げかけるための4人の児童キャラクターを使用している。 ・教材は全て見開き単位にしている。
208 光文	しょうがく どうとく ゆたかな こころ 1ねん 小学 どうとく ゆたかな こころ 2年 小学どうとく ゆたかな心 3年 小学どうとく ゆたかな心 4年 小学道徳 ゆたかな心 5年 小学道徳 ゆたかな心 6年	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、目的意識をもって主体的に学習に取り組むことができるように、毎時間の授業の見通しがつくような流れにしている。	【知識及び技能】 ・全学年を通しての重点を「生命の尊さ」と設定している。また、各学年に指導内容の重点化が図れる教材を設定している。 ・現代的な課題への取り組みとして、情報モラルに関する教材(コラムも含め)を全学年で設定している。 ・いじめの問題に関する教材を各学年4つ以上掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業の進め方が分かるように、学習の流れが確認できるページを全学年に掲載している。 ・巻頭には、学習のイメージをもつことができるように、内容項目4つの視点(ABCD)をイラストやマークで示している。 ・巻末に「学びの足あと」を設け、毎時間の振り返りの欄を設けている。また、「まとめ」の欄を設け、学期や学年末に学習を振り返る欄を設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の冒頭で、自分の経験を想起する問いかけや文や主題に関わる問題意識をもつことができる問いを設定している。 ・主体的に考えることができるように、教材の末尾に「まとめる」「広げる」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・神奈川県に関する教材では、3年生で横浜、5年生でチョーク工場を取り上げている。 ・障害のある方や外国の方などとの関わりの中で生きていくことを考える教材を掲載している。 ・人間関係づくりに関するコラム「みんなでやってみよう」を全学年に掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」という学習の流れを示している。 ・教材の初めに考える視点になる問いを示している。 ・教材文の下段に、キャラクターが考えるための発問を投げかけている。 ・「まとめる」では、分かったことや気付いたことを道徳のノート(別売)にまとめる例を記載している。 ・「広げる」では、実際の生活でも生かせる例を示している。 【分量・装丁】 ・35教材の他に、付録として5教材を収めている。 ・複数の登場人物がいる場合はイラストで名前を紹介している。 ・巻末の「学びの足あと」には、授業の記録を残すページを掲載している。授業を受けた後の気持ちを、1、2年生は表情で、3～6年生は、矢印で表すようになっている。 ・A4に近い判型を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・教材に、内容項目のまとめごとのマーク、主題名、考えさせたいことを示している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・当該学年の配当漢字までを使用し、当該学年以上の漢字には全て振り仮名を付けている。 ・1～3年生までは全ての漢字に振り仮名を付けている。

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
224 学研	新・みんなのどうとく1 新・みんなのどうとく2 新・みんなのどうとく3 新・みんなの道徳4 新・みんなの道徳5 新・みんなの道徳6	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、考えを深めるために、「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「ひろげよう」の学びの場面を設け、教材をもとに話し合う活動や役割演技をして心情を理解する活動などの工夫ができるようにしている。	【知識及び技能】 ・「生命の尊さ」の内容項目に関する教材を各学年3つ配置している。 ・ユニットで学習できる教材を各学年2つ配置している。 ・各学年に情報の扱い方や情報を扱う際の配慮など、情報モラルに関する教材を掲載している。 ・いじめの問題に関連する内容の教材を各学年5つ以上掲載している。 ・各学年に現代的な課題に関する教材を配置している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・多面的・多角的に考えることができるように「深めよう」というページで学習の流れを示している。 ・複数の教材を連続して学習する「ユニット学習」を設けている。 ・体験的な活動ができる教材を掲載し、「やってみよう」というページで学習の流れを示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「やってみよう」「つなげよう」「深めよう」「広げよう」という4つの学び方を提示している。また、道徳での学習を日常生活に生かせるような活動を例示している。 ・学びを振り返り、記入できるように「こころの宝物」という欄を巻末に設けている。 【かわさき教育プラン】 ・低学年には保護者にもコメントを書いてもらう書き込み欄がある。 ・神奈川県に関する教材では、3年生で二宮金次郎、5年生で県出身のバレーボール監督、6年生で県出身のスケート選手・歌手を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭の「道徳の時間がはじまるよ」で、学習の流れを示している。 ・巻末の一覧表に主題名を掲載している。 ・複数の教材を連続して学習した後に、考えたことを記入できる欄を設けている。 【分量・装丁】 ・巻末に1年間の学んだ感想を記入するページを設けている。 ・インターネットで写真が見られたり、音声が開けたりする二次元コードを設けている。 ・A4判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目の4つのまとまりごとにマークを設け、教材名の上に掲載している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・漢字は、原則として当該学年の配当漢字までを使用し、当該学年以上の漢字には全て振り仮名を付けている。
232 廣あかつき	みんなでかんがえ、はなしあう しょうがくせいのどうとく1 じぶんをみつめ、かんがえる どうとくノート1 みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく2 自分を見つめ、考える どうとくノート2 みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく3 自分を見つめ、考える どうとくノート3 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳4 自分を見つめ、考える 道徳ノート4 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳5 自分を見つめ、考える 道徳ノート5 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳6 自分を見つめ、考える 道徳ノート6	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、考えを深めるために「活動しよう」や「考えよう 話し合おう」を設けている。	【知識及び技能】 ・全学年、「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊さ」を重点化している内容項目として配当している。 ・各学年、いじめの問題と人権教育にかかわる教材を2つ以上掲載している。 ・低学年では、「安全教育・防災教育」と関連したコラムを掲載している。 ・全学年に情報モラルに関する教材、3年生以上には巻末に現代的な課題に関するコラムを掲載している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・問題解決的な学習や体験的な活動を促す教材を掲載している。 ・教材文の最後に「考えよう話し合おう」という欄を設け、学習の道筋や発問例などを掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・別冊では、教材で考えたことをもとに自分自身を振り返って記入できるようにしている。 ・授業を通して感じたことや考えたことを記入する「学習の記録」というページを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「どうとくノート」の巻末に教師や保護者がノートを見たサインを記入する欄を設けている。 ・神奈川県に関する教材は、2年生で二宮金次郎、4年生で江の島でのヨット競技を掲載している。 ・川崎の郷土に関する教材である「川崎の長十郎梨」を、3年生に掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・重点化されている内容は、2時間連続で配置している。 ・導入時で活用できるように、低学年では学習する内容項目を、中・高学年では考える手掛かりになる文言を、教材文の脇に端的に掲載している。 ・学習の道筋や発問例など、教材文の最後に「考えよう話し合おう」という欄を掲載している。 【分量・装丁】 ・別冊「道徳ノート」は、内容項目ごとに記入できるページと、自由に記述できる「学習の記録」のページで構成している。 ・教材の巻頭に、「道徳はこんな時間」というページを設けている。 ・別冊が教科書の間に収まるようにしている。 ・AB判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・漢字は、原則として当該学年の配当漢字までを使用し、当該学年以上の漢字には全て振り仮名を付けている。 ・別冊のノート欄は、発達段階に応じたマスの大きさや罫線間の幅に配慮している。

調査研究報告書 ⑤

国語

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	あたらしい 国語 一 上下 あたらしい 国語 二 上下 あたらしい 国語 三 上下 あたらしい 国語 四 上下 あたらしい 国語 五 あたらしい 国語 六	【知識・技能】 ・書き方の例やまとめ方の例を掲載している。 ・他教科等と関連付けた指導ができるよう、観察カードの書き方等を掲載している。 ・インターネット投稿の表現について教材として取り扱っている。 ・拗音、促音等の学習では、手の動きを活用して体得するような工夫を示している。 【思考・判断・表現】 ・「つかむ」から取組を経て、「ふり返る」へとつながる学習過程を設定している。 ・児童にとって親しみのある人物を伝記で取り上げている。 ・6年生の「『卒業文集』を作ろう」という単元等、生活に結び付くような教材を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・防災、情報化社会等、現代社会に即した内容の教材を掲載している。 ・資質・能力を「言葉の力」とし、各巻の巻頭に、「国語の学習の進め方」、「〇年で学習する言葉の力」を掲載して、1年間の学習を見通せるようにしている。 ・インターネットで資料を見ることができるよう、二次元コードを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「図書館へ行こう」等の本に親しむ内容を掲載している。本の紹介ページを掲載している。 ・6年では、「さまざまな生き方について考えよう」という単元で、「プロフェッショナルたち」という教材を設定している。	【主体的・対話的で深い学び】 ・本文(題材・教材文)のあとの学習活動を具体的に記し、児童が自ら学習を進めることを可能にしている。 ・「言葉の力」では、何を学ぶのかを明記している。 ・「話すこと・聞くこと」での言語活動例を示している。 【分量・装丁】 ・5年生以上は学年一冊にしており、学習を振り返りやすいが、1冊の分量は多くなっている。	【読みやすさの工夫】 ・見やすいよう、必要に応じて色分けをしている。また、児童の興味をひきやすい写真や写真を掲載している。 ・想像力を働かせられるような挿絵を示している。全体的には淡い色合いにしている。 ・読みやすいように行間の幅を工夫している。
11 学図	みんなとまなぶ しょうがっこう 国語 一 ねん 上下 みんなとまなぶ 小学校 国語 二 年 上下 みんなとまなぶ 小学校 国語 三 年 上下 みんなとまなぶ 小学校 国語 四 年 上下 みんなとまなぶ 小学校 国語 五 年 上下 みんなとまなぶ 小学校 国語 六 年 上下	【知識・技能】 ・「レッスン 文章の書き方・まとめ方」というコーナーがある。 ・学習の定着がしやすいよう「授業で使う言葉」の一覧を掲載している。 ・情報と情報を関連させたり整理させたりする演習等を通して、他教科等でも有用な情報活用能力を高める教材を示している。 ・「授業で使う言葉」「国語のカギ」「読書の部屋」のページを効果的に配置している。 【思考・判断・表現】 ・説明文や「書くこと」では、現代社会に沿った内容を扱っている。 ・学習のイメージがわかりやすい「学習のてびき」や、「書くこと」「話すこと・聞くこと」の単元における作例を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・興味をもって学習に取り組めるよう、児童の身近な題材を取り上げている。 ・「対話して読む」では、文章と対話しながら読みを深める手立てとして教材文下に「つぶやき」を示している。 ・自宅等で学習できるよう、補助資料として二次元コードを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・本に親しむ内容を掲載している。「読書の部屋」等の本の紹介を見やすく、わかりやすく示している。	【主体的・対話的で深い学び】 ・学習の手引киに従って学習を進めることができる構成にしている。 ・最初に学びの進め方等のページを掲載している。 ・「対話して読む」では、教材文下に「つぶやき①」等の「問い」を示すことで、読みを深める手立てとしている。 【分量・装丁】 ・教科書を上下巻に分けているため軽いが、学習を振り返ったり、単元の入れ替えをしたりすることがしづらい面もある。	【読みやすさの工夫】 ・色味を優しくしている。 ・見やすいよう絵や写真を掲載している。 ・新出漢字や上の学年の配当漢字等、配慮を要する表記にはふりがなをふっている。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	ひろがることば しょうがくこく ご 一上下 ひろがることば 小学国語 二上下 ひろがる言葉 小学国語 三上下 ひろがる言葉 小学国語 四上下 ひろがる言葉 小学国語 五上下 ひろがる言葉 小学国語 六上下	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語文化における内容も的確に設定している。 ・機会を捉えて活用できるよう「言葉のまとめ」を設定している。 ・語彙の増加に向けて慣用句等を扱っている。 ・AI等、これからの社会を意識した現代的な内容を扱う教材を設定している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書く」や「話す・聞く」では、構成の仕組みや取材した情報のまとめ方を掲載している。 ・立ち止まって想像を広げることができるよう、物語教材の前に「扉」のページを掲載している。 ・「ここが大事」で、身に付けたい力を児童に示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の最後に、学習のポイント等について書いている。 ・経験に照らして活動できるよう、身近な話題や親しみやすい題材を取り上げている。 ・インターネットで資料を見ることができるよう、二次元コードを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動に入りやすいよう、充実した読書単元のページを示している。 ・伝記では、伊能忠敬、オードリー・ヘップバーン等を取り上げている。 	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が学習の見通しをもてるよう、「見通しをもとう」を示している。 ・どんな内容を学習するのかわかりやすいよう、目次の学習のルート図のようなものを「話す・聞く」「書く」等で色分けしている。 ・学習の進め方を捉えやすいよう、学びの手引きを順序立てて示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を上下巻に分けているため軽いが、学習を振り返ったり、単元の入替えをしったりすることがしづらい面もある。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストはパステル調である。 ・巻末の「新しく学んだ漢字」の文字を大きく示している。 ・見やすいよう色や写真を使用している。
38 光村	こくご一上 かざぐるま こくご一下 ともだち こくご二上 たんぼぼ こくご二下 赤とんぼ 国語三上 わかば 国語三下 あおぞら 国語四上 かがやき 国語四下 はばたき 国語五 銀河 国語六 創造	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「季節の言葉」「ことばを楽しもう」等の小単元教材を配置している。 ・「じょうほう」という情報の扱い方に関するページを設定している。 ・機会を捉えて活用しやすいよう、「学習に用いる言葉」「言葉のたから箱」を掲載している。 ・興味をもって学習したり他教科等と関連させたりしやすいよう教材の設定を工夫している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のポイントやそれに対する自分自身の評価のため、振り返りを設定している。 ・「話すこと・聞くこと」に関する単元では、ポイントをわかりやすく丁寧に示している。 ・教材文の前に「扉」のページを掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとまりごとに身に付けたい力と言語活動を明確にし、単元名、リード文で示すとともに、活動の過程で必要な知識等は小見出しやコラムを設けて示す等の工夫をしている。 ・学びをいろいろな学習に生かすよう、「学習を広げよう」として付録を掲載している。 ・保護者に学習内容を伝えたり、児童の学習に生かしたりできるよう二次元コードを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を広げるよう「本は友達」の単元を設定している。 ・図書館利用に関わる内容を設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもつのに役立つよう、学習の手引きのページを掲載している。 ・学びやすいよう、構成を「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」と示している。 ・単元内に「たいせつ」の欄を位置づけている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生以上は学年一冊にしており、年間の学習の見通しをもてるが、1冊の分量は多くなっている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を学ぶかわかりやすいよう記号等で示している。 ・低学年では、行間をとり、見やすいよう工夫している。 ・分かりやすいよう図や写真を示している。

調査研究報告書 ⑤

書 写

発行者の番号 略称	書 名	内 容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	あたらしい しょしゃ 一 新しい しょしゃ 二 新しい書写 三 新しい書写 四 新しい書写 五 新しい書写 六	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具の扱い方は、写真を用いて示している。 ・児童が理解しやすいよう、筆の力の入れ具合を可視化したり、穂先の向きを表したりしている。 ・鉛筆の持ち方や筆の持ち方を示している。左利きの鉛筆の持ち方も掲載している。 ・分かりやすいよう毛筆の手本に朱墨を使っている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書写のかぎ」を提示し、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」という学習活動の過程を設定している。 ・2年生に縦書きと横書きの観察記録例を掲載する等、児童の表現の幅を広げる工夫をしている。 ・連絡帳の書き方や、原稿用紙の書き方等、日常生活に生かせる学習を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に学習する内容を一目で分かりやすいように示している。 ・1年生の入門期はスモールステップでめあてを達成できるよう工夫している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における「書いて伝えること」に即した内容を掲載している。 ・書写の実践事例として寄せ書き等を取り上げ、思いを字に表すためのヒントを示している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写の学び方について「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返って話そう」という学習の過程で構成している。 ・学びを見通すイラストマップを示しており、気を付けるポイントを記している。 ・「ぺた(足)・びん(背)・とん(手)」という表現で、書くときの望ましい姿を表している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AB判である。 ・パステルカラーを用いた配色にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切なところに目がいきやすいよう色遣いを最低限に抑えている。 ・文字の大きさや行間、字間を適切に示している。 ・図、写真、文字をバランス良く示している。
11 学図	みんなとまなぶ しょうがっこうしょしゃ 一ねん みんなと学ぶ 小学校しょしゃ 二年 みんなと学ぶ 小学校書写 三年 みんなと学ぶ 小学校書写 四年 みんなと学ぶ 小学校書写 五年 みんなと学ぶ 小学校書写 六年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬筆の学習を教科書だけで進められるよう書き込み欄を示している。 ・筆圧によって、線の太さが変わることを図を用いて示している。 ・墨の作られ方等を写真入りで示し、児童の興味がわくようにしている。 ・今後の生活に生かせるよう、はがきや手紙の書き方等、文字にかかわる資料を示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れをつかみやすいよう、前学年の学びを確かめるページを掲載している。 ・「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」「ふり返ろう」の流れで学習が進められるように設定している。 ・振り返りながら書くスペースを掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの単元もゴールをはっきり示しており、学習の流れを明確にしている。 ・「確かめて書こう」「考えて書こう」等の学習過程を設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写を活用する場面を複数示している。 ・はがきや手紙の書き方等、文字に関わる資料を通じて、今後の生活に生かせるようにしている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを意識できるよう「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」「ふり返ろう」で構成している。 ・前学年の復習が載っており、要点をまとめて確認できるようにしている。 ・「ぺたぺた(足)・びん(背)」等の表現で、書くときの望ましい姿勢を表している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B5判である。 ・見開きで手本を示し、原寸大にしている。 ・鮮やかでアニメの絵のような表紙にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターが疑問を投げかけたり、気を付けさせたいことを話したりしている。 ・文字の大きさや行間、字間を適切に示している。 ・見やすいよう色分けの工夫をしている。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	しょうがく しょしゃ 一ねん 小学 しょしゃ 二年 小学 書写 三年 小学 書写 四年 小学 書写 五年 小学 書写 六年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運筆の様子を写真付きで示している。 ・筆から墨汁がしたたらないための説明等も写真付きで示している。 ・理科や社会科等、他教科とつながりのある題材を設定している。 ・文字の構成を色分けで示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字を整えて書くことができるよう、書くための原則を示している。 ・学習の始めと終わりで文字を書き比べるようにしている。 ・「レッツ・トライ」のコーナーでは、「はがき」「原稿用紙」「カード」を書く場面等、生活でも目的に応じて書写で学んだことを活用する内容について紹介している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを明確にするよう、めあてや振り返りのポイント等を掲載している。 ・6年生の「文字の旅」等、身の回りの文字に注目させる内容を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書いて伝え合おう」では、年賀状や学級新聞等、書写を生かした内容を掲載している。 ・1年生は学校生活、2年生は町の中、4年生は世界の挨拶を表す文字等、各学年の最初のページから生活との関連を意識づけている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」「ためし書き」「ここが大切」「まとめ書き」「生かそう」「ふり返ろう」という学習の流れで構成している。 ・書く姿勢について「こしびん」「あしぺた」「ぐうひとつ」の表現で、書くときの望ましい姿を表している。 ・書写で学んだことを他の学習や活動に生かせるよう、構成を工夫している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B5判である。 ・落ち着いた配色である。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさや行間、字間を適切に示している。 ・わかりやすいよう、「つくり」「へん」等を色分けしている。 ・写真や、子どものキャラクターの吹き出し等を掲載している。
38 光村	しょしゃ 一ねん しょしゃ 二年 書写 三年 書写 四年 書写 五年 書写 六年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすいよう「とめ」「まがり」「おれ」等を猫のイラストで表現している。 ・インタビューメモの書き方や新聞のレイアウトの仕方、記事の書き方等、日常活動と関連した活動を示している。 ・道具の扱い方を具体的に説明している。 ・硬筆と毛筆をバランスよく掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科等との関連を記号で示しており、横書きの書き方や新聞づくり等、普段の学習の目的に応じて活用できるよう工夫している。 ・学習を進めやすいよう、基礎的な学習の後に発展的な内容を示している。 ・手紙の書き方等の内容を中学年、高学年と系統的に引き継いで示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価のポイントを捉えやすくなるよう、学習の進め方や「たいせつ」を工夫している。 ・比較することを通して学習するポイントを理解できるよう、整った文字の例とそうでない例を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生では、漢字一文字で伝える「自分だけの一文字」を最後の単元とし、自分の心を相手に伝える活動を取り入れている。 ・人との関わりに関連するような、手紙文や招待状の教材を扱っている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ内容が一目で分かるような紙面構成にしている。 ・「考えよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返ろう」という学習過程で構成している。 ・「トン、スー、トン」という始筆、送筆、終筆のこたばを示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B5判である。 ・落ち着いたイラストと配色にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余白や行間を適切に示している。 ・大切なところに目が行きやすいよう配色を工夫している。 ・学習のポイントが視覚的に捉えやすいよう、図やイラストの配置を工夫している。

<p>116 日文</p>	<p>しょうがくしょや 一ねん 小学しょや 二年 小学書写 三年 小学書写 四年 小学書写 五年 小学書写 六年</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半紙の置き方、筆の持ち方、用具の片づけ方等を扱っている。 ・筆遣いについて、わかりやすいように実際の筆で書いた写真を使って示している。 ・文字の書き方やバランスについてのポイントを具体的に示している。 ・文字の歴史等についての情報を扱っている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考える」「確かめる」「生かす」という流れで学習活動を設定している。 ・「国語の広場」では、新聞づくりの課題等を設定し、書写で学んだ力を生かして考える活動を設定している。 ・学習のポイントを理解しやすいように、整っていない文字の例も示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写の学び方について、3年生以上では、はじめに「書写学習の進め方」を示している。 ・「生活と書写」のコーナーでは、日常生活に学習を生かすことができる内容を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生で「五・七・五」で自分の思いを表現する単元がある等、生活の中で自らの思いを表現できる活動を設定している。 ・児童の思考を促すようなキャラクターの言葉を示す等、書くだけにとどめないよう工夫している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「試し書きをする」「考える」「確かめる」「まとめ書きをする」「いかす」という学習過程で構成している。 ・はらい等の力の入れ方を絵でわかりやすく表現している。 ・「トン・スー・ピタ」という言葉で始筆、送筆、終筆のリズムを表している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B5判である。 ・表紙を鮮やかな配色にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動で紙面を色分けしている。 ・キャラクターを用いてポイントを示している。イラストや写真も見やすいように工夫している。 ・言葉遣いや文章を親しみやすいものにしてている。
---------------------------------	--	--	--	---

調査研究報告書 ⑤

社会

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会3 新しい社会4 新しい社会5 上 新しい社会5 下 新しい社会6 政治・ 国際編 新しい社会6 歴史 編	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年で問題解決の流れや調べ方が分かりやすくなるよう、見開きで「学習の進め方」を示している。 単元を見通す学習問題を設定し、各時間の活動に取り組み、学習問題を解決することで理解できるようにしている。 学習内容の理解に向け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の流れにしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いかす」のコーナーで、学習した事象の「今後の姿」を考える場を設けている。 「見方・考え方」を働かせることができるよう、キャラクターと囲みをつけてポイントを示している。 社会に目を向け、自分の考えをもてるようにするため、今日的な課題を取り上げている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習しやすくなるよう、各ページで何を学ぶのか、何に取り組むのかを明確にしている。 興味・関心をもって学習に取り組めるよう、今日的な課題を取り上げている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年の主な事例地として、福岡県福岡市、石川県金沢市、東京都三鷹市、兵庫県明石市を取り上げている。 4年の主な事例地として、宮城県、岡山県、栃木県、静岡県、愛媛県、熊本県を取り上げている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習過程について、単元ごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」と表示している。 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」を各ページの上部に記し、単元の流れと活動内容を示している。 児童相互の話し合いの場面があり、事象について多角的に考えられるような構成にしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年、4年はそれぞれ1冊、5年は上下2冊、6年は「政治・国際編」「歴史編」の2冊の構成にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読みやすくなるよう、文字の大きさ、行間、書体等に配慮している。 キャラクターを用い、吹き出し等で活動を促したり、説明したりしている。 「つかむ」と「まとめる」のページで、色と囲みを用いて学習問題を示している。 「つかむ」「調べる」「まとめる」等の言葉の背景色を、それぞれ統一した色で表記している。
17 教出	小学社会3 小学社会4 小学社会5 小学社会6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを理解できるよう、巻頭に「社会科の学習の進め方」を掲載している。 単元を見通す学習問題を設定し、各時間の活動に取り組み、学習問題を解決することで理解できるようにしている。 学習内容の理解に向け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「ひろげる」「つなげる」という流れにしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「社会科の学習の進め方」コーナーにおいて、「社会科の見方や考え方」を説明している。 「見方・考え方」を働かせている様子をキャラクターの言葉等で示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 見通しをもった学習に向け、「この時間の問い」「次につなげよう」を各見開きページに設定している。 「未来」を意識させるよう、単元名を工夫している。 「つなげる」コーナーで社会とのつながりを意識させる工夫を行っている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年の主な事例地として、神奈川県横浜市を取り上げている。4年の主な事例地として、福岡県、静岡県、神奈川県、徳島県、埼玉県を取り上げている。4年の伝統工業で箱根町の寄木細工を取り上げている。 6年の政治単元の「ひろげる」では、向ヶ丘遊園駅の地下通路を取り上げている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」などで問題解決的な学習の進め方を具体的に示している。 各時間の学習を見通せるよう「学習問題の設定→解決の見通し→この時間の問い→活動」という構成にしている。 問題の解決に向けて、次の学習に意識をつなげられるよう、各見開きページ最後に「次につなげよう」を示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年1冊の構成にしている。5年、6年についても2分冊ではなく、1冊にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読みやすくなるよう、書体は丸ゴシックとなっている。 課題について考えやすくなるよう、キャラクターの吹き出しで、学びの過程等を示している。 単元の冒頭と「まとめる」のページで、色と囲みを用いて学習問題を示している。 「学習の進め方を振り返ろう」では、「～できたかな。」というチェックリストを掲載している。
116 日文	小学社会 3年 小学社会 4年 小学社会 5年 小学社会 6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の流れ等を理解できるよう、巻頭の「この教科書の使い方」では学び方や構成等を記載している。 単元を見通す学習問題を設定し、各時間の活動に取り組み、学習問題を解決することで理解できるようにしている。 「学び方・調べ方コーナー」で、調べ方や表現の仕方などを説明している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「見方・考え方コーナー」では、社会的な見方・考え方を働かせて学習が進められるようにアドバイスを掲載している。 身近な事柄から、社会的な問題について考えられるような資料を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学んだことを生活に生かせるよう、「わたしたちの学びを生かそう」というコーナーを掲載している。 学習の流れについてイメージしやすいよう、子どもが学習している様子の写真を巻頭に掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年の主な事例地として、兵庫県姫路市、滋賀県栗東市、広島県福山市、埼玉県川越市を取り上げている。 4年の主な事例地として、岡山県、大分県、大阪府、東京都、長崎県、栃木県を、「先人の働き」の単元では、選挙で小田原市の二宮尊徳を取り上げている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習しやすいように、各見開きページに学習内容と関連した「学び方・調べ方コーナー」や「見方・考え方」のコーナー等を配置している。 学習問題の解決に向けて見通しをもてるよう、学習計画を立てるページを掲載している。 単元のまとめのページでは、学習問題の解決の参考になるよう、キャラクターの吹き出しで多様な考えを示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年1冊の構成にしている。5年、6年についても2分冊ではなく、1冊にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書体の表記とゴシック体による表記があり、本文や会話文は文字の大きさを変えて表記している。 キャラクターの会話文を生かして、学習問題の設定や解決の様子を説明している。 社会的な事象について見たり考えたりする時の視点を「空間」「時間」「関係」と示している。 見開きページで使われている資料に番号を振っている。

調査研究報告書 ⑤

地図

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい地図帳	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、3年生から地図の成り立ちが理解できるよう、範囲の少ない鳥瞰図→真上からの地図→地図というページを掲載している。 ・巻頭には、凡例や記号、方位や縮尺等を説明している「地図帳の使い方」を掲載している。 ・自然災害等の理解に向け、「日本の自然災害」を折込ページで掲載し、災害の写真やハザードマップ等を掲載している。 ・日本と世界の歴史の関わりを世界地図で示している「世界とのかかわり」を4ページ掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に応じて、関連付けて調べたり考えたりできるよう、全体図、主題図、地方図を工夫して配置している。 ・世界地図上に、歴史に登場する世界で活躍した人物を配置し、歴史的事象と地理的事象を関連付けて学習できるようにしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裏表紙には、地域の特色をイラストで分かりやすく伝え、興味を引き出すための世界地図や日本地図を掲載している。 ・イラストやキャラクターを随所に配置して、興味関心を持たせるようにしている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のページでは、その地域の動物や食、文化、世界遺産などを掲載し、その地域の特色を示し、異文化理解につながるようにしている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を使った学習に見通しをもって取り組めるよう、巻頭に「地図帳の使い方」の説明を掲載している。 ・地図にキャラクターを配置し、吹き出しで学習の手がかりを示し、多様な視点から考えられるようにしている。 ・学習と関連付けて理解が深まるよう、資料や統計のページを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判を採用している。 ・資料地図・統計表のページは18ページある。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見やすくするために、標高の色分けなどの色を濃く示している。 ・キャラクターを見開き地図で1～4ヶ所掲載している。 ・地図中の文字や記号を大きくし、フォントは丸ゴシックを使用している。都道府県名の表示は赤の太字で表現している。 ・索引の地名の前に世界遺産等のマークを表記している。
46 帝国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、3年生から地図の成り立ちが理解できるよう、「地図って何だろう」のページに、鳥瞰表現の絵図と平面の地図の違いを掲載している。 ・巻頭には、地図の意味や縮尺など、地図のきまりや活用の仕方を掲載している。 ・日本の国土の概要を理解できるよう、地名の少ない「広く見わたす地図」を掲載している。 ・災害と防災について、地図や写真、人々の取組の様子、防災マップ作り等を4ページ掲載している。 ・地図の読み取りの技能を高めるため、随所に「地図マスターへの道」を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に応じて地域の特色を考えられるように、「広く見わたす地図」や各種主題図等を掲載している。 ・地図から読み取れる情報を比較、関連付けたり、まとめたりすることを促す「地図マスターへの道」を随所に掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味関心を高めるため、その土地の特徴や産物などをイラストで紹介している。 ・「地図マスターへの道」では地図への興味関心を高めるようなクイズや、子どもが自分で取り組めるような問いかけ等を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のページでは、「集まれ！世界の子どもたち」のコーナーで、子どもや生活の様子を示し、異文化理解につながるようにしている。 ・「東京都とそのまわり」では川崎市を掲載し、水道、ダム、二ヶ領用水など学習に活用できる記載をしている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に見通しをもって取り組めるよう、巻頭には、地図帳の使い方等を順を追って説明している。 ・「広く見わたす地図」等、学年、学習内容に合わせたページの構成を行っている。 ・多様な視点から学習できるよう、ある地点を詳しく示す模式図を掲載している。 ・学習と関連付けて理解が深まるよう、資料図や統計表のページを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判を採用している。 ・資料地図・統計表のページは19ページある。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の高低が分かるよう、陰影表現を工夫するなど、色使い等でユニバーサルデザインの工夫をしている。 ・都道府県名や県庁所在地名を、とめ、はね、はらいが分かりやすいフォントで表記している。 ・索引の地名の前に世界遺産等のマークを表記している。 ・索引に歴史的事象についても記載している。

調査研究報告書 ⑤

算数

発行者の 番号略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
<p>2</p> <p>東書</p>	<p>あたらしい さんすう 1 ①</p> <p>さんすうのとびら</p> <p>あたらしい さんすう 1 ②</p> <p>さんすう だいすき!</p> <p>新しい算数 2上</p> <p>考えるって おもしろい!</p> <p>新しい算数 2下</p> <p>考えるって おもしろい!</p> <p>新しい算数 3上</p> <p>考えるっておもしろい!</p> <p>新しい算数 3下</p> <p>考えるっておもしろい!</p> <p>新しい算数 4上</p> <p>考えると見方が広がる!</p> <p>新しい算数 4下</p> <p>考えると見方が広がる!</p> <p>新しい算数 5上</p> <p>考えると見方が広がる!</p> <p>新しい算数 5下</p> <p>考えると見方が広がる!</p> <p>新しい算数 6</p> <p>数学へジャンプ!</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たしかめよう」では基礎基本の問題を抜っており、「学習の仕上げ」がその単元の学習を深めていけるようになっている。 ・興味を喚起できる写真を多く掲載している。 ・振り返って確認できるように巻末に公式を掲載している。 ・単元間の「おぼえているかな?」では、基礎的・基本的な概念や技能の定着のための復習問題を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業における数学的な見方・考え方が教科書を見てわかるように可視化している。 ・問題解決的な学習の構成になっている。 ・まとめの場面では、児童の吹き出しや発表の様子で確認ができるよう掲載している。 ・単元の終わりに「つないでいこう算数の目」というコーナーがあり、大切な見方・考え方をつなげていく手立てを示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からなくなった時に児童が既習事項を振り返られるように、振り返りコーナーを設けている。 ・デジタルコンテンツがあって、視覚的な理解がしやすいように配慮している。 ・今日の問題→学習のめあて→考えるときの手がかり→大切な見方・考え方→学習のまとめ→練習問題で学習が進む流れを示している。 ・学習の仕上げで内容をおさえるポイントが書かれていたり、戻るページが明記されていたり、振り返りやすいように内容を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の中から算数の課題を設定している。(4年「簡単な場合の割合」でよく伸びる包帯はどれか?など) ・「ほじゅうのもんだい」では、習熟の程度に応じた問題を示している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深い学びを通して資質・能力を高められるように、主体的・対話的な問題解決の過程を詳しく可視化した「今日の深い学び」を設定している。 ・「考える力をのばそう」の資料に現代社会の事例を記載している。 ・次の学習内容とリンクするように構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習がパターン化され取り組みやすい形になるように、問題が全てページの上部に掲載している。 ・重要な語句は、太文字・下線・波線などで示している。 ・1年生が大判の分冊となっていて、ブロックやおはじきなどの操作がしやすいように構成している。 ・1年生は①、②の分冊 ・2年生～5年生は上下分冊、 ・6年生は1冊 ・B5判(1年の①のみA4判) 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題が色分けして色使いを単色で掲載している。 ・字体や行間、書体に太文字、下線、色付けなどで表記している。 ・対応するページが分かりやすく、振り返られるように表記している。 ・ユニバーサルデザインを使用している。 ・大事な用語は太字、まとめは赤枠で囲み、示している。 ・同じ色の枠で「問題」と「まとめ」を示している。
<p>4</p> <p>大日本</p>	<p>たのしいさんすう 1ねん</p> <p>たのしい算数 2年</p> <p>たのしい算数 3年</p> <p>たのしい算数 4年</p> <p>たのしい算数 5年</p> <p>たのしい算数 6年</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線図のかき方がいつでも振り返られるように巻末に掲載している。 ・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けるために、巻末に補充問題「プラス・ワン」を設定している。 ・巻末に前学年までに学習した内容を記載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りとの学び合いを通して、数学的な思考力・判断力・表現力が育成できるように「じっくり深く、学びあおう」のコーナーを設定している。 ・問題の後に、「めあて」があり、何をしたらよいか示している。 ・模範(参考)となる考えをそのまま載せるのではなく、児童に付け足させたり、類推させたりするように工夫している。 ・考える際の手立てになるように、巻末にひらめきアイテム集(算数で使う大切な考え方)を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話や学び合いを通して学習を進めていくようなページを掲載している。 ・前の学年の学習にかえて確認することができるように、目次に学習内容のつながりを掲載している。 ・見方・考え方の手がかりとして、「同じように考える」「ひろげる」を設定している。 ・「問題文→めあて→発見」と提示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数を生かして仕事をされている方へのインタビューとして、「算数お仕事インタビュー」というページを設定している。 ・復習しやすいように前学年のまとめが巻末にある、 ・個に応じた指導ができるように、適用問題や補充問題では問題番号に色付けし掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめにノートの書き方や話し方、聞き方の例を掲載している。 ・系統が目次にはっきり書かれていて、どこの単元につながるの分かりやすくするため、前の学年→当該学年→次の学年と3年のサイクルで構成している。 ・次の学年に学習する内容にも触れられている。 ・児童が興味をもてるよう、設定が実生活に即している。 ・児童の問いの連続により授業が展開し、数学的な活動が継続されるように構成を工夫している。 ・学習する内容を捉え、知識・技能を身に付けられるよう、全時間に学習のめあてを設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間を見通しやすくするために、各学年の1年分の単元が1冊にまとまっている。 ・各学年とも1冊のため、重くなっている。 ・アニメーションや動画で学べるデジタルコンテンツがある。 ・全学年1冊 ・B5判 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次に系統を掲載している。 ・インデックスと領域の色が統一されている。 ・領域別で色を変え掲載している。 ・考える際にイメージを持ちやすくするため、実際の児童が活動している写真を多く掲載している。

発行者の 番号略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学図	みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん上 みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん下 みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上 みんなと学ぶ 小学校 算数 2年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上 みんなと学ぶ 小学校 算数 3年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 4年上 みんなと学ぶ 小学校 算数 4年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 5年上 みんなと学ぶ 小学校 算数 5年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 中学校へのかけ橋	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習内容の定着のため、繰り返し学習させる内容を示している。 学習をまとめるとともに、次の学年につなげることができるように「ふりかえろうつなげよう」の学習を設定している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図解が多く、巻頭に写真やポイントなど興味関心をもたせる工夫がある。 教科書の途中で、「できるようになったよ」の復習ページを示している。 教科書の脇に「見方・考え方」という吹き出しがあり、児童が考える手立てを示している。 繰り返し用いる考え方を常に意識しやすいように、「見方・考え方」を9つのモンスターで示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に学べるように、イラストや4コマ漫画などで単元のはじめの問題を提示している。 3つの学び方(主体的・対話的・深い学び)で流れるように学習を構成している。 6年生の最後に、中学生への架け橋になるような別冊を準備している。 その単元で学習したことをまとめ、さらに日常生活に生かそうという児童の学びの手助けとなるよう、「活動！アクティブ」「ふりかえろうつなげよう」「4マス関係表がわかりやすいね(6年)」等を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学との繋がりを見通せる内容を設定している。 巻末の「ほじゅう問題」では本文の内容の習熟を確実にするための問題が掲載されており、一人一人の児童の実態や興味関心に応じて選択的にできるよう掲載している。 「できるようになったこと」と「まなびをいかそう」に、習熟の程度に応じた問題を示している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」を既習として生かし、扉ページで場面のイラストから生まれた疑問を「めあて」として、問題を解決していくという展開で構成している。 「しりたいな」「やってみたいな」「あらわしたいな」「おはなしたいな」などの活動内容を示している。 単元のまとめは「できるようになったこと」が記載されている。 巻末の練習問題では、基礎から応用問題まですべてが十分に掲載している。 書き込めるスペースが多く「？を発見」「解決したいな」「やってみたいな」「たしかめたいな」などの言葉がページの端に小見出しのように書いてあり、学習の流れが分かりやすく構成している。 作図のしかたの動画を見ることができ二次元コードを示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生～5年生は上下分冊 6年は1冊(別冊あり) AB判 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次がめあてとつながる表現にしている。 字体やフォントを変えていて、大切なポイントや活動の内容を示している。 大問、課題などが色の違う線で囲っており、一時間分の学習内容を緑の線で示している。 6年間で身につけたい見方・考え方をキャラクター化している。 グラフでは色だけでなく、模様も変えるなどユニバーサルデザインに配慮して示している。
17 教出	しょうがくさんすう1 小学算数2上 小学算数2下 小学算数3上 小学算数3下 小学算数4上 小学算数4下 小学算数5 小学算数6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「はてな」、「なるほど」、「だったら」の吹き出しを掲載している。 活用場面では、身近な問題を算数の問題としている。 巻末にいつでも振り返られるように数直線図のかき方を掲載している。また用語だけでなく、数学的な見方・考え方に関する事項の振り返りを示している。 「まとめ」に掲載している漫画で、学習内容を理解できるような工夫を示している。 巻末に、前年度までに学習した内容のうち重要と思われる言葉が簡潔に見やすく掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「？」や「なるほど」など、注目すべきポイントが示している。 1年生からノートの使い方が具体的に示している。学習を振り返りやすいノートの書き方を示している。 巻末に、これまでの学年で学習したことを学年と共に表記しており、既習の学習を振り返りやすく示している。 課題の文と一緒に挿絵や解き方(考えかた)のヒントとなる式等が掲載している。 学びの連続性を意識させる内容(構成)になっている。かけ算の終わりに「割り算だったら・・・」が、整数の終わりに「分数だったら・・・」など児童の思考がスムーズにつながるよう工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 系統を意識して学んだり、わからない箇所をすぐに参照できるように、既習の内容を巻末にまとめて示し、知識・技能を学年を超えてつなげられるように構成している。 既習事項をどのように生かすか、何を根拠にしているかを示している。 問い→自力思考→集団思考→まとめ→発展と学びの形で示している。 単元の途中で「センスアップ」や「よくあるまちがい」「算数メモ」等、発展問題を扱ったり見方・考え方を広げたりするコーナーを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が興味関心をもちやすいように、社会的状況を反映した題材を取り上げている。 単元末にまとめの問題や単元間に解答ありの復習問題を示している。 習熟の程度に応じた問題が豊富にあり、巻末にはステップアップ算数(解答あり)を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「！？だったら」というポイントがあり、前の学習から新たな問いが生まれるように工夫している。 大きな問題の後に、解くための段階的な問題があるため、課題解決に向けての考え方が分かりやすい構成になっている。 巻末に自主学習用の問題ページを示している。 「数学へのとびら」の項目があり、中学校への接続が意識できる場面を示している。 学びリンクと関連して使えば、デジタル教科書のようにインターネット上で扱うことができる構成にしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末や単元末の練習問題も適量で、四コマ漫画や図解も掲載している。 識別しやすい配色を用いるとともに、図版に色名を付記して色調以外でも区別できるように配慮している。 2年生～4年生は上下分冊 1年生、5年生、6年生は1冊 B5判 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の太さに明確な違いがあり、見やすい。 デジタルコンテンツが使いやすいように、学びのリンクができる場所にマークを示している。 ユニバーサルデザインの視点での配慮している。 児童の考えが板書のように見やすい。 語尾が「ですます」調であり、問題は緑色、まとめはオレンジで示している。

発行者の 番号略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	わくわくさんすう 1 わくわく算数 2 上 わくわく算数 2 下 わくわく算数 3 上 わくわく算数 3 下 わくわく算数 4 上 わくわく算数 4 下 わくわく算数 5 わくわく算数 6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りから課題を探ることができるように、生活の場面の写真を掲載している。 本時の内容をわかりやすくするため毎時間ごとに「めあて」が書かれている。 用語、手順の一覧が巻末にあり、活用のページがまとめて示している。 「ノートの書き方」が児童のノートと同じ方眼で示している。 「準備の問題」はイラスト入りで身近なものが使われており、単元に入る前に掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数式の意味を思考させる課題を掲載している。 学びを生かす課題の種類が豊富であり、説明をさせる課題や読み取りの課題などを掲載している。 動物の走る速度など、身近なものを課題として掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発展的な問題に☆マークを示している。 問いが書かれていないページもあるが、ヒントとなる児童のつぶやきを示している。 「学びの芽生え」のページを示している。 新しい単元に入る前に、どの学年の学習を復習すればよいか掲載している。 楽しく意欲をもって臨める「わくわく算数学習」という問題がある。興味がわくイラストが多い。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6年生の「ひろがる算数」では、いろいろな職業の人の話を掲載している。 「学びのサポート」という問題があり、答えがついていて練習することができるように示している。 神奈川県に関連するようなマラソン、湘南ひらつか七夕まつりの写真などが掲載されており、算数をより身近に感じることができるように示している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元名から始めるのではなく、「単元のとびら」を設定し、実際の授業のように、問いかけや場面の説明を最初に示している。 学習内容のデジタル教科書ページをダウンロードできるように、二次元コードを示している。 見通しを持ちやすくするため、問題文とそれに対するめあて(問い)が設定されている。 穴埋めの四角が小さくて、書き込みづらいところもある。 各単元の前の準備学習で日常的にあるもの(角度だったら扇を使う等)を取り扱っている練習問題を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末に復習とふりかえりがある。「復習・準備」、「算数資料集」など資料が多い分、内容も多い。 2年生～4年生は上下分冊 1年生、5年生、6年生は1冊 B5判 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインに配慮した字体が使われており、学習の理解に支障が出ないよう配慮している。 字体をすべて統一し、色分けまたは囲みで区別し掲載している。 配色がシンプルである。
116 日文	しょうがくさんすう 1ね ん上 しょうがくさんすう 1ね ん下 小学算数 2 年上 小学算数 2 年下 小学算数 3 年上 小学算数 3 年下 小学算数 4 年上 小学算数 4 年下 小学算数 5 年上 小学算数 5 年下 小学算数 6 年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習内容を適用する場面では鍵マークがあり、既習事項と関連付けをしている。 巻頭、巻末に既習がある。また、数学的な考え方に着目するようなページがある。 一人一人の児童の実態や興味・関心に応じて選択できるように、単元内容の習熟を確実にするための問題を設定している。 前年までに学習したことをまとめて掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題把握、自力解決、集団思考、まとめという4つの学習スタイルで構成している。 お話、絵、図、ことば、式を使って考えたことを表現するという活動を重視している。 テープ図や数直線図の読み方、かき方について、系統的に示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい単元に入る前に、既習の内容の確認ができるようになっている。 次の学習のためのまとめのページには、何年生のどこで習ったものなのかを分かるように示している。 対話を通して多様な考えが出る様子が示している。 目次で学年のつながりが分かる。単元前に既習事項を確認するための問題があり、何年生の学習からつながっているのかも掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際の生活場面に結びつく学習活動を示している。 児童の理解や習熟の程度に応じた発展的な学習内容が掲載している。 巻末に3段階で練習問題が用意されており、自分の習熟の程度に合わせて学習が進められるように示している。 児童が取り組みやすいよう習熟の程度を色分けして、掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> URLにアクセスすると、図形やグラフなどアニメーションなどで、学習内容の補助的資料を示している。 「算数マイトライ」では、自分で選択して練習問題に取り組めるように構成している。 「次の学習のために」で既習を確認できる。問題解決の流れを巻末の下敷きにまとめ、常に学習の流れを振り返ることができるようにしている。 適用問題では、問題ごとに関連する既習事項を記載している。「たしかめポイント」、「じっくりチェック」など、実践を重ねることを示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習展開例やノート例を掲載している。 穴埋め式の所が多いため大切なポイントを押さえることができ、どこが大切なのか示している。 1年生～5年生は上下分冊 6年生は1冊 B5判 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ポイントになる部分はすべて丸ゴシック体でまとめている。 各ページ右側に着眼点ガイドがある。 図や絵がシンプルで字が大きい。 「まとめ」と「めあて」が同じマークで分かりやすい。 カラーユニバーサルデザインを採用している。

調査研究報告書 ⑤

理科

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい理科 3 新しい理科 4 新しい理科 5 新しい理科 6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験の手順を文章やイラスト、観察、実験で使用する道具の写真で順序立てて示している。 ・観察、実験器具の説明を巻末にまとめている。 ・基礎的・基本的な事項を習得することができるように、各単元末に、学習を振り返って確かめる「たしかめよう」を設けている。 ・6年のプログラミングは4ページで、ソニーの「MESH」と無料のビジュアルプログラミング環境「Scratch(スクラッチ)」の教材やソフトを写真で紹介している。また、Scratchベースの東書のソフトを二次元コードで使えるようにしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想や仮説の設定における児童の思考の流れを、フローチャートの形で示している。 ・「理科のミカタ」で児童が領域ごとに主として働かせる、理科の見方・考え方を例示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入の「レッツスタート」では、2枚の写真を比較したり、漫画を読んで登場人物が感じた疑問を共有したりして、問題を見出すための着目点を示している。 ・暮らしの中から学習問題につながる疑問を探せるような導入にしている。 ・既習の内容や生活経験を基に、「根拠のある予想や仮説」が発想できるように、児童の思考の流れに沿った先生の声かけ、児童の反応を例示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の最後に「理科のひろば」があり、学びを生活に生かす内容や興味をひくような内容、様々な職業の人の話を紹介し、理科を学ぶ有用感につなげている。 ・導入の「レッツスタート」で生まれた疑問を基に学習問題を立て、学びの意義につなげている。 	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年は「天気」「植物の発芽」「メダカの誕生」「植物の実や種子」「台風」「流れる水のはたらき」「ものの溶け方」「人の誕生」「電磁石」「ふりこ」の順で掲載している。 ・単元の導入は漫画風で、学びのつながりに気付かせる構成にしている。また、単元の中でも「学んだことを使おう」として、学年・単元間のつながりを意識させようとしている。 ・自分の予想や考えを整理し、伝え合ったり、多様な考えをもとに学びを深め合ったりする対話の場面を設けている。 ・自分の成長を振り返らせるために「学ぶ前のわたし」「学んだ後のわたし」を単元のはじめと終わりに設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下半分や下三分の一の大きさのページが挟み込み、昆虫の成長過程の後半を見せないようにしている。 ・左右見開きを、右に90度回転して、上下見開きで見るページを掲載している。 ・書き込みができるワークシートのようなページを設けている。 ・3年「昆虫切紙」、4年「星座カード」、5年「実物大の胎児の図」、6年「人体模型」の付録を巻末に設けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字は原則黒で、大小や太さの違いで区別をつけている。 ・重要語句はアンダーライン入りの太字にしている。 ・イラストはポップ調、文字は丸ゴシックである。 ・児童の吹き出しは、実際につぶやきそうな話し言葉で示している。 ・A4判にしたため、「情報量を多くする」「字を大きくして見やすくする」「空白を活用する」「実験器具の写真やイラストを多くする」などの工夫を可能にしている。
4 大日本	たのしい理科3年 たのしい理科4年 たのしい理科5年 たのしい理科6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験器具の扱い方や使い方、栽培、飼育の方法は、学習箇所に掲載しているが、複数回使用する器具や前年度までに使用した器具の使い方は「使い方を覚えよう」で巻末にまとめて掲載し、振り返ることができるようにしている。 ・単元末に知識を確認する「確かめよう」と知識を活用する「学んだことを生かそう」を掲載している。 ・6年のプログラミングは4ページで、主にソニーの「MESH」を教材とした実験例を紹介しているが、無料のビジュアルプログラミング環境「Scratch(スクラッチ)」等の教材やソフトも紹介している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問題を見つける」「問題」「予想」「計画」「観察(実験)」「結果」「考察」「結論」の問題解決のプロセスを色分けし、統一した色で見出しとして左側に配置している。さらに学年ごとに重点を置くプロセスに★をつけて強調している。 ・理科における問題解決で、ノートをどのように書けばよいかの参考として、巻末にノートの例を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元はじめの見開きを「問題を見つける」ページとして設定している。 ・既習内容や生活経験を基に考え、学習問題を作れるような写真の掲載等の工夫を掲載している。 ・観察の視点や書き方のヒントになるように、観察カードの例を複数示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの成果を実感し、日常生活での活用につなげるために、単元の終わりの「たしかめよう」や「学んだことを生かそう」の中で、自分の言葉で説明する問いを設けている。 ・理科の有用性を感じられるようにするために、コラム「りかのたまてばこ」を大単元の終わりだけでなく、途中の小単元の終わりにも設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年は「天気」「植物の発芽」「メダカの誕生」「台風」「植物の実や種子」「流れる水のはたらき」「ものの溶け方」「ふりこ」「電磁石」「人の誕生」の順で掲載している。 ・問題解決の過程を「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」の3つに分けて構成している。そして、ページの左上に意識させるための見出しを掲載している。 ・主体的な問題解決を促すため、問題・予想・実験のページと、結果、考察のページが同じ見開きにならないように構成している。 ・予想の場面では吹き出しのあるイラストで対話の例を示すとともに対話を促している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左右見開きを、右に90度回転して、上下見開きで見るページを掲載している。 ・3年「しぜんのかんさつ」、5年「災害に備えようブック」の付録を巻末に設けている。 ・3年に、巻末にあるシールを使って学ぶ単元を4つ掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真は、学習意欲を喚起できるように、通常では見ることの難しい自然の姿や、日常生活でよく目にする身近なものなどを掲載している。 ・「問題」は緑、「予想」「計画」「実験」「結果」は黄、「考察」「結論」は青の項目にしており、問題解決の道筋に沿って色分けしている。 ・特別支援やユニバーサルデザインに配慮した表記にしている。 ・文字の大きさやフォントを内容によって変えることでアクセントを付けている。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学図	みんなと学ぶ 小学校理科 3年 みんなと学ぶ 小学校理科 4年 みんなと学ぶ 小学校理科 5年 みんなと学ぶ 小学校理科 6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験の手順については、児童自らが活動を行えるように、観察、実験器具を用意したらチェックできる欄を設けるなどの配慮をしている。 観察、実験器具の操作が動画で見られる二次元コードを本文中に掲載している。 手順を示す文と、観察の視点や配慮、注意などを分けて表現している。 単元末にある「まとめよう」には短文や選択肢で答える形式と理由を説明する形式の問題を掲載している。 6年のプログラミングは6ページで、独自のソフトが二次元コードで使えるようになっており、教科書の流れに沿って、センサー等の機材がなくても体験できるようにしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「科学の芽を育てよう」で問題解決の流れを示すとともに、本文中でも意識できるように、ページ左及びページ下に、問題解決のどの場面かを明示している。 見方・考え方を働かせながら学習できるように、巻頭で領域ごとの見方・考え方を児童に分かるよう活動と合わせて示したり、本文中で具体的な場所で示したりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しを持たせるために、単元の導入ページで「この単元で行うこと」の説明を掲載している。 単元扉の左端にすべての単元の見出しの記載があり、既習や今後の学習が見通せるようにしている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表紙に科学者の顔写真、裏表紙に「科学者の言葉」、本文中に発見や発明などの科学史に関わる資料を掲載し、科学の有用性を伝えている。 興味・関心を高めたり、身の回りの生活との関連を示したりする資料を、本文に関連のある所に配置している。 	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5年は「ふりこ」「植物の発芽」「メダカの誕生」「台風」「植物の実や種子」「天気」「流れる水のはたらき」「川と災害」「電磁石」「冬から春へ」「ものの溶け方」「人の誕生」の順で掲載している。 解決すべき具体的な問題を見つける「問題を見つけよう」の場面に「話し合い」が設定されており、対話の例を吹き出しで記載している。 単元末の「できるようになった」の振り返りで成長に気付かせようとしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験の予想や結果を直接書き込むページを掲載している。 巻末に付録はないが、「見つける」「伝える、聞く」「観察」「記録」「調べる」「まとめ(3年のみ)」「道具の使い方」を説明した「考えよう調べよう」を掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学者の写真や資料画など、年代が古いものも、実物を忠実に再現しようとしている。 文字のフォントや太さ、大きさを変えたり、文を囲んで見やすくしたりするなど、レイアウト・表記・色の扱いを工夫している。 見やすくするために実験上の注意点を赤字で示している。 写真で何に注目するかわかりにくいところには、見るポイントに矢印を入れて示している。 領域毎にエネルギーはオレンジ、粒子は青、生命はピンク、地球は緑と、見出しや項目の色を分けている。
17 教出	みらいをひらく 小学理科 3 未来をひらく 小学理科 4 未来をひらく 小学理科 5 未来をひらく 小学理科 6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に、その学年の観察、実験で注意すべき主な具体事項を「理科の安全の手引き」として掲載し、いつでも安全に留意して学習を進めることができるよう工夫している。 何のために気を付けるかも含めて実験の注意を記載している。 学習を通して習得すべき基礎的・基本的な知識については「結論」の見出しを付けるとともに、背景をピンク色にして示し、児童が習得できるようにしている。 6年のプログラミングは2ページで、「チャレンジ」として発展的に扱い、無料のビジュアルプログラミング環境「Scratch(スクラッチ)」の教材やソフトを紹介している。 4年生金属の膨張の実験では、日常的に使わない特別な器具ではなく、金属の棒で実験している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「見つけよう」「問題」「予想しよう」「計画しよう」「実験等」「結果」「結果から考えよう」「結論」の問題解決の流れを大切にしている。 巻頭に「大切にしたい言葉」「理科の学び方」「ノートのとり方」があり、学習を進めやすい。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元扉の「学習のつながり」で既習事項を示しているため、既習事項を使いながら考えることができ、主体性につながる。 単元の導入の「見つけよう」では児童の直接体験を重視し、それをもとに「願い」や「疑問」を持てるようにしている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元末に「チャレンジ」「科学のまど」「資料」、巻末に「広がる科学の世界」などで学習内容と関連した実生活の事象を紹介し、学びの価値を実感できるように工夫している。 4年生では、かわさき宙と緑の科学館にあるメガスターの開発者である大平貴之氏のメッセージ「好きなものに熱中しよう」を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5年は「天気」「発芽」「メダカの誕生」「花のつくり」「台風」「花から実へ」「ふりこ」「流れる水と土地」「川と災害」「電流が生み出す力」「人の誕生」「受けつがれる生命」「物の溶け方」の順で掲載している。 学び方の参考として、教師と児童が考えを出し合って話し合う場面などを紹介している。 「結果から考えよう」では自分の予想が確かめられたかを振り返るように促している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6年の「人の体の中の様子」で、臓器の位置関係、大きさ、血管の様子を捉えやすくするため、折りたたみ式の紙面で大きく表現するとともに、人間の体の表裏と紙面の表裏を合わせた図にしている。 3年「生き物ミニ図鑑」、4年「星座早見」の付録を巻末に設けている。 「資料調べ」のページには、内容にあった外部のサイトに接続できる二次元コードを掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習前に教科書を見て理解してしまうと、児童が自分で思考しないまま学習が進んでしまわないか心配だが、問題解決の流れを丁寧に記載している。 「結論」がまとめではなく、「問題」に正対する答えとして出され、同色の枠で記載している。 本文や読み物は親しみやすい敬体で、児童が主体的に取り組む観察、実験などは常体で記述し、平易で簡潔、正確に表現している。 分かりやすくなるように、重要語句は黒の太字に黄色のマーカーを付けている。 安全に対する配慮が必要な箇所には赤背景の「注意マーク」とともに注意文、けがや火傷などのおそれがある箇所には赤背景に黄色の「危険マーク」とともに警告文を記している。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
26 信教	楽しい理科 3年 楽しい理科 4年 楽しい理科 5年 楽しい理科 6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順や方法、的確な操作や測定のポイントなどを、手順に対応した説明の文や写真・絵図などで示している。 ・単元末の「まとめよう」で、まとめ方の例示をしている。 ・6年のプログラミングは6ページで、無料のビジュアルプログラミング環境「Scratch(スクラッチ)」の教材やソフトが写真で紹介している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「理科の学習の進め方」で「自然とふれ合おう」「問題を見つけよう」「予想をもと」「予想のたしかめ方を考えよう」「たしかめよう」「結果を記録しよう」「いえることいえないことを考えよう」「まとめよう」という問題解決の流れと、そのポイントを示している。本文中にそれらの見出しの記載はしていない。 ・「問題」－「実験」－「資料」を繰り返す構成としている。 ・問題から実験にいたるまでが簡潔に示され、思考の流れが分かりやすい。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童たちにとって身近で関心の高い事物・現象の中から素材を選ぶことで、主体的に追究することができ、基礎的・基本的な事項の理解と定着が図れるようにしている。 ・学習の導入のきっかけとして使えるように、日常生活や学習内容をイメージできる写真を単元扉に掲載している。 ・資料が豊富で、理科に関心がもてるきっかけが単元ごとに複数、ちりばめられている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しらべてみよう」や「やってみよう」で、その単元で学習した内容を生かして行う、観察や実験、ものづくりを紹介している。内容的にも、児童にとって身近で興味・関心のある自然の事物・現象や、中学での学習につながるもので、日常生活とのかかわりを深められるようにしている。 ・長野の地域写真を多く掲載し、地域色が豊かである。 	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年は「天気」「種子の発芽」「植物の成長」「メダカの誕生」「花のつくりと実」「人の誕生」「台風」「流れる水のはたらき」「電磁石」「ものの溶け方」「ふりこ」の順に掲載している。 ・信州の四季を意識し、春・夏・秋・冬に分けて単元を進めているため、単元の入替えが必要になる。 ・生活経験が元となり、学習へと結びつけていくような内容構成にしている。 ・単元によって問題、予想、実験などの記しているレイアウトを変えている。 ・協働的に学ぶ場面や対話を通して学習を進めていく場面を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・彩度を落とした落ち着いた色合いで、余白を適宜設ける等、シンプルなつくりになっている。 ・問題の解決に向けて、スモールステップで実験1、2…と積み上げていくので、実験の数が多い構成にしている。 ・全学年、付録は掲載していない。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元で行う活動や追究の見通しがもてるように、児童が実際に活動している写真やその様子を絵図で示している。 ・気象のような直接観察することが難しい単元でも効果的な学習が行えるように、写真・絵図の活用の仕方を工夫している。 ・重要語句は黒の太字のゴシックでフォントも変えて目立たせている。
61 啓林館	わくわく理科 3 わくわく理科 4 わくわく理科 5 わくわく理科 6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ正確に観察・実験を行えるように、観察・実験の手順を、細かなステップに分けて示し、操作をイメージできる写真やイラストを手順ごとに複数掲載している。 ・巻末の「資料室」に器具の使い方を掲載している。また、グラフの書き方、読み取り方等があり、算数との関連を図っている。 ・学習したことを見直せるように単元の終わりに「まとめノート」を掲載している。 ・6年のプログラミングは4ページで、器具を使わなくても、巻末付録のシートとシールで対応できるようにしている。コンピュータを使う例としては無料のビジュアルプログラミング環境「Scratch(スクラッチ)」の教材を写真で紹介している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題発見の場面や予想や計画、考察の場面で、話し合う活動を設定し、思考力・判断力・表現力等の育成を図るようにしている。 ・巻頭で「見つける」「調べる」「振り返る」の流れを示している。 ・「調べる」の問題解決を8つのステップに分けてその見出しをページの端に示し、線をつないで学習の流れが分かるようにしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習や生活経験から単元に入れるような写真を掲載している。 ・二次元コードで実験動画や自主学習教材、関連する単元の内容などが表示され、タブレット等で児童が確認できる。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「つなげよう」や単元内の「理科の広場」では、学習したことが生活のどんなところに活用しているのかを紹介し、有用性を感じられるようにしている。 ・各所に日常に関係のある事象を取り上げており、学んだことを日常につなげていけるような内容としている。 	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年は「花のつくり」「植物の発芽」「メダカの誕生」「人の誕生」「台風」「花から実」「天気」「流れる水のはたらき」「ふりこ」「ものの溶け方」「電磁石」の順に掲載している。 ・「問題」の前に「問題をつかもう」を適宜入れ、児童同士の話し合いから「問題」を見付けられるようにしている。 ・巻末の「話し合いのしかた」では、話すときと聞くときの要点を例示している。 ・既習とつなぐ、「思い出してみよう」を単元の導入だけでなく、単元の中にも記載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年「植物と昆虫の探検カード」、5年「雲の観察カード」、6年「月の満ち欠けモデル」と「プログラミングのシートとシール」の付録を巻末に設けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見やすくするために、写真やイラスト、文字のバランスに配慮しながら、色分けや枠で囲むなどの工夫をしている。 ・実験上の注意点は、赤字で目立つようにしている。 ・問題解決活動のプロセスを意識しやすくさせるために、フォントの大きさや太さに変化を付けている。 ・重要語句は太字でフォントもゴシックに変えている。

調査研究報告書 ⑤

生活

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	どきどき わく わく あたらしい せい いかつ 上 あしたへ ジャ ンプ 新しい 生活 下	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録のとり方を掲載している。 ・ポケット図鑑を掲載している。 ・おもちゃの作り方や野菜の育て方を掲載している。 ・学習のページに「約束」「手洗い」「道具」等を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考の過程を掲載している。 ・他教科で身に付けた資質・能力を生かす場面を掲載している。 ・中学年との接続を意識した記述を掲載している。 ・生活科の資質・能力を引き出すための工夫をしている。 ・多様な方法での表現活動を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作り方や遊び方を、イラストを中心に掲載している。 ・スタートカリキュラムを掲載している。 ・児童がプレゼンテーションをしている場面を掲載している。 ・「何を○○かな」「どんな○○かな」等の児童の言葉や吹き出しを掲載している。 ・対話や発表等の場面を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性を考慮し、車椅子の児童のイラスト等を掲載している。 ・友達同士が関わる様子のイラストや写真を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童のつぶやきを掲載している。 ・学びのプロセスを掲載している。 ・生活科で育成すべき資質・能力が児童の吹き出しから分かる工夫をしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真を多く掲載している。 ・A4判にしている、他の教科書より大きい作りになっている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字や片仮名ヘルビを付けている。 ・書体はゴシック体で、横書き表記にしている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・淡い色合いの表記にしている。 ・単元名は定位置に示している。
4 大日本	たのしい せい かつ 上 なかよし たのしい せい かつ 下 はっけん	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「がくしゅうどうぐばこ」の内容を充実させている。 ・学習に関係する言葉を紹介する等、他教科との関連を図っている。 ・具体的なアイテムやおもちゃの作り方を詳しく掲載している。 ・繰り返しの学習を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比べる活動をしやすくするための工夫を掲載している。 ・ワークシートの例を掲載している。 ・「学校と生活」を中心に、季節ごとの学校や遊び場の変化を掲載している。 ・複数の発表方法を掲載している。 ・「○○があるのかな」等、児童の気付きを促す言葉を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に身近な題材から導入をするようにしている。 ・幼児教育からの学びがつながるように、スタートカリキュラムを掲載している。 ・絵や写真を多く取り入れ、児童の興味をひく工夫をしている。 ・活動やめあて等を簡潔に記載している。 ・「はっけん」等、キーワードを一貫して掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性を考慮し、外国のイラストを掲載している。 ・児童が一人で読み進めても理解できるようにしている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きなイラスト、写真を掲載し、自分の意見や感じたことを出しやすいように構成している。 ・単元のまとめ方を多様に掲載している。 ・学習の流れがわかりやすい構成にしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙に立体装飾をしている。 ・大きさはAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストを掲載している。 ・字の大きさに配慮していて、またカタカナにもルビを付けている。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・分かち書きをする等、見やすい工夫をしている。 ・カラーユニバーサルデザインを採用している。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他教科で身に付けた資質・能力を生かす場面を掲載している。 二次元コードでおもちゃの作り方等を動画で見ることができるようにしている。 図鑑のように昆虫や植物のイラストを掲載している。 ものしりノート、学び方図鑑等資料的なページを掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の活動決定の場面や対話の場면을重視して掲載している。 他教科(国語・算数・図工)との関連付けを掲載している。 具体的なワークシートや、児童の姿を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> どきどき→いきいき→ふむふむ→にこにこ、という学習過程にしている。 児童同士の対話や発信を掲載している。 1年生のスタートカリキュラムを掲載している。 中学年の学習や総合的な学習の時間との関連を図っている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習への意欲や見通しをもてるように、多くの活動例を掲載している。 多様性を考慮し、幼児との交流を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートや活動場面の写真を掲載している。 対話を通した気付きを掲載し、問題解決学習へと導くように構成している。 目次等で、どの時期にどの学習をするかを計画的に構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 題名を大きく左上に記載している。 大きさはA4変形判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 横書きで明朝体、ゴシック体、教科書体を使い分けている。 上巻ではノートを「のうと」と表記している。 上下巻共通したキャラクターを使用している。 大きな写真、図、イラストを中心に構成している。
17 教出	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろ がれ	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊び方、育て方、観察の仕方を掲載している。 巻末の「学びのポケット」で知識や技能を掲載している。 「できるかな」「ひんと」「やくそく」のコーナーを掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他教科との関連や中学年(社会・理科)との接続を掲載している。 対象を見る際の視点や、次の活動への問いの例を掲載している。 児童の気付きを促す言葉を掲載している。 児童の気付きの質を高めるための活動を掲載している。 ワークや作品等、発達段階に応じた表現方法を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園や保育園、中学年との連携を図っている。 単元の中にも見出しがあり、学習の流れを把握できるようにしている。 児童の興味・関心が高まるような写真やイラストを掲載している。 楽しい単元名で児童が主体的に活動できるよう工夫している。 「まんぞくはしご」で活動を振り返られるようにするとともに、さらなる学びにつなげるような工夫をしている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童のイラストを掲載している。 地域に根差した活動を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の言葉の吹き出しを掲載している。 見通しをもちやすいように課題→実践→振り返りの構成にしている。 児童たちが活動におけるめあてを意識できるように構成している。 単元のつながりが分かりやすいようにインデックスをつけている。 見開きページに学習のねらいや関連教科を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きさはAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴシック(ポップ)のような字体を使用している。 見出しが大きく、色分けしている。 言葉の間にスペースを入れている。 写真と絵のバランスを工夫している。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
26 信教	せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかぜ	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサガオを栽培する単元では、種を植えてから花が咲く過程を写真や文章で詳しく掲載している。 ・七草や節分等、季節の行事、食べ物について掲載している。 ・きり絵、写真等、様々な表し方を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童たちの実際の作品を掲載している。 ・言葉や絵、作文、身体表現、歌等、多様な表現方法により、自分の思いを伝え合う活動を掲載している。 ・対象を生かした遊びを豊富に掲載している。 ・発表したり伝えあったりする活動例を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターが思ったことや考えたことを提示し、視点や活動を示している。 ・吹き出しや写真、挿絵を掲載している。 ・児童の意欲を引き出すために大きな写真を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信州地方での学習を想定した構成にしている。 ・友達、家族、地域の方々との交流を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の生活や成長が自覚できるように振り返りの場面を掲載している。 ・児童同士が交流し、考え合いながら学習を進めていく場面を多く掲載している。 ・体験を促すようなイラストや写真を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページによっては、ページを開くと4ページの内容を一目で見られる工夫をしている。 ・縦書きで右開きにしている。 ・大きさはAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元内容ごとに単元名の色を変えてある。(青→生き物、植物/緑→季節等) ・文字の大きさ、字間、行間等に配慮している。 ・カラーユニバーサルデザインを採用している。
38 光村	せいかつ 上 まいにち あた らしい せいかつ 下 だいすき みつ けた	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察の仕方やスケッチの仕方のポイントを分かりやすくするために、観察カードの記入例を掲載している。 ・インタビューの仕方を掲載している。 ・おもちゃ作りの学習では、素材遊びを多く紹介している。遊びの例だけでなく、身近なものを使ってものを作る例を掲載している。 ・野菜についての豆知識を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動のヒントになるように、児童の気づきを促す例を掲載している。 ・「どうすれば〇〇かな？」という考える視点を単元ごとに掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の過程の見通しをもちやすいようにしている。 ・児童がこの時間に何をすればよいのかを明確にしている。 ・学びの見通しをもちやすいように、学習のプロセスを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年の児童が基礎的な素養に身に付けやすいように配慮している。 ・地域社会で安全に生活できるような内容を掲載している。 ・学習を進める中で、児童が自分自身に自信をもてるような内容を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもちやすいようにホップ、ステップ、ジャンプの構成にしている。 ・毎単元の振り返りで、「もっとこれをやりたい」という思いを巻末にあるシールに書いて貼れるようにしている。 ・1年間の学習全体を振り返ることができるページを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きさはAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年に合わせて漢字表記、ルビ表記をしている。 ・テーマをわかりやすく大きく、表記したり、児童の視点に合わせた言葉を使ったりしている。 ・行間に配慮している。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	わくわく せい かつ上 いきいき せい かつ下	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「遊び方」を絵や図で詳しく掲載している。 ・学習する際のヒントになるように、巻末に「がくしゅうずかん」を掲載している。 ・記録の仕方やまとめ方を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターが問いかける形で「見つける」「比べる」「たとえる」学習活動を掲載している。 ・単元が進むにつれ、活動が広がり、深まっていくように配列している。 ・気付きの質を高める工夫を、思考ツールや写真、ワークシート等で示している。 ・季節に応じて植物や生き物を比較しながら掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元は、導入「わくわく」、主たる活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成している。 ・学んだことを生活に生かしたり広げたりしていこうとする例を掲載している。 ・導入では写真等、対象物をクローズアップする等して、児童を引きつける工夫をしている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い主体と共有することを考慮し、防災教育では学校、児童、保護者が一緒に考えながら学べる内容を掲載している。 ・多様性を考慮し、幼児や高齢者、障がいのある方等、様々な人たちのイラストを掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」という項目で構成している。 ・各見開きページに学習内容や活動の流れを掲載している。また、振り返りを記入する欄も掲載している。 ・他教科との関連を示すマークを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードで動画、音声、スライドショー等を用いた学習ができる。 ・大きさはAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字体は丸ゴシック横書き表記にしている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・「わくわく せいかつ」というように学年に合わせてひらがな表記にしている。 ・言葉、問いかけを易しいものになっている。
116 日文	わたしと せい かつ上 みんな なかよ し わたしと せい かつ下 ふれあい だい すき	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃの例を豊富に掲載している。 ・季節の植物を図鑑のように掲載している。 ・巻末にインタビューの仕方、気持ちの伝え方、手紙の書き方、電話のかけ方を掲載している。 ・野菜を育てたり、昆虫を飼育する際に使いやすい資料を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動中に使うとよい表現や言葉等を吹き出しで掲載している。 ・表現や伝え合う活動例としてICT機器の活用を掲載している。 ・児童が見通しをもって学習できるように、「ふりかえる、つなげる」のコーナーを掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科へのつながりを掲載している。 ・スタートカリキュラムを充実して掲載している。 ・学習の様子がわかるように学習の板書の例を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性を考慮し、外国人の児童のイラストを掲載している。 ・人権や福祉に関する内容を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの仕方、記録の取り方などを掲載している。 ・まとめの後に継続して取り組む際のヒントや助けになる項目を掲載している。 ・学習内容を深めやすい内容や構成にしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書にそのままメモを書き込める工夫をしている。 ・山折りや、点字等触って体験できる工夫をしている。 ・大きさはAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴシック表記にしている。 ・全ての漢字にルビを付けている。 ・学習項目ごとに色分けをしている。

調査研究報告書 ⑤

音楽

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	小学音楽 おんがくのおくりもの 1 小学音楽 音楽のおくりもの 2 小学音楽 音楽のおくりもの 3 小学音楽 音楽のおくりもの 4 小学音楽 音楽のおくりもの 5 小学音楽 音楽のおくりもの 6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〔共通事項〕を「音楽のもと」と示して教材ごとにページの右上に掲載し、高学年では児童が気付いた要素を書き込めるメモ欄を設けている。 ・鍵盤ハーモニカの写真やリコーダーの運指表を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす活動を取り入れた学習活動を掲載している。 ・鑑賞教材では聴き取ったり感じ取ったりするための手立てを示し、ワークシートや具体的な活動の例を掲載している。 ・歌詞の内容をイメージしやすいように写真を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材として、古くから伝わる曲から最近の曲まで幅広いジャンルの曲を掲載している。 ・外国語や算数など他教科等の学習と関連する教材を掲載している。 ・巻末に「音楽を表すいろいろな言葉」の例を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を友だちと一緒に作り上げる活動を掲載している。 ・全学年で「にっぽんのうた みんなのうた」を中心に、日本の歌の教材を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きごとに学習のねらいを示したり、「まなびナビ」で学び方を示したりしている。 ・学習に役立つ情報をウェブサイトで見覧できるように目次に二次元コードを掲載し、該当ページには「まなびリンク」のマークを示している。 ・巻頭に音楽家からのメッセージを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年はAB判、中・高学年はAB判+天地20mmのサイズである。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重ねると説明が見える「透明シート」が付いている。 ・カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントを取り入れている。 ・共通教材の資料の写真をページ全体で掲載している。
27 教芸	小学生のおんがく1 小学生の音楽2 小学生の音楽3 小学生の音楽4 小学生の音楽5 小学生の音楽6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素をページ下に示している。 ・鍵盤ハーモニカとリコーダーの演奏の仕方のポイントを曲を通して学習できるように掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が音楽から気付いたり感じたりしたことを書き込むコーナーを設けている。 ・音楽づくりの学習を各学年で歌唱や器楽、鑑賞と関連付け、具体例を用いて掲載している。 ・表現の教材で、音の高さを表すイラストをページの横に掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな楽器や、我が国及び諸外国の音楽の教材を掲載している。 ・外国語や国語など、他教科等との関わりや生活とのつながりを促す教材を掲載している。 ・見通しをもった学習に向け、各学年の巻頭の「学びの地図」で1年間の学習内容を示している。 ・わらべ歌や日本の伝統音楽、民謡を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を友だちと一緒に上げたり、みんなで歌ったりする活動を掲載している。 ・全学年で「こころのうた」や「歌いつごう日本の歌」等、日本の歌の教材を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達の段階に合わせた内容で各題材のねらいを示し、児童が主体的に活動できる構成にしている。 ・巻末にどのページで何を学んだかを振り返る「ふりかえりのページ」を示している。 ・言語活動の例として、キャラクターによる吹き出しを掲載している。 ・アクセスすると楽器の使い方や曲の解説等が見覧できる、二次元コードを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型は、AB判変形判である。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真の中に歌詞や文章を入れる際には無地の部分に配置したり、背景を白くしたりする等、ユニバーサルデザインに配慮している。 ・共通教材は、縦書きの歌詞と見開きで写真を掲載している。

調査研究報告書 ⑤

図画工作

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
9 開隆堂	<p>ずがこうさく 1・2上 わくわくするね ずがこうさく 1・2下 みつけたよ 図画工作3・4 上 できたらいいな 図画工作3・4 下 力を合わせて 図画工作5・6 上 心をひらいて 図画工作5・6 下 つながる思い</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「学びの資料」に用具の使い方や技法の手順を細かく掲載している。 ・用具や道具の取り扱いについて、ウェブページで動画が見られる二次元コードを掲載している。 ・「ひらめきコーナー」は、短時間でできる活動を掲載し、素材の面白さや材料の特徴をつかめるようにしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味・関心を引き出すために、各教科等との関連を必要に応じて取り上げている。 ・題材のおもしろさが児童の意欲を刺激する魅力のある内容となっている。 ・鑑賞のページでは、作家の美術作品を1年生から取り扱っている。 ・作品を作る経過の写真を複数掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童と教師が活動のイメージをもてるように、作品のつくり方の手順や児童の活動の様子を、複数掲載している。 ・巻末の「学びの資料」のページで、いろいろな見方をする中で新しい発見が生まれる例を示している。 ・高学年の「技術の発展とひろがり」では、社会とのつながりを感じられる作品が取り上げられ、児童が興味をもって学習できるよう配慮している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働を意識した学習の仕方を掲載している。児童同士で学びながら、一つのものを作り出すことができる工夫をしている。 ・キャリア教育や自分の将来につながる学習であることを意識する内容や題材構成にしている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のめあて」を明確に三つの資質・能力で示すことで、児童が意欲をもって主体的に取り組めるようにしている。 ・「学習のめあて」では、もっとも大切な目標に下線を引いている。 ・「学習のめあて」に対応した振り返りを掲載している。 ・1冊ごとにサブタイトルを付けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きに二つの題材を掲載しているページがあり、情報量が多くなっている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに、「くふうさん」「ひらめきさん」「ころさん」という三つのキャラクターで表し、その視点からのヒントを示している。 ・使用する用具や材料が、どの題材でもページ左上に示している。 ・題材名をめあてや活動のゴールをイメージしやすい表現にしている。
116 日文	<p>ずがこうさく 1・2上 たのしいな お もしろいな ずがこうさく 1・2下 たのしいな お もしろいな 図画工作3・4 上 ためしたよ 見 つけたよ 図画工作3・4 下 ためしたよ 見 つけたよ 図画工作5・6 上 見つめて 広げ て 図画工作5・6 下 見つめて 広げ て</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「使ってみよう材料と用具」のページでは、技法、材料、用具の使い方を視覚的に示している。 ・絵具の使い方では、筆洗、パレットなど丁寧にその道具の「使い方」を詳細に示している。 ・形や色に注目できるようなキャラクターのつぶやきを掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が想像を広げる手立てとして、一つの題材でも多様なバリエーションの作品例を掲載している。 ・具体的な姿が捉えやすいよう、作品のコメントや吹き出しを児童の言葉で書いている。 ・アートカードを利用した題材を掲載している。 ・どのように考え、試したのかが分かるように、制作過程の写真を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名から活動を見通しやすく、児童が想像を広げることができるような工夫をしている。 ・工作でつくった作品が生活に活かされている様子や、作品で遊んでいる様子を写真で示している。 ・「気をつけよう」「かたづけ」を、どの題材にも掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とつながることをねらいにした作品を掲載している。 ・一人一人の個性を大切に作品づくりから、友達によさ気付くような学習の流れにしている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひらめきポケット」のコーナーは、児童が興味・関心をもつような内容となっており、主体的な活動につながるように工夫している。 ・どの題材も同じ位置に「めあて」を記載しており、三つのめあても学習指導要領に即して具体的に示している。 ・授業後の児童の目指す姿を振り返りとして掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きで1題材の内容を扱っている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材のポイントをリード文に明記していて、児童にとって分かりやすい工夫をしている。 ・説明は多いが、児童の言葉で分かりやすく示している。 ・題材名を児童のイメージを広げやすい表現にしている。

調査研究報告書 ⑤

家庭

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい家庭 5・6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ステップのはじめに「めあて」、おわりに「ステップ〇のふり返ろう」を示している。 5年生、6年生の学習のまとめに「よりよい生活を送るためにどのような工夫をしていますか」を設定し、次の学年の学習へのつながりを考えるように示している。 巻末の「いつもたしかめよう」で、調理実習や裁縫実習のポイントを実物大で示している。 完成図や学習のポイントをイラスト、図、写真で掲載している。 活動例、実践例の手順や完成図を写真やイラストで示している。 学習の参考となる資料や実験結果を「図」や「資料」で示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話し合おう」「調べよう」「考えよう」と思考判断する学習のポイントを示している。 1～3のステップで学習や活動の見通しを示している。 「家庭科の窓」に見方・考え方を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料や学習の手順が視覚的に理解できるような写真を掲載している。 「生活を変えるチャンス」で家庭での実践例を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「プロに聞く」のコラムを掲載し、学習内容が家庭生活や将来の生活と関連して考えられるように工夫している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しがもてるように①見つめる→②計画・実践→③生活に生かす・新しい課題の3ステップの構成にしている。 表紙裏の見開きに4年生までの既習との関連を「成長のふり返り」で示している。 各題材の「プロに聞く！」でキャリア教育につながるコラムを掲載している。 基礎基本を生かし、課題を見つけ実践している構成にしている。 実物大の写真巻末に掲載し、実習の時に自分の手元と比較できる工夫をしている。 デジタルコンテンツで学習内容を繰り返し確認できる工夫をしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> A4判である。 教科書に書き込み、ノートとしても活用できる工夫をしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 包丁を持った子どもの手などを実物大の写真で記載している。 用具やマークなど、ものの名前と説明を同じページに記載している。 学習全体の見通しを絵と文字で表現している。 日本の伝統文化と関連する内容に「日本の伝統」という言葉をマークとして示している。 野菜の切り方を段階ごとに示し、皮をむく、切るポイントを吹き出しで示している。 要点や重要な語句を太字で示している。 「右利き」「左利き」の説明を掲載している。 「いつも確かめよう」はピンク、「トートバッグ」などの製作についての内容は緑など色を統一して示している。
9 開隆堂	小学校 わたし たちの家庭科 5・6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各題材にはじめに「学習のねらい」、終わりに「ふり返ろう」「生活に生かそう」を示している。 「2年間の学習を振り返って、中学校の学習に生かそう」を設定し、中学校との系統性を示している。 マークで「環境」「安全」「防災」「伝統」「消費者」「参考」を示している。 活動例、製作例を写真、イラスト、言葉で示している。 「生活の中のプログラミング」でプログラミング学習との関連を示している。 二次元コードがあり、デジタルコンテンツで学習のポイントを動画で確認できる工夫をしている。 学習の参考となる資料にマークをつけて示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育、伝統的文化、他教科との関連を記載している。 「調べよう」「まとめよう」「話し合おう」「交流しよう」など、活動内容をタイトルに示している。 キャラクターの吹き出しに見方・考え方や学習のヒントを言葉で示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「レッツトライ生活の課題と実践」で学んだことを家庭で実践する内容を示している。 「チャレンジコーナー」があり、生活に生かす例を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末に「わたしたちの生活の中にある伝統文化」をまとめて掲載している。 学習内容に関連した人のコラムでキャリア教育につながる内容を示している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習は「見つける・気付く」「できる・わかる」「生かす・深める」の3ステップで構成している。 目次に「生活の見方・考え方の4つの視点」を示している。 「〇〇にかかわる人」に児童の生活に関連している人やスポーツ選手などのコラムを掲載している。 学習のまとめに、「ふりかえろう」を設定し、めあてにもどって自分ができるようになったことなどのチェックする工夫をしている。 「できたかな」というチェック欄があり、自分の実習を振り返る構成にしている。 学習の深まりにつながるような「一口メモ」をほぼ全ページの下に記載している。 学習で利用できる学習カードの例を記載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> AB判である。 「はさみで布を裁つ」「縫う」「切る」「皮をむく」を巻末にほぼ実物大の写真で掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要な語句を太字で示している。 実習例は写真とイラスト、言葉で示している。 「生活時間をマネジメント」「エコ生活」など、今の生活に即した表現にしている。 左ページから右ページにわたるように調理や裁縫の手順を示している。 短文で説明をまとめ、文章も平易な表現にしている。 「右利き」「左利き」それぞれの作業の仕方を写真で示している。 5年の学習内容はピンク、6年の学習内容は緑を基調に構成している。

調査研究報告書 ⑤

保健

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しいほけん 3・4 新しい保健 5・6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップ1～4で学習を進めている。「気づく・見つける」→「調べる・解決する」→「深める・伝える」→「まとめる・生かす」で学習の流れを示している。 ・情報量が豊富にあり、理解しやすいように学習内容を示している。 ・知識が深められるように、読み物などの資料を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実生活につなげられるように、身近な生活をイメージできる事例を掲載している。 ・「けが防止」の導入で、身近な生活の場面からなぜ危険なのかを考えることができるように場面絵を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のふりかえりが充実するように、「まとめる・生かす」の学習や、章の終わりに「学習を振り返ろう」を設定している。 ・インターネットを活用した学習ができるように「Dマーク」を掲載している。 ・他教科との関連を「つなげよう」と表示し、社会科、算数科、理科、生活科、家庭科及び道徳との関連を示している。 <p>【今日的な課題の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料のページで、「熱中症の予防」を記載している。 ・インターネット犯罪、ユニバーサルデザインなど、最近の話題を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって健やかに生き抜く力を育むことと関連して、3年生の「体の生活とけんこう」では、水でぬらした脱脂綿を使って手を拭く実験を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「気づく・見つける」の学習で、気付いたこと、見つけたことなど自分の考えを書く欄を示している。 ・単元ごとに「気づく・見つける」→「学習課題」→「調べる・解決する」→「深める・伝える」→「まとめる・生かす」の流れで構成している。 ・ノートやワークシートの代わりになるような、書き込める箇所を示している。 ・3年生の「けんこうによい一日の生活」が家庭科の「食事のやくわり」に関連していることや、他の学年や教科との関連を示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判で教科書を作成している。 ・1単位時間で扱う内容を見開き2ページで作成しているが、内容によっては3ページ～6ページで作成している。 ・内容・情報を1ページに詰め込みすぎないように学習内容を作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事なところは太字で表記している。 ・見やすく、分かりやすいように、写真や絵、資料を掲載している。 ・けがの種類から手当ての方法を記載するなど、分かり易いように、けがの手当ての方法を説明している。 ・親しみやすいように、絵や漫画・ストーリー形式などで学習の流れを示している。 ・4年生の「育ちゆく体とわたし」では、男女の裸の絵を掲載している。 ・文字数が多い。 ・見やすいように、写真や絵を豊富に掲載している。
4 大日本	たのしいほけん 3・4年 たのしい保健 5・6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が学習を通して何を学ぶことができたのか見取りやすいように、学年ごとのまとめを設定している。 ・3年の学習で、「けんこう」の3つの視点が相互に関係していることを図で表している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が比較しながら考えやすいように、図や表を豊富に掲載している。 ・様々な話合いができるように、課題発見から考えられる内容を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が楽しく学習を進められるように「1年間の身長伸び」では、手書きで書き込むのではなく、シールを貼って取り組めるようにしている。 ・児童が運動やスポーツに興味・関心をもつことができるように、アスリートを題材として掲載している。 <p>【今日的な課題の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末にがんの予防やパソコン、タブレットによる視力の低下などを掲載している。 ・中学校の学習内容を「はってん」として掲載している。(AED、熱中症など) <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって健やかに生き抜く力を育むことと関連して、他教科との関連を「リンク」と表示し、国語科、社会科、算数科、理科、生活科及び家庭科との関連を示している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に取り組めるように、生活場面から課題を見つけられる構成にしている。 ・どの単元も「話しあってみよう」、「やってみよう」、「調べてみよう」、「活用して深めよう」で学習を構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦B5判、横A4判で教科書を作成している。 ・1単位時間で扱う内容を見開き2ページで作成しているが、内容によっては3～4ページで作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習をイラストのマークによって示している。 ・「しりょう」及びページ下の「ミニちしき！」で学習内容を詳しく示している。 ・写真と絵が小さいが、文章で理解しやすいように説明している。 ・学習時間の短縮や色をぬることが苦手な児童が学習を進めやすいように、シールを付けている。 ・キーワードや大切な事柄にラインが引かれていない。太字での強調もない。 ・児童が親しみをもって学習を進められるように、絵を豊富に掲載している。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
207 文教社	わたしたちのほけん 3・4年 わたしたちの保健 5・6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を明確に示している。 ・学習で得た知識を実生活で生かすことができるように、学習活動として「新しい自分にレベルアップ」を設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活を振り返る際のチェックリストがあるので、そこから学習課題をもつことができる。 ・思考を促して考えたり、考えたことを表現したりできるように、「ふり返ってみよう」、「考えてみよう」、「調べて見よう」、「話し合ってみよう」の学習活動を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が学習に興味をもつことができるように、オリンピック選手の話に掲載している。 ・身近な事例から思考することで、自己の課題を見付けやすくできるように、単元の初めに「振り返ってみよう」を設定している。 ・児童の日常経験や体験を場面絵で示し、主体的に話し合いを進めることができる学習を設定している。 <p>【今日的な課題の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自助・公助・共助の必要性について考えられるように、「けがの防止」の発展で、自然災害を掲載している。 ・薬物乱用の単元で、薬物使用の害などについて、シンナー乱用者の脳を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって健やかに生き抜く力を育むことと関連して、実生活で生かせるように、「けがの防止」の学習では学校生活の場面絵を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な授業を展開できるように、「あなたならどうする」という学習を設定している。 ・単元に応じて、「振り返る調べる→考える話し合う→新しい自分にレベルアップ」という流れを示している。 ・文字が多く、情報量も多い構成となっている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートのように書く欄を設けている。 ・A4判で教科書を作成している。 ・1単位時間で扱う内容を見開き2ページで作成しているが、内容によっては3ページ～4ページで作成している。 ・教科書が薄くてよいが、イラストが多い。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れに沿ったグラフを豊富に掲載している。 ・文字は大きく、大事な言葉は太字で表記している。 ・児童が取り組みやすいように、学習課題や活動項目を強調して表記している。 ・学習していない漢字にはルビをふっている。 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトを行っている。 ・考えさせる場面では絵によるイメージ化だけでなく、グラフなどを用いて数値化している。
208 光文	小学ほけん 3・4年 小学保健 5・6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字や写真では分かりにくい内容を、動画に繋いで資料の提示等ができるQRコードを掲載している。 ・協働的に学習を進めながら知識を得ることができるように、「話し合おう」、「考えよう」の学習の流れを設定している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題と自分の生活を結びつけて考えることができるように、導入にある「はじめに」の学習では身近な生活を場面絵等で示している。 ・自分だけでなく多くの意見をもとに考えながら学習を進めることができるように、「話し合おう」の学習を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話を増やすことができるように、随所に「話し合おう」という学習を設定している。 ・児童が興味をもって学習に取り組むことができるように「科学のとびら」を掲載している。 ・児童が興味をもって学習に臨むことができるように、学習の初めにアスリートのお話を掲載している。 <p>【今日的な課題の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展的な資料として、「歩きスマホ」や「子どもの事故」、「自転車の安全な乗り方」「インターネットの使い方」などを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって健やかに生き抜く力を育むことと関連して、児童が自分ごととして捉えることができるように、日常生活で起こり得る場面を掲載している。 ・日常生活での場面と学習内容をつなげて考えることができるようにイラストや写真を掲載してい 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が学習内容を身近に感じ、主体的に活動できるように、章の始めにこれから学習する内容をストーリー形式で掲載している。 ・児童が考えたり考えたことを表現したりするために、「話し合おう」、「調べよう」、「考えよう」という学習を設定している。 ・自分の考えを記録できるように、書き込む欄を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたことを記入する欄を設定している。 ・A4判で教科書を作成している。 ・1単位時間で扱う内容を見開き2ページで作成しているが、内容によっては、3ページ～4ページで作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮して図やグラフを掲載している。 ・わかりやすい表現となるように、絵にコメントが入っている。 ・課題を明確に表記するために、見出しの文字を大きくしている。 ・子どもを刺激させる情報を少なくするため、4年生の「思春期の体の変化」では、衣服を身に付けている絵を掲載している。 ・重要な語句は文字を太字で表記している。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
224 学研	みんなのほけん 3・4年 みんなの保健 5・6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が学習を理解しやすいように、課題、記述、ふり返りの流れで学習を設定している。 ・学習のはじめに「ここで学ぶこと」として、学習課題を示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が考えたり、考えたことを表現したりできるように、「ふり返る」、「チェックする」、「考える」、「調べる」、「話し合う」、「学びを活用する」の学習を設定している。 ・児童が比較したり、イメージをして考えることができるように、図や写真を豊富に掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題をもとに考え、話し合い、深めていくことができ、主体的に取り組むことができるように、問題設定を自分の生活の中に置き換えて考えることができるように設定している。 ・児童が成長を実感しやすいように、毎日書き込めるような欄や成長を記録できるような欄を設けている。 <p>【今日的な課題の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然災害や緊急事態にそなえて」では、安全を守る緊急警報の種類や緊急時の対応について記載している。 ・けがや病気からの回復について掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返ることで実生活と関連付けて学習を進めることができるように、学習のはじめに「つかむ」を設定している。 ・振り返ったり学んだことを実践的に活用できるように、「まとめる深める」の学習を設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実現するために「考える」、「調べる」、「話し合う」、「まとめる」、「深める」の学習を設定している。 ・学習の見通しがもてるように、「つかむ」→「考える調べる」→「まとめる深める」という学習の流れを設定している。 ・生活体験や既習との関連が図りやすいように、学習のはじめに「つかむ」を設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判で教科書を作成している。 ・学習で活用しやすいように、1単位時間で扱う内容を見開き2ページで作成している。 ・資料など情報を豊富に掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が読みやすいように、ユニバーサルデザインを使用している。 ・児童が理解しやすいように、「かがくの目」という科学的な資料を掲載している。 ・理解が深まるよう、効果的に資料や写真を掲載している。 ・漢字が読めない児童にも読みやすいように、漢字にはルビをふっている。 ・「大人に近づく体」では、表現が間接的で衣服を着ている男女やシルエットで表記している。 ・巻頭に「ほけんの見方、考え方」を表記している。

調査研究報告書 ⑤

英語

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	NEW HORIZON Elementary English Course 5 NEW HORIZON Elementary English Course 6 NEW HORIZON Elementary English Course Picture Dictionary	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書き込みながら学習を進めるように、出会う→慣れる→楽しむ→広げるという流れにしている。 「Enjoy Communication(言語活動)」では、ポイントとなる箇所に色をつけている。 食物連鎖など幅広い題材を取り扱っている。 「Small Talk」や「Sounds and Letters(音声と文字とを関連付ける指導)」を掲載しており、現在の指導を継続できる形にしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちと関わり合う言語活動を設けている。 言語活動である「Enjoy Communication」では、発表活動やペアのやり取りなどを設け、伝える内容や使用する英語を児童自身が考える活動にしている。 「Small Talk(簡易な会話活動)」の話題例を各セクションに記載している。 他教科と関連させ、内容を深めるような題材を扱っている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Enjoy Communication」では、「わたしのせりふ」として言語活動で使った英文を書き残し、必要な時に振り返って活用できるようにしている。 Picture Dictionaryの中に、CAN-DOリストを掲載している。 音声や動画を見られるように、二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Over the Horizon」では、世界遺産など、世界・国際理解を扱った題材を扱っている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的・場面・状況等、英語表現の使用場面を意識した活動を設けている。 映像を見て行う活動を設けている。 活動で使ったカードを貼るページを設けている。 書き込むための4線を設けている。 巻末に、切り取り線のあるアルファベット・単語カード等をつけている。 短時間学習で扱う活動を誌面の上下に設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型をA4判にしている。 別冊のPicture Dictionaryは判型をAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動を分かりやすくし、意欲を高めるような絵や写真などを随所に掲載している。 1ページの中に活動の他にも様々な内容や情報を掲載している。 新ユニバーサルデザイン書体を使用している。
9 開隆堂	Junior Sunshine 5 Junior Sunshine 6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定着しやすいように、様々な活動を繰り返し設けている。 聞く活動→話す活動という構成にしている。 中学校への学びの接続のために、6年生の最後に「中学校へつなげよう」を掲載している。 段階的に文字に慣れ親しめるように、文字を扱うページを教科書後半にまとめて設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動では、児童がイメージしやすい身近な場面設定にしている。 聞いたり話したりして様々な活動をした後、単元末の「Let's Try(言語活動)」に結び付けている。 友だちやクラス全員で取り組む活動を設けている。 道案内の場面では、地図記号もあり、社会と関連付けられた題材を扱っている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の興味を高めるために、クイズやビンゴなど様々な活動を設けている。 各単元末に色をぬる形の簡単な振り返り欄を設けている。 自分の成長を確認して次のゴールを見通せるように、「CAN-DOマップ」を設けている。 前の学年での学習内容を踏まえて、活動をすることで、自信をもって取り組めるようにしている。 音声を聞けるように、二次元コードをつけている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多文化理解につながるよう、外国の写真などを随所に掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分に関することや身近なことについての題材を扱っている。 表現例では簡単な英語を使用している。 自分で学習が進められるように「単語リスト」や「学んだことリスト」を設けている。 書くことに関するページは、児童が書き込めるように後ろにまとめる構成になっている。 巻末資料にアルファベットカードや絵カードなどを付けている。 「文字に慣れよう」は、15分間でできる活動になっている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型をAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストを随所に掲載している。 単語リストに日本語表記を添えている。 児童が書き込めるように、4線を設けている。 書体は独自の手書きの文字に近い書体を使用している。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学図	JUNIOR TOTAL ENGLISH 1 JUNIOR TOTAL ENGLISH 2	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標となる表現に繰り返し触れることができるよう、様々な活動を設けている。 ・各単元にアクティビティやチャンツ、歌を設けている。 ・学校生活や地図など身近な場面での語彙を扱っている。 ・読んだり書いたりする活動を単元の中で繰り返し設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク、グループワーク等、友達とやり取りする活動を設けている。 ・児童にとって身近な場面を意識した活動を設けている。 ・他教科での学習を深められるよう、食材の言い方から栄養素に結び付けるなど、教科横断的な内容を扱っている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本のパターンがあり、決まった流れで学習が進められるような設定にしている。 ・英語の苦手な児童でも分かりやすいように、日本語での指示や説明を記載している。 ・単元末に振り返り欄を設けている。 ・音声を聞けるように、二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な文化についての題材を扱っている。 ・単元の内容に関連して、国際理解を扱ったコラムを各単元末に設けている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業、オリンピック、町の施設等、児童が興味をもって取り組める題材を扱っている。 ・相手や場面を意識した活動を設けている。 ・クラスルームイングリッシュ、アルファベット、数字等を巻頭で扱っている。 ・巻頭に復習のページを設けている。 ・単元の最初に目標や学習の進め方を掲載している。 ・学習の進め方には、短時間学習（15分間）の目安となるマークを記載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型をA4判にしている。 ・1冊が重い。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫画やイラストを随所に取り入れている。 ・文字を直接書き込む部分に、4線を設けている。 ・4線の幅が上から5:6:5と、中央を少しだけ広めにしている。 ・UDデジタル教科書体を使用している。
15 三省堂	CROWN Jr.5 CROWN Jr.6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HOPからJUMPまでの大単元の中に様々な活動を繰り返し設けている。 ・発表（プレゼンテーション）を年に3回JUMPで設定している。 ・単元を通して、「聞く」活動を随所に設定している。 ・「JUMP（言語活動）」では、発表する時の手順やポイントを記載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大単元のまとめの活動である「JUMP」では、既習表現を用いて取り組むプレゼンテーション活動を設定している。 ・「JUMP」での言語活動では手順を4段階で細かく示している。 ・友だちと話し合う活動を設けている。 ・児童になじみのある物語を読み聞かせの題材として取り扱っている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「JUMP」では、個人のめあてを書き込む「Goal」の欄を設けている。 ・児童が見通しをもてるように、単元の最初にイラストで場面を示している。 ・音声を聞いて練習できるように、二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化理解についての題材を扱っている。 ・異文化への理解につながるように、5年生巻末付録の時差時計や6年生世界のまつりのページ等を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見通し（表現を知る）→繰り返し練習する→実際の場面で使う」の順で活動を設けている。 ・HOP→STEP→JUMPという構成にしており、2～3の単元で大単元としている。 ・「JUMP」では、4つの段階で手順で示している。 ・巻末にCAN-DOリストやWords & Phrasesのページを設けている。 ・教材をデータで管理できるように、二次元コードで読み取るカードを付属している。 ・アルファベット表、ワークシート、アルファベットカードなどを巻末につけている。 ・短時間の授業でも扱えるコーナーを設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型をAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストを随所に使用している。 ・書く活動では、手本を示している。 ・4線は、ほぼ均等間隔にしてる。 ・なぞり書き練習ができるようにしている。 ・専用の手書きフォントを使用している。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	ONE WORLD Smies 5 ONE WORLD Smies 6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の中で様々な活動を設け、語彙や表現を繰り返し学習できるようにしている。 ・「読むこと」「書くこと」の学習で、毎単元末に「Sounds and Letters」を設けている。 ・「Let's Enjoy the Music」は英語の歌を掲載しており、英語のリズム等に慣れ親しめるようにしている。 ・日本語と英語の違いについて取り上げている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちとのやり取りを通じた活動を設けている。 ・「Activity」は、既習事項を活用できる内容にしている。 ・内容の理解を深められるように、国語の「お手紙」や道徳の「橋の上のオオカミ」等、他教科で学んだ題材を取り上げている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しがもてるように目標を掲載している。 ・単元末に振り返り欄を掲載している。 ・話題になった人を取り上げ、児童が興味をもつような活動を設けている。 ・音声や動画を見られるように、目次ページに二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国の文化など国際理解に関わる内容を取り扱っている。 ・世界の子どもたちの様子が分かるように、巻頭に、外国の子がその国の言葉で「将来の夢」や「好きな言葉」を書いたページを掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で使いたいことばが探せるように「My Word Bank」を設けている。 ・映像を見る→聞く→活動するという構成にしている。 ・単元の後半で「書くこと」を扱うページを設けている。 ・活動で用いるシールやカード、切り取り線の入った絵カードなどを巻末に付属している。 ・見開きですっきりとした構成にしている。 ・短時間活動でも活用できる活動を設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型をAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を分かりやすくするために、絵や写真を随所に使用している。 ・文字が大きく読みやすい。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。
38 光村	Here We Go! 5 Here We Go! 6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の流れをわかりやすくするために、どの単元の構成も同じにしている。 ・教科書に書き込む欄や4線を設けている。 ・写真や資料を見て行う様々な活動を設けている。 ・場面に合わせて使うことができるように分類して、単語を「絵辞典」に掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より良いコミュニケーションをするためのポイントを記載している。 ・日常の場面で使用する表現を取り上げている。 ・まとめの言語活動である「You can do it!」では、友だちに気持ちや考えを伝え合う活動を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に見通しをもつことができるように、単元のゴールを最初に示している。 ・振り返りができるように、巻頭に身につける力(Can-Doリスト)を掲載している。 ・英語を使って楽しむように、「Fun Time」を掲載している。 ・単元末に振り返り欄を掲載している。 ・映像を見たり、音声を聞いたりするための二次元コードを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解の内容を扱ったコラムを掲載している。 ・12か国の子どもを取材した内容を「世界の友達」の中で扱っている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化理解を扱った題材を設けている。 ・各単元をHop→Step1・2→Jumpの構成にしている。 ・ミシン目が入ったアルファベットカード、絵カードや活動用シールなどを巻末に設けている。 ・水性マーカーで書き込めるペンマンシップシートをつけている。 ・「You can do it!」以外の多くの活動は、短時間学習でそのまま行えるようにしてある。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型をAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすくするために絵や図を随所に使用している。 ・児童が書きやすいように、英語を書き込む欄は独自の書体を使用している。 ・文部科学省作成教材が使用しているものと同じ幅の4線を使用している。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	Blue Sky Elementary 5 Blue Sky Elementary 6	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の表現に繰り返し触れることができるように、様々な活動を設けている。 ・各単元は、パート1～パート3の3つに分けて、パート1・2で語彙や表現を繰り返し、パート3でアウトプットの活動を扱うようにしている。 ・書く活動で、児童が書きこむことができる4線を設けている。 ・書く活動では、児童の理解を補助するために、絵や写真を掲載している。 ・活動で利用できるワードリストを巻末に付属している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Activity(言語活動)」は、時間をかけすぎずにできる内容にしている。 ・児童が内容を推測しながら聞く活動ができるよう、「Story」を設けている。 ・活動では、学校生活や日常生活の場面を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初にめあてを示している。 ・単元末に振り返り欄を設けている。 ・できるようになったことを児童が自分自身で確認できるように、巻末にCan-Doリストを掲載している。 ・二次元コードを読み取ると、単語や表現を聞くことができるようにしている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化理解について扱っているコラムである「Do you know?」を単元末に設けている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元は、パート1～パート3としており、様々な活動を通して既習事項を繰り返し学習できるような構成にしている ・「Pre Unit(準備)」から始まり、途中で単元間に「REVIEW(まとめ)」を挟む構成にしている。 ・分かりやすくするために、見開きで1パートの構成にしている。 ・ミシン目が入っているアルファベットカードと絵カード、ワードリストなどを付属している。 ・文を直接書き込めるように4線を設けている。 ・短時間学習で取り組める活動を設け、砂時計マークを示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型をAB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストを随所に使用している。 ・どの技能を重点的に育成する活動かが分かるようにアイコンを設けている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使っている。 ・アルファベットを書く練習では、4線上のスタート位置に点を示しているものもある。

調査研究報告書 ⑤

道徳

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新訂 あたらしいどうとく 1 新訂 新しいどうとく 2 新訂 新しいどうとく 3 新訂 新しいどうとく 4 新訂 新しい道徳 5 新訂 新しい道徳 6	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生命の尊さ」に関する教材が3つあり、重点としている。 ・情報モラル、人権、平和、社会の持続可能な発展(環境教育)、消費者、食育、キャリア、法教育に関する教材を掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なこととして深く考えられるよう、学級での関わりや友達とのトラブルなどをテーマにした教材を掲載している。 ・多様な教材を生かした学習ができるよう、社会科で学んだ人物、有名人、偉人を扱ったり同世代の子どもの活躍を載せたりしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何の学習をするのか、児童にも分かるよう、主題名を示している。 ・心に残った話や振り返りができるよう、教科書の巻末には、「学習の記録」「学習の振り返り」「これからはかがやく自分」というページを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の自分とつながって考えられるような発問例を掲載している。 ・スポーツ選手の内容や、世界の事など身近な問題を取り上げている。 ・いじめの問題に関して、ユニットで深く学習できるように設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習開きの導入が丁寧で、児童が学習の流れをしっかりと確認できるようにしている。 ・夏休み前、冬休み前、学年末に振り返ることができるよう、3つの大きなまとまりでワークシートを構成している。 ・1年間の学びの足跡が見て分かるように、振り返り欄を見開きになっている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きめのイラストや写真、図を掲載している。 ・巻末に心に残った学習を記入できるワークシートを付けている。 ・巻末の学習の振り返りは、簡単な自己評価と共に一覧にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、内容項目A～Dの視点ごとにまとめたページを設定している。 ・教材名の部分は、内容項目の4つの視点に合わせた色や絵柄を使って表している。 ・当該学年の前までの漢字を使用している。 ・学習内容が分かるように、教材の初めにめあてを記載している。
11 学図	かがやけ 未来 しょうがっこうどうとく 1ねん きづき かがやけ 未来 しょうがっこうどうとく 1ねん まなび かがやけ 未来 小学校どうとく2年 まなび かがやけ 未来 小学校どうとく 3年 きづき かがやけ 未来 小学校どうとく 3年 まなび かがやけ 未来 小学校道徳 4年 きづき かがやけ 未来 小学校道徳 4年 まなび かがやけ 未来 小学校道徳 5年 きづき かがやけ 未来 小学校道徳 5年 まなび かがやけ 未来 小学校道徳 6年 きづき かがやけ 未来 小学校道徳 6年 まなび	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年「公正、公平、社会正義」の内容項目を、いじめと向き合う教材の主軸とし、複数の教材を配置している。 ・情報モラル、いじめ、防災、キャリア教育など現代的な課題の教材を掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別冊「まなび」を使用し、学習のヒントや振り返りに使用することを記載している。 ・教科書「きづき」には、「道徳の学習を始めよう」の中で、話し合うこと、自分自身を見つめ直すことを示している。 ・話し合いの仕方を掲載している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えの変化や成長を比べることができるよう、別冊「まなび」は内容項目ごとでまとめられている。 ・別冊「まなび」は友達の考えを書けるようにしている。 ・「広げよう」のコラム欄はそのページの主題と合わせている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別冊ノートに、自分の考えとともに友達の考えにもふれながら考えを深めていく学習ができるような記述欄を設けている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書「きづき」は、教材文のみの構成で、別冊「まなび」に主題名や発問例を掲載している。 ・道徳的な価値や課題に気付かせる「きづき」と、気付いたことを議論し、深める「まなび」の2冊で一つの教科書として構成している。 ・授業の助けになる関連情報・補助資料へのリンクができるよう、二次元コードを付けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真は本人や実物を掲載している。 ・別冊「まなび」に書く活動をまとめている。 ・別冊「まなび」の構成を統一している。 ・別冊に関連のある詩や書き込みを掲載している。 ・ノートは内容項目ごとでまとめられ、自分の考えを比べることができる。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書「きづき」の目次は、4つの視点ごとに色別で示している。 ・AB判サイズなので同じ文章量でもページをめくらなくてよかったり、文字を大きくしたり挿絵などを多く使ったりしている。 ・行間を広げて読みやすくしている。 ・読むことへの負担を軽減するため、学年配当漢字にはすべて振り仮名をつけている。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	しょうがくどうとく1 はばたこうあすへ 小学どうとく2 はばたこう明日へ 小学どうとく3 はばたこう明日へ 小学道徳4 はばたこう明日へ 小学道徳5 はばたこう明日へ 小学道徳6 はばたこう明日へ	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①いじめをしない、許さない②自分やまわりの命を大切に③情報モラルを守る の3項目を重点テーマとして取り上げている。 メールなど子ども達が直面しやすい身近なトラブルの教材を掲載している。 高学年は偉人(伝記)や現代社会で活躍している人を複数取り上げている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習活動を分かりやすくするために、「役割演技」の手引きを掲載している。 授業の見通しがもてるように、「考えをふかめよう」「つなげよう」の欄を設けている。 「やってみよう」では、教材の1場面を演じたり自分だったらどうするのかを考えたりする例を記載している。 発問は「考える」「深める」で構成している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えさせたい意図が分かる内容になるように、ユニット学習を設けている。 教材末の「学びの手引き」に、話し合いの具体的な内容や自分の考えをまとめたり今後の生活へつなげたりするための活動を設けている。 半期に1ヶ所、学びの記録を書くページや、1年間の振り返りのページを設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県に関連することとして、横浜港の「ガントリークレーン」の運転手が取り上げられている。 いじめ問題や、情報モラル、生命尊重を重視している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「考えてみよう」「やってみよう」というコーナーを設け、考える手立てを掲載している。 1年生の巻末にマナーや姿勢に関するページを掲載している。 教材名の下に導入となる問いかけを示している。 学習時期と教材の内容の季節が一致するように配列している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書自体が正方形に近いAB判である。 高学年は分量が多い作品を複数掲載している。 大きめのイラストや写真、図を掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材の初めに、「自分のこと」「人とのつながりに関わること」「集団生活に関わること」「命や自然に関わること」について示したマークを付けている。 時系列で理解できるように、教材によって、挿絵の表記を工夫している。 教材内容の理解を助けるための挿絵や写真、図を適所に配置している。 読みやすくするために、行間を広くしている。
38 光村	どうとく 1 きみがいちばん ひかるとき どうとく 2 きみがいちばん ひかるとき どうとく 3 きみがいちばん ひかるとき 道徳 4 きみがいちばん ひかるとき 道徳 5 きみがいちばん ひかるとき 道徳 6 きみがいちばん ひかるとき	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「生命の尊さ」が、3回あり、重点化した指導ができるように配置している。 いじめの問題、情報モラル、環境問題など学年に適した教材を配している。 4つの内容項目のグループでユニット学習を展開し、繰り返し学習する構成にしている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えを深めることができるように、1つの内容項目について2つか3つの教材を連続して配置している。 「演じて考えよう」では、役割演技ができるように、セリフや見る人の視点を記載している。 問題意識をもち、自分の考えを表し、意見交換していくという学習の流れを示している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材に関連したコラムを載せている。 すべての話に「考えよう、話し合おう、つなげよう」の問いを掲載している。 学びの記録が年間3回記述できるように掲載している。 振り返りや評価の手立てを示している。その内容も、多面的・多角的に考えられるように、「演じてみよう」「考えよう」などの手立てを記載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話の聞き方等、基本的な学習への態度などのページを掲載している。(低学年) 教材の配置が、前期はクラス作りに関わるような内容を、学活などと組み合わせ展開できる構成にしている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 考える視点を分かりやすくするために、教材の前に主題名を記載している。 教材末に、「考えよう」「話し合おう」「つなげよう」を設け、学習活動の例示をしている。 指導の関連を図れるユニット型の構成にしている。 教材によっては二次元コードで学習の助けとなる資料を読み取ることができる。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行間を取り、文章だけでなく写真や絵図、グラフ、地図などを効果的に配置している。 ページ数が多いが、その分写真やイラストを複数掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習のねらいについて冒頭で分かりやすく説明している。 巻頭に教材がどの内容項目にかかわっているのかを分かりやすく色分けやマーク別で表示している。 現行のものとは比べ、挿絵が差し替えられているものもあり、より扱いやすくしている。 低学年では、分かち書きをし、文字の大きさや配置なども各学年に応じて変えている。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	しょうがくどうとく いきる ちから 1 しょうがくどうとく いきる ちから 1 どうとくノート 小学どうとく 生きる 力 2 小学どうとく 生きる 力 2 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 3 小学どうとく 生きる力 3 どうとくノート 小学道徳 生きる力 4 小学道徳 生きる力 4 道徳ノート 小学道徳 生きる力 5 小学道徳 生きる力 5 道徳ノート 小学道徳 生きる力 6 小学道徳 生きる力 6 道徳ノート	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「規則の尊重」「生命の尊さ」を重点的に指導できる構成にしている。 ・インターネット、SNSなど情報モラルなどに関連する教材を掲載している。 ・学校生活に即した教材や、オリンピック・パラリンピックに関連した教材、震災を扱った教材などを掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物になりきって考えたり、自分なりに考えたりするための「学習の手引き」を設けている。 ・「学習の手引き」に、体験的な活動のやり方を示している。 ・主題などをより多面的・多角的に考えられるように教材の前後に「心のベンチ」を配置している。 ・教科書で多様な学び方を示し学習を深める工夫をしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書で気付いたことをもとに、別冊の道徳ノートで学びを深める構成にしている。 ・「考えてみよう/見よう生かそう」が教材文の最後にあり、自分のこととして考える問いを掲載している。 ・教材で考えることと、自分に振り返るところを明記している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人との関わり」について考える教材文を掲載している。 ・「いじめをなくす」などの現代的、社会的課題への内容を取り上げる教材を掲載している。 ・5年生の心のベンチでは、いじめの4層構造を取り上げている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に目次、巻末に内容項目を掲載し、項目別にマークを設けている。 ・教材のはじめに、めあての文があり問題意識がもてるよう工夫している。 ・考えるために、「めあて」→「考えてみよう」→「いかそう」の流れを示している。 ・教科書で気付いたことをもとに、別冊ノートで学びを深める構成にしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材35+付録3を掲載している。 ・教材は右ページから始まる見開き単位で教材を構成している。 ・書くことに配慮し、別冊道徳ノートは、低学年はマス目、中学年は野線にしている。 ・書くことで考えを深めていくことができるようにワークシートを付け、書くスペースも十分にとっている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ学年でも、ページによって字の大きさを変えている。 ・難しい語句が少なく、内容の理解が容易にできるようにしている。 ・難しい言葉には脚注に詳しい説明を付けている。 ・地図などの補助資料を多く掲載している。 ・読み取りやすいまとまりで改行している。 ・教材の初めに登場人物の絵と名前を記している。 ・キャラクターを設定し、学びを進めたり、考えを深めようとしたりするきっかけにしている。
208 光文	しょうがく どうとく ゆた かな ころ 1ねん 小学 どうとく ゆたか な ころ 2年 小学どうとく ゆたかな 心 3年 小学どうとく ゆたかな 心 4年 小学道徳 ゆたかな心 5年 小学道徳 ゆたかな心 6年	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伝統文化」「生命の尊さ」の内容項目の教材を複数掲載し、重点にしている。 ・全学年にいじめの問題、情報モラルの内容などを掲載している。 ・現代的な課題に関する教材は全学年に配置している。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を話し合うのかを明確にするために、手立てとして「問い」を吹き出しで書いている。 ・道徳科と生活とのつながりを感じることができるよう、教材文だけでなく関連資料を掲載している。 ・学習のめあてを表示している。 ・自分の考えをもちやすく、友達と意見を交わしたり実生活に生かしたりという具体的な投げかけを掲載している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに考えさせたいポイントを分かりやすく示している。 ・役割演技など、自分だったらどうするかという内容を掲載している。 ・キャラクターを設定し、考えるためのポイントや大切な見方を投げかけている。 ・教材の初めに問いを設定し、考える流れを例示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者を認める、いじめの問題、スポーツ、マナー、防災に関する教材を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の下段に考えること、補足説明を掲載している。 ・2週続けて考えることで効果的な教材を配置している。 ・視点をもって学習を進められるように、教材の初めに問いを掲載している。 ・問いをもつ、考える、まとめる、ひろげるの4段階の構成にしている。 ・どの教材がどの道徳的価値にかかわっているのかをわかりやすく表記している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判に近い判型で、絵や写真を大きく掲載している。 ・1行記録を記入するスペースがあり、簡単な文章で学びの足あとが記録できるページを掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面絵や挿絵が大きく掲載されている。 ・巻末に学習の記録を残す部分が1行分で掲載している。 ・自分がどんなことを考えればよいか分りやすく書いてある。 ・吹き出しに考えるヒントが掲載されている。 ・教材内の登場人物を分かりやすくするために、教材の冒頭に登場人物を整理して表示している。 ・単語のまとまりに気をつけて改行している。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
224 学研	新・みんなのどうとく1 新・みんなのどうとく2 新・みんなのどうとく3 新・みんなの道徳4 新・みんなの道徳5 新・みんなの道徳6	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「善悪の判断」「親切・思いやり」「生命の尊さ」の3つの内容項目を重点にしている。 ・巻頭「道徳の学び方」で道徳の学習の仕方を紹介している。 ・情報モラルなど現代的な課題の内容を全学年に掲載している。 ・教材の内容項目に関連したコラムを掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れがスムーズになるように、導入で活用できる問いを示している。 ・教材に応じて、問題解決的な学習の展開を示している。 ・児童に自分ならどうするかを問いかけるなど、話し合いに生かせそうな身近な話題を取り上げている。 ・「考えよう」の内容が物語の内容と自分ごととして考える内容の2本立てにして掲載している箇所を設けている。 ・考えを深めるための発問例を精選している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめることができるように、プロフィールを書く欄を設けている。 ・様々な分野で活躍する人物や先人に学ぶ教材を複数掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二宮金次郎など、神奈川県にゆかりのある人物を取り上げている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に道徳の学び方を紹介するページを掲載している。 ・「広げよう」「ふかめよう」というページがあり、授業後の活動に発展するような内容構成にしている。 ・教材の最後のページに導入→展開→終末のような指導案形式の資料を掲載している。 ・音声、動画を見ることができる二次元コードを付けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きくて見やすいA4サイズを採用している。 ・吹き出しなど教科書に直接書くことができるページを設けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しい漢字には振り仮名を付けている。 ・教材の内容を理解できるように、写真やイラストを複数使用している。 ・授業で考える視点をマークで示している。 ・「考えよう」は、教材の内容に関することや、自分の経験などから想起できることを視点にしている。
232 廣あかつき	みんなでかんがえ、はなしあう しょうがくせいのどうとく1 じぶんをみつめ、かんがえる どうとくノート1 みんなで考え、話し合う小学生のどうとく2 自分を見つめ、考える どうとくノート2 みんなで考え、話し合う小学生のどうとく3 自分を見つめ、考える どうとくノート3 みんなで考え、話し合う小学生の道徳4 自分を見つめ、考える道徳ノート4 みんなで考え、話し合う小学生の道徳5 自分を見つめ、考える道徳ノート5 みんなで考え、話し合う小学生の道徳6 自分を見つめ、考える道徳ノート6	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「善悪の判断」「親切・思いやり」「生命の尊さ」の内容項目を重点にしている。 ・いじめの問題、情報モラル等を扱った教材を掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の道筋」の欄には、本時のめあてを示している。 ・話し合いのきっかけとして授業で活用できる問い、児童が自我関与できる問いを記載している。 ・生活や他教科・行事との関連ができるよう、別冊ノートを付けている。 ・学習のオリエンテーションに使えるよう、道徳を学ぶ意義を掲載している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の初めに、導入で使える言葉や学習の流れを記載している。 ・長期的な変化を見取れるような振り返りのページを設定している。 ・自分ごととして考えることができる発問を掲載している。 ・学習しながら書く、振り返るなどができるよう、別冊ノートの巻末に一覧で振り返りができるページを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市に関連することで「長十郎梨」を3年生で取り上げている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本冊「みんなで考え話し合う」別冊「自分を見つめ考える」の2冊で構成している。 ・学習活動の流れを掲載している。 ・評価の手がかりや、子どもが自分の成長を実感できるよう、別冊ノート「心の記録」、巻末「心のしおり」を併せて活用する構成にしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別冊ノートのマスの大きさ、罫線の幅は発達段階に応じて配慮している。 ・「学習の記録」の記入欄は年間授業時数分を巻末にまとめ、ページ数を削減することで書く活動や持ち運び(重量)の面における負担軽減をしている。 ・年間通して同じスタイルで指導できるよう、別冊のノートは、決まった形の書き込み式にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生以降は、学習上説明を要する文言や固有名詞には、必要に応じて脚注を付けている。 ・読みやすくするために、行間をとっている。 ・文字は小さいが写真が多い分、文の理解の手助けとなっている。